

# ぐんま緑の県民税 県民アンケート

## 報告書



令和4年11月  
群馬県

# 目次

第1章	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
1)	依頼文	1
2)	調査項目	1
3.	調査方法	2
1)	調査対象者	2
2)	調査対象者の抽出方法	2
3)	調査対象者の抽出結果	4
4)	調査票の配布・回収	5
4.	回収結果	5
5.	集計方法	5
第2章	調査結果	6
1.	回答者の属性	6
1)	居住市町村別	6
2)	地域別	7
3)	性別	8
4)	年齢別	8
5)	年齢別回収率	9
6)	性別・年齢別	9
7)	職業別	10
8)	森林の所有状況	10
2.	全体集計	11
1)	問1 森林の働きについて	11
2)	問2 「ぐんま緑の県民税」の認知度について	18
3)	問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について	26
4)	問4 「ぐんま緑の県民税」の継続について	33
5)	問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について	42
3.	記述回答	58
1)	問5 その他意見	58
2)	問6 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について	62
第3章	資料編 アンケート調査票	76

## 第1章 調査概要

### 1. 調査目的

ぐんま緑の県民税は、令和5年度で2期の5年が終了することから、令和6年度以降の制度のあり方について検討を行うが、検討に際しぐんま緑の県民税に対する県民の意識を把握し、検討の資料とするため、県民アンケート調査を次のとおり実施した。

### 2. 調査項目

#### 1) 依頼文

調査の前提として、「平成26年度から「ぐんま緑の県民税」を導入し、納税者の方から年額700円を納めていただき、財源をぐんま緑の県民基金に積み立て、奥山の森林の整備や地域住民のボランティア団体等が行う、里山・竹林の整備等に活用させていただいている」こと、「令和6年度からは、国の森林環境税が施行され、両税の目的・役割を踏まえ、協力しながら、双方の取組により、県内の森林整備がさらに進んでいくよう努める」ことを記載した。

また、資料として、「ぐんま緑の県民税」の取組、パンフレットを同封した。

#### 2) 調査項目

調査については、回答率の向上、負担軽減を考慮し調査項目を決定した。

一般項目として、

- 性別
- 年代
- 職業
- 居住地域
- 森林所有の有無

について回答を求めた。また、目的調査項目として

- 森林の働きについて
- 認知度について
- 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について
- 「ぐんま緑の県民税」の継続について
- 継続した場合の取組について

の5項目について、選択式での回答を求めた。

さらに「ぐんま緑の県民税」に関する意見について、自由記述式での回答を求めた。

### 3. 調査方法

#### 1) 調査対象者

県民アンケートの調査対象者は県内在住の満 18 歳以上の男女 2,200 人<sup>1</sup>とした。

#### 2) 調査対象者の抽出方法

選挙人名簿登録者を対象とした層化二段無作為抽出法<sup>2</sup>により実施する。

群馬県内の市町村を表 1 及び図 1 に示すように 11 地域にわけ(層化)、地域別の状況把握ができるよう各地域から一律 200 人を抽出した。1 調査地点の標本数を 10 とし、各市町村から最低 1 調査地点以上計 10 調査地点をそれぞれ無作為(等間隔抽出法<sup>3</sup>)に各地域で選ぶものとした。

ここでの調査地点は国勢調査における町丁・字等人口データの地域区分とし、選挙人名簿登録者数を使用して各地域の調査地点計 20 を、各地域の市町村人口の比例配分により振り分ける。なお、調査地点抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、国勢調査時における「市区町村コード表」の配列順序に従うものとした。

各調査地点における対象者の抽出は調査地点の範囲(町、丁目、街区、番地、集落などを指定)内から、選挙人名簿より等間隔抽出法を用いて無作為に行った。

---

※1 標本数  $n$  は下記の式で求められる。

$$n = \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \quad n: \text{標本数}, p: \text{回答比率}, d: \text{標本誤差}, \lambda: \text{信頼水準}$$

回答比率は調査対象者の回答比率(例 50%の人が賛成)を示し、ここでは標本数が最大となる 0.5 とする。標本誤差とは調査結果で容認できる誤差をいい、ここでは 3% (0.03) とする。信頼水準とは正しく判断できる確率をいい、ここでは 95%となる  $\lambda=2$  とする。これらの数値を上記の式に入力すると標本数  $n=1111$  となる。回収率を 50%程度とし、標本数を 2200 とした。

※2 層化二段無作為抽出法とは対象地域を市町村などの行政単位によっていくつかに分類し(層化)、各層に調査地点を各層の人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査地域や住民基本台帳などを利用して、各地点において一定数のサンプル抽出を行う方法(二段無作為抽出)をいう。

※3 等間隔抽出法とは無作為抽出の手法の 1 つである。母集団の一覧から等間隔で調査対象者を抽出する。例えば総数 200 の母集団から標本数 10 を等間隔抽出法で抽出する場合、総数 200 を標本数 10 で割って抽出間隔 20 (200÷10) を求める。1 から 20 までの整数の中から無作為に数字を決め、抽出起番号とする。抽出起番号を仮に「3」とする。番号が 3 から 23、43、63 と抽出間隔が 20 で 183 までの 20 を抽出する。



表 1 地域区分

番号	地域名	構成市町村名
1	前橋地域	前橋市
2	北群馬渋川地域	渋川市、榛東村、吉岡町
3	佐波伊勢崎地域	伊勢崎市、玉村町
4	高崎・安中地域	高崎市、安中市
5	多野藤岡地域	藤岡市、上野村、神流町
6	甘楽富岡地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
7	吾妻地域	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町
8	利根沼田地域	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町
9	太田地域	太田市
10	桐生・みどり地域	桐生市、みどり市
11	邑楽館林地域	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

※標本数は各地域 200 標本とする。

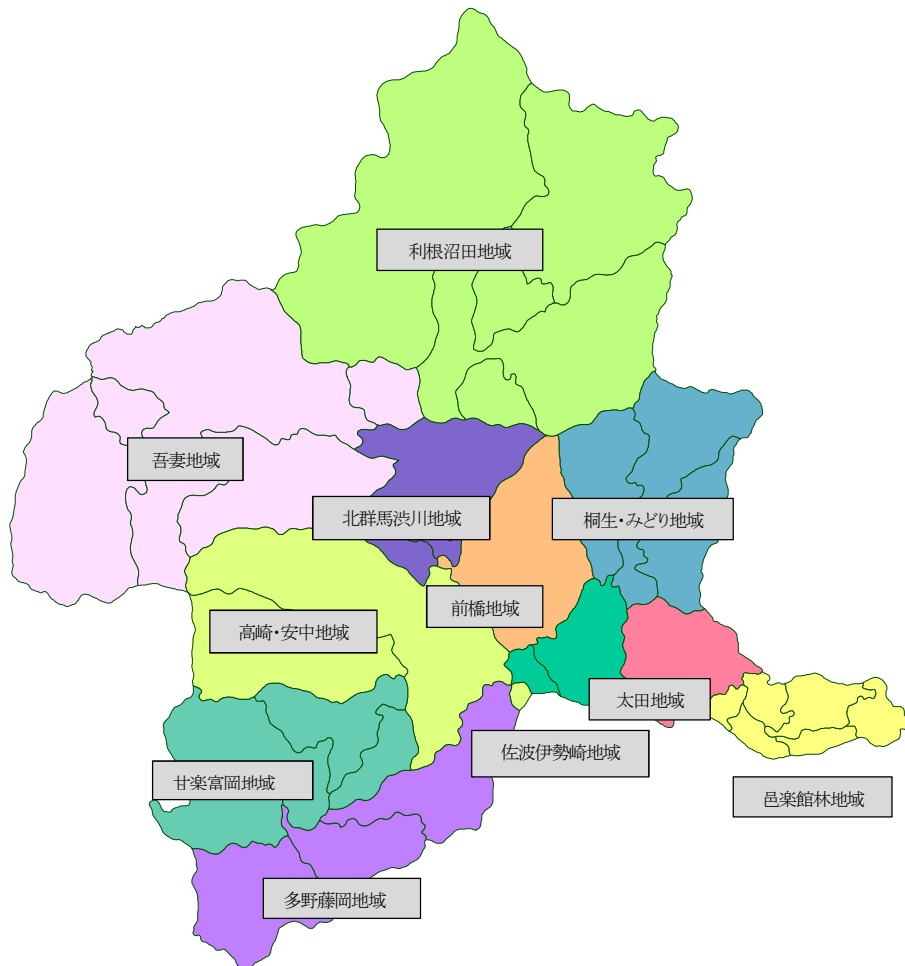


図 1 地域区分

### 3) 調査対象者の抽出結果

前項の方法により抽出された調査対象者は表 2 調査対象者抽出数に示すとおりである。

表 2 調査対象者抽出数

	市町村	18・19歳		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上		全体		合計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
市部 計	前橋市	2	5	12	13	15	13	13	16	11	14	17	20	17	10	9	13	96	104	200
	高崎市	1	2	12	6	10	10	17	17	10	21	16	11	12	8	4	13	82	88	170
	桐生市	2	2	10	6	14	9	12	15	8	17	8	9	9	11	6	2	69	71	140
	伊勢崎市	2	1	12	16	16	11	15	16	17	12	8	8	7	15	6	8	83	87	170
	太田市	0	1	11	6	15	11	22	22	18	23	17	17	9	22	1	5	93	107	200
	沼田市	1	0	6	5	5	7	6	7	10	11	11	11	10	5	5	10	54	56	110
	館林市	1	1	6	2	7	4	8	13	9	5	2	12	5	5	0	0	38	42	80
	渋川市	2	2	7	8	8	6	10	11	10	10	10	10	10	9	8	9	65	65	130
	藤岡市	3	3	7	11	9	14	14	13	16	18	12	13	18	13	5	11	84	96	180
	富岡市	1	1	5	8	5	3	6	10	13	15	15	11	11	11	5	10	61	69	130
	安中市	0	0	3	3	3	0	3	1	2	2	2	2	1	4	1	3	15	15	30
みどり市	1	0	3	3	4	3	6	8	8	9	3	5	5	2	0	0	30	30	60	
市部計		16	18	94	87	111	91	132	149	132	157	121	129	114	115	50	84	770	830	1,600
北群馬郡	榛東村	0	0	4	1	1	1	2	3	3	1	3	6	1	1	1	2	15	15	30
	吉岡町	0	1	1	2	4	2	2	4	4	1	5	3	4	4	2	1	22	18	40
	計	0	1	5	3	5	3	4	7	7	2	8	9	5	5	3	3	37	33	70
多野郡	上野村	0	0	0	1	0	1	2	0	0	1	2	0	1	0	1	1	6	4	10
	神流町	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	1	1	0	0	2	6	4	10
	計	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	6	1	2	0	1	3	12	8	20
甘楽郡	下仁田町	0	0	1	1	1	0	1	1	2	1	2	2	3	1	1	3	11	9	20
	南牧村	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	3	4	6	10
	甘楽町	0	0	4	0	2	3	5	3	2	2	5	1	5	5	0	3	23	17	40
	計	0	1	5	1	3	3	6	4	4	3	8	4	8	7	4	9	38	32	70
吾妻郡	中之条町	0	0	3	3	1	3	5	1	8	3	5	8	6	7	4	3	32	28	60
	長野原町	0	0	1	1	1	0	1	2	0	2	1	2	3	2	3	1	10	10	20
	嬭恋村	0	0	0	0	1	0	2	4	1	2	1	0	7	6	3	3	15	15	30
	草津町	0	0	1	0	1	3	3	1	1	3	2	0	3	1	0	1	11	9	20
	高山村	0	0	0	2	0	1	2	2	1	1	2	1	3	3	2	0	10	10	20
	東吾妻町	0	0	0	2	2	1	2	4	7	6	4	5	7	6	2	2	24	26	50
	計	0	0	5	8	6	8	15	14	18	17	15	16	29	25	14	10	102	98	200
利根郡	片品村	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	2	3	0	0	4	6	10
	川場村	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	5	5	10
	昭和村	0	1	2	1	0	1	0	2	3	1	4	2	1	1	0	1	10	10	20
	みなかみ町	0	0	0	2	5	3	4	4	1	5	7	3	6	4	1	5	24	26	50
	計	0	1	3	3	6	5	6	8	5	8	11	6	10	9	2	7	43	47	90
佐波郡	玉村町	0	0	2	1	1	3	3	3	3	1	3	3	3	2	2	0	17	13	30
	計	0	0	2	1	1	3	3	3	3	1	3	3	3	2	2	0	17	13	30
邑楽郡	板倉町	0	0	1	2	2	2	2	2	0	3	4	0	0	0	0	10	10	20	
	明和町	0	0	0	1	2	1	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	5	5	10
	千代田町	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	5	5	10
	大泉町	0	0	3	5	3	5	2	4	4	2	4	4	3	7	2	2	21	29	50
	邑楽町	0	0	1	1	0	3	1	2	1	4	2	10	2	2	0	1	7	23	30
	計	0	0	5	9	9	13	8	9	8	10	9	19	7	9	2	3	48	72	120
郡部計		0	3	25	26	31	36	44	46	45	42	60	58	64	57	28	35	297	303	600
総計		16	21	119	113	142	127	176	195	177	199	181	187	178	172	78	119	1,067	1,133	2,200

#### 4) 調査票の配布・回収

抽出された調査対象者あてにアンケート調査票を7月中旬から8月下旬にかけて発送し、同封した封筒により郵送で調査票を回収、または電子アンケートにより回答を回収した。

配布から回答締切までの間に未回答の場合の回答を促すはがきをアンケートへの協力のお礼を兼ね全対象者あてに発送した。

### 4. 回収結果

期日までの回収数は908件、有効回収率41.3%であった。

### 5. 集計方法

回収された各回答を整理し、各設問の単純集計の他に、性別、年齢別、地域別、職業別の集計及び、これらと事業に関するアンケート結果のクロス集計を行った。なお、地域別集計は回答者の居住地から地域を求めて行った。

集計結果は回答数(人)及び、小数点第二位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第一位まで表示した。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合がある。

## 第2章 調査結果

### 1. 回答者の属性

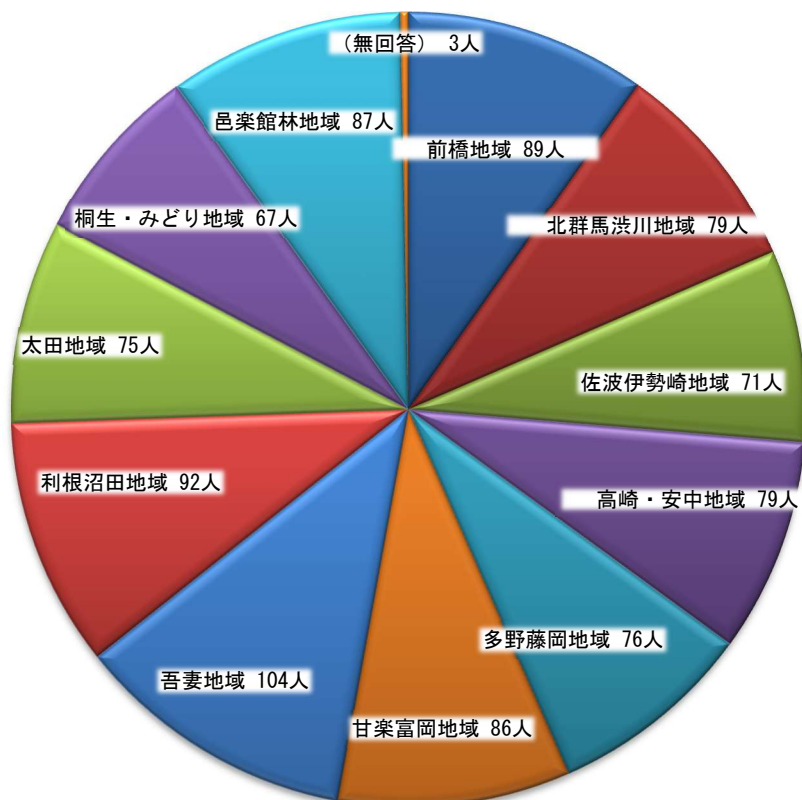
吾妻地域・利根沼田地域など山間地域では、他地域に比べ高い回収率となった。また高年齢層になるほど高い回収率であり、回答者の約6割を労働者が占めた。

回答者のうち森林を自ら所有している、または家族が所有している割合は2割であった。

#### 1) 居住市町村別

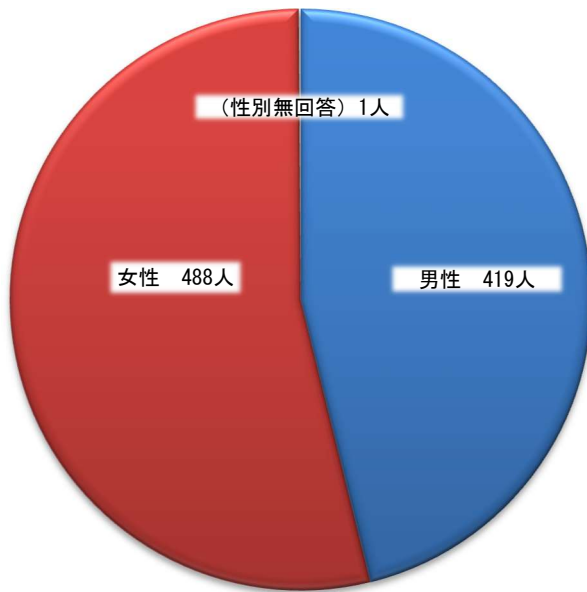
市町村	配布		回収				回収率	
	男性	女性	男性	女性	(無回答)			
前橋市	200	96	104	89	41	48	-	44.5
高崎市	170	82	88	68	30	38	-	40.0
桐生市	140	69	71	47	26	21	-	33.6
伊勢崎市	170	83	87	60	29	31	-	35.3
太田市	200	93	107	75	30	45	-	37.5
沼田市	110	54	56	47	22	25	-	42.7
館林市	80	38	42	34	12	22	-	42.5
渋川市	130	65	65	47	20	27	-	36.2
藤岡市	180	84	96	68	34	34	-	37.8
富岡市	130	61	69	58	31	27	-	44.6
安中市	30	15	15	11	4	7	-	36.7
みどり市	60	30	30	20	8	12	-	33.3
市部計	1,600	770	830	624	287	337	-	39.0
榛東村	30	15	15	17	8	9	-	56.7
吉岡町	40	22	18	15	6	9	-	37.5
上野村	10	6	4	4	3	1	-	40.0
神流町	10	6	4	4	2	2	-	40.0
下仁田町	20	11	9	10	5	5	-	50.0
南牧村	10	4	6	3	2	1	-	30.0
甘楽町	40	23	17	15	5	10	-	37.5
中之条町	60	32	28	33	18	15	-	55.0
長野原町	20	10	10	7	4	3	-	35.0
嬭恋村	30	15	15	20	12	8	-	66.7
草津町	20	11	9	7	3	4	-	35.0
高山村	20	10	10	8	4	4	-	40.0
東吾妻町	50	24	26	29	14	15	-	58.0
片品村	10	4	6	4	-	4	-	40.0
川場村	10	5	5	5	2	3	-	50.0
昭和村	20	10	10	12	7	5	-	60.0
みなかみ町	50	24	26	24	10	14	-	48.0
玉村町	30	17	13	11	8	3	-	36.7
板倉町	20	10	10	6	3	3	-	30.0
明和町	10	5	5	4	3	1	-	40.0
千代田町	10	5	5	5	1	4	-	50.0
大泉町	50	21	29	23	7	16	-	46.0
邑楽町	30	7	23	15	4	11	-	50.0
郡部計	600	297	303	281	131	150	-	46.8
(無回答)	-	-	-	3	-	-	3	-
総計	2,200	1,067	1,133	908	418	487	3	41.3

## 2) 地域別



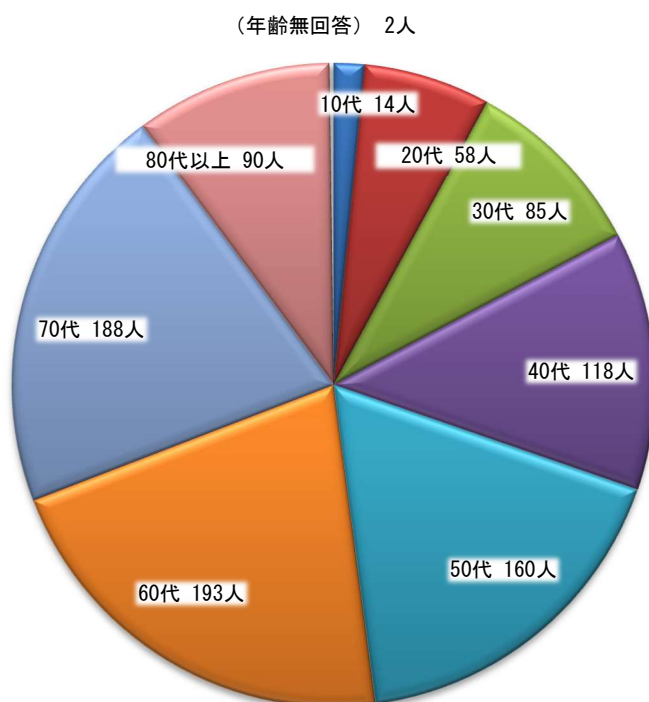
地域名	回答数	構成比	回収率	構成市町村
前橋地域	89	9.8	44.5	前橋市
北群馬渋川地域	79	8.7	39.5	渋川市・榛東村・吉岡町
佐波伊勢崎地域	71	7.8	35.5	伊勢崎市・玉村町
高崎・安中地域	79	8.7	39.5	高崎市・安中市
多野藤岡地域	76	8.4	38.0	藤岡市・上野村・神流町
甘楽富岡地域	86	9.5	43.0	富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町
吾妻地域	104	11.5	52.0	中之条町・長野原町・嬬恋村・草津町・高山村・東吾妻町
利根沼田地域	92	10.1	46.0	沼田市・片品村・川場村・昭和村・みなかみ町
太田地域	75	8.3	37.5	太田市
桐生・みどり地域	67	7.4	33.5	桐生市・みどり市
邑楽館林地域	87	9.6	43.5	館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町
(無回答)	3	0.3	-	
計	n=908	100.0		

### 3) 性別



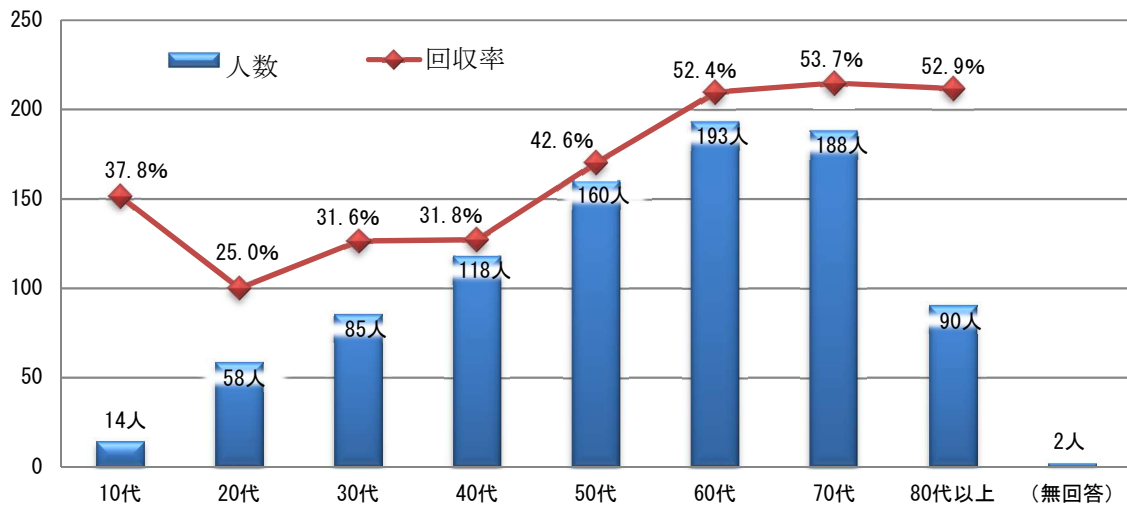
項目	回答数	構成比
男性	419	46.1
女性	488	53.7
(無回答)	1	0.1
合計	n=908	100.0

### 4) 年齢

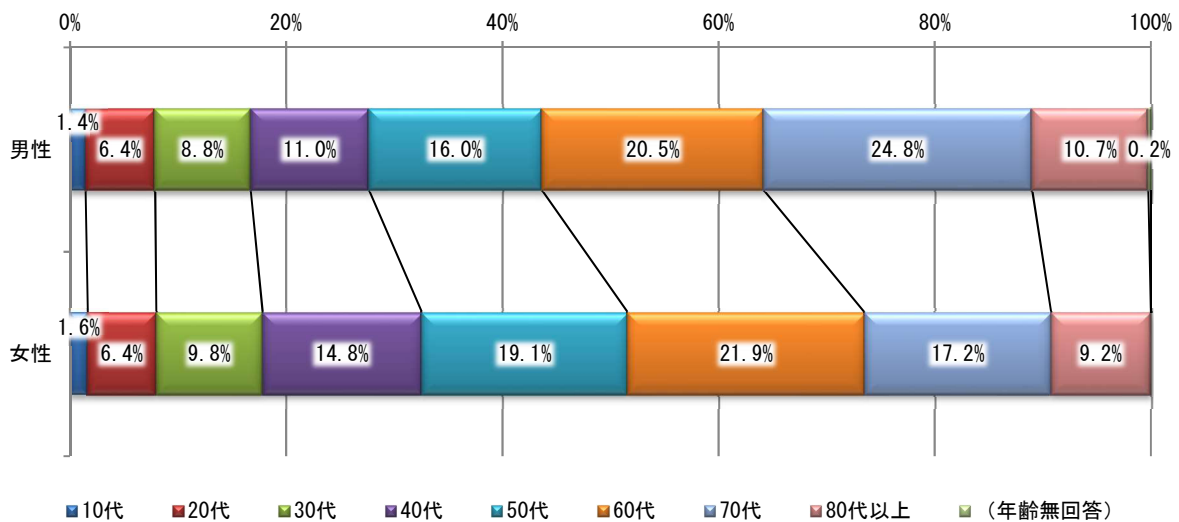


項目	回答数	構成比
10代	14	1.5
20代	58	6.4
30代	85	9.4
40代	118	13.0
50代	160	17.6
60代	193	21.3
70代	188	20.7
80代以上	90	9.9
(無回答)	2	0.2
合計	n=908	100.0

### 5) 年齢別回収率

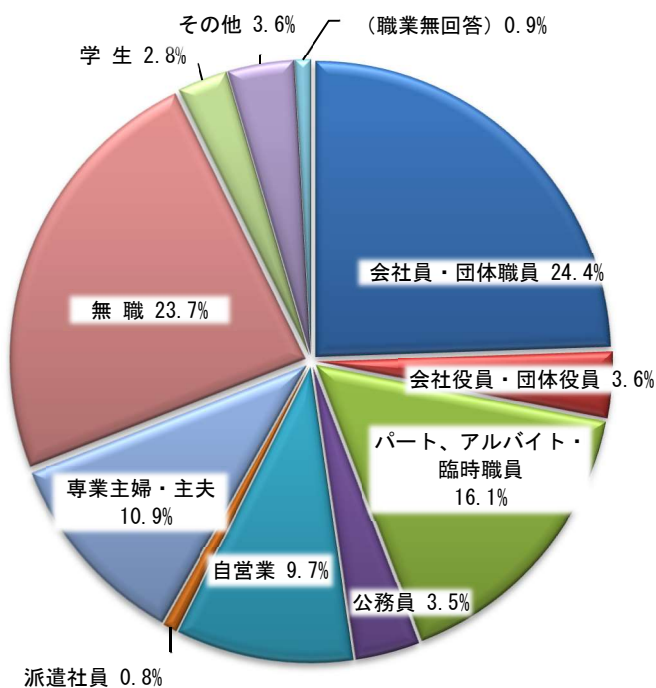


### 6) 性別・年齢別



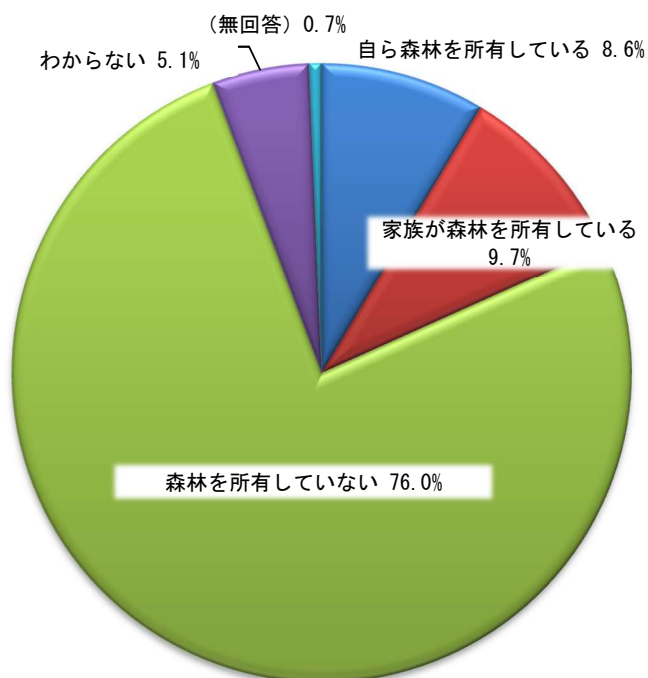
	男性		女性		(性別無回答)		総計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
10代	6	1.4	8	1.6	0	0.0	14
20代	27	6.4	31	6.4	0	0.0	58
30代	37	8.8	48	9.8	0	0.0	85
40代	46	11.0	72	14.8	0	0.0	118
50代	67	16.0	93	19.1	0	0.0	160
60代	86	20.5	107	21.9	0	0.0	193
70代	104	24.8	84	17.2	0	0.0	188
80代以上	45	10.7	45	9.2	0	0.0	90
(年齢無回答)	1	0.2	0	0	1	100.0	2
総計	419	100.0	488	100.0	1	100.0	908

## 7) 職業別



項目	回答数	構成比
会社員・団体職員	222	24.4
会社役員・団体役員	33	3.6
パート、アルバイト・臨時職員	146	16.1
公務員	32	3.5
自営業	88	9.7
派遣社員	7	0.8
専業主婦・主夫	99	10.9
無職	215	23.7
学生	25	2.8
その他	33	3.6
(職業無回答)	8	0.9
合計	908	100.0

## 8) 森林の所有状況



項目	回答数	構成比
自ら森林を所有している	78	8.6
家族が森林を所有している	88	9.7
森林を所有していない	690	76.0
わからない	46	5.1
(無回答)	6	0.7
合計	908	100.0



## 2. 全体集計

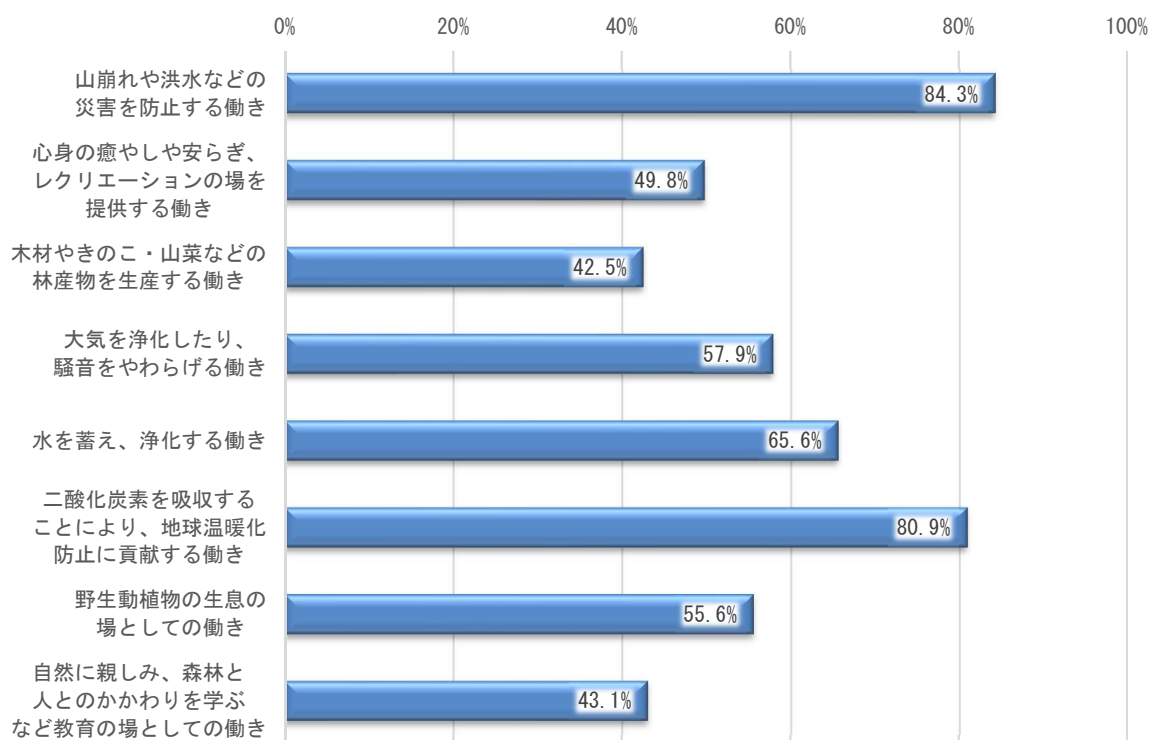
### 1) 問1 森林の働きについて

森林は水を育み二酸化炭素を吸収するなどの機能があり、私たちの安全で安心な暮らしを支えています。あなたは森林の働きに何を期待しますか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

山崩れや洪水などの災害防止機能、地球温暖化防止機能については全回答者の8割以上が期待している  
と回答しており、年齢別、地域別、森林の所有状況にかかわらず高い期待が寄せられている結果となった。

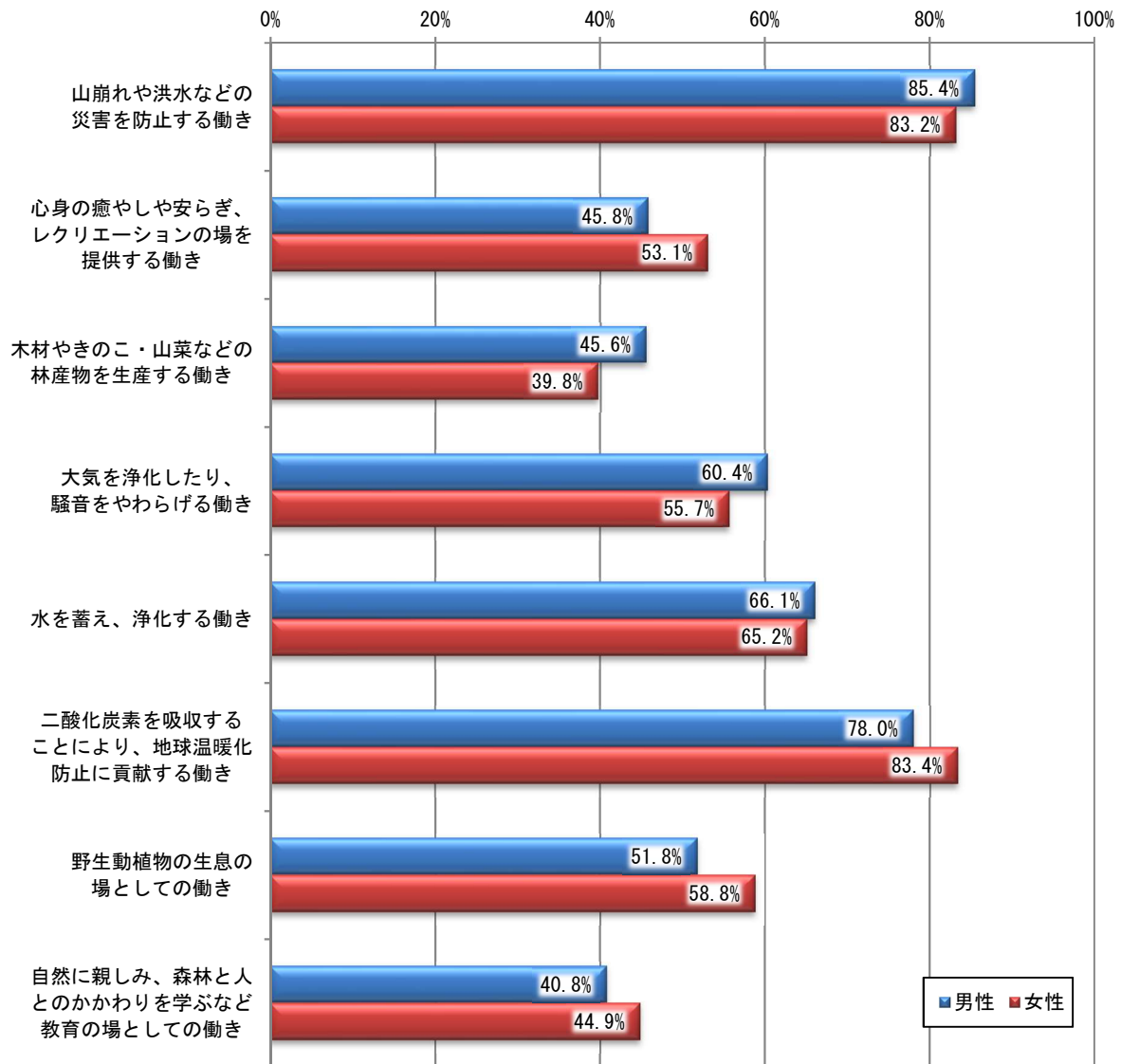
また、これ以外にも水源涵養機能へ期待するとの回答が多い結果となった。全項目に対し4割以上の回答者から、期待するとの回答があった。

#### ① 項目ごとの回答者数



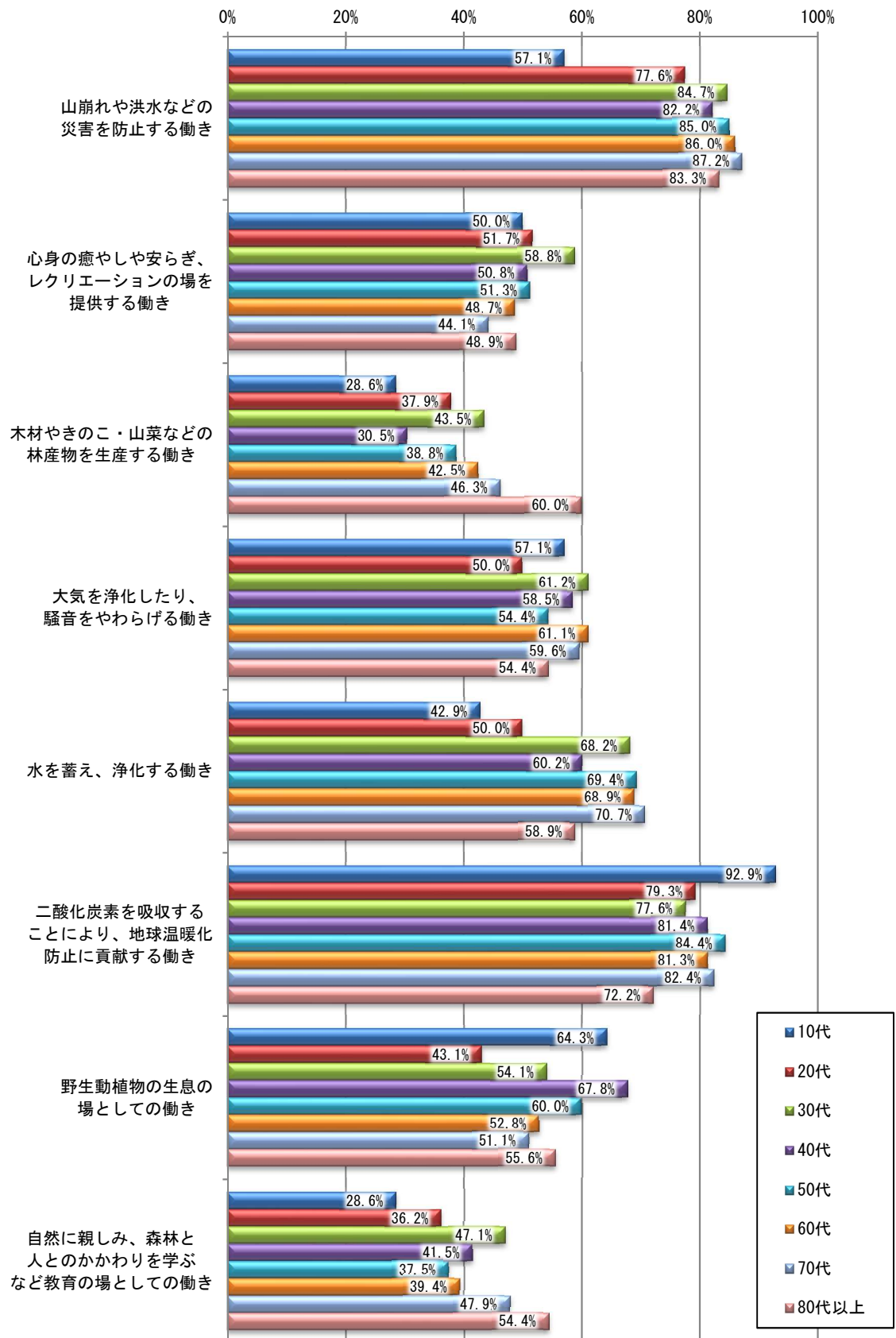
	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	765	84.3
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	452	49.8
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	386	42.5
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	526	57.9
水を蓄え、浄化する働き	596	65.6
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	735	80.9
野生動植物の生息の場としての働き	505	55.6
自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	391	43.1

## ② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	358	85.4	406	83.2	1	100.0
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	192	45.8	259	53.1	1	100.0
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	191	45.6	194	39.8	1	100.0
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	253	60.4	272	55.7	1	100.0
水を蓄え、浄化する働き	277	66.1	318	65.2	1	100.0
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	327	78.0	407	83.4	1	100.0
野生動植物の生息の場としての働き	217	51.8	287	58.8	1	100.0
自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	171	40.8	219	44.9	1	100.0

### ③ 年代別の回答者数

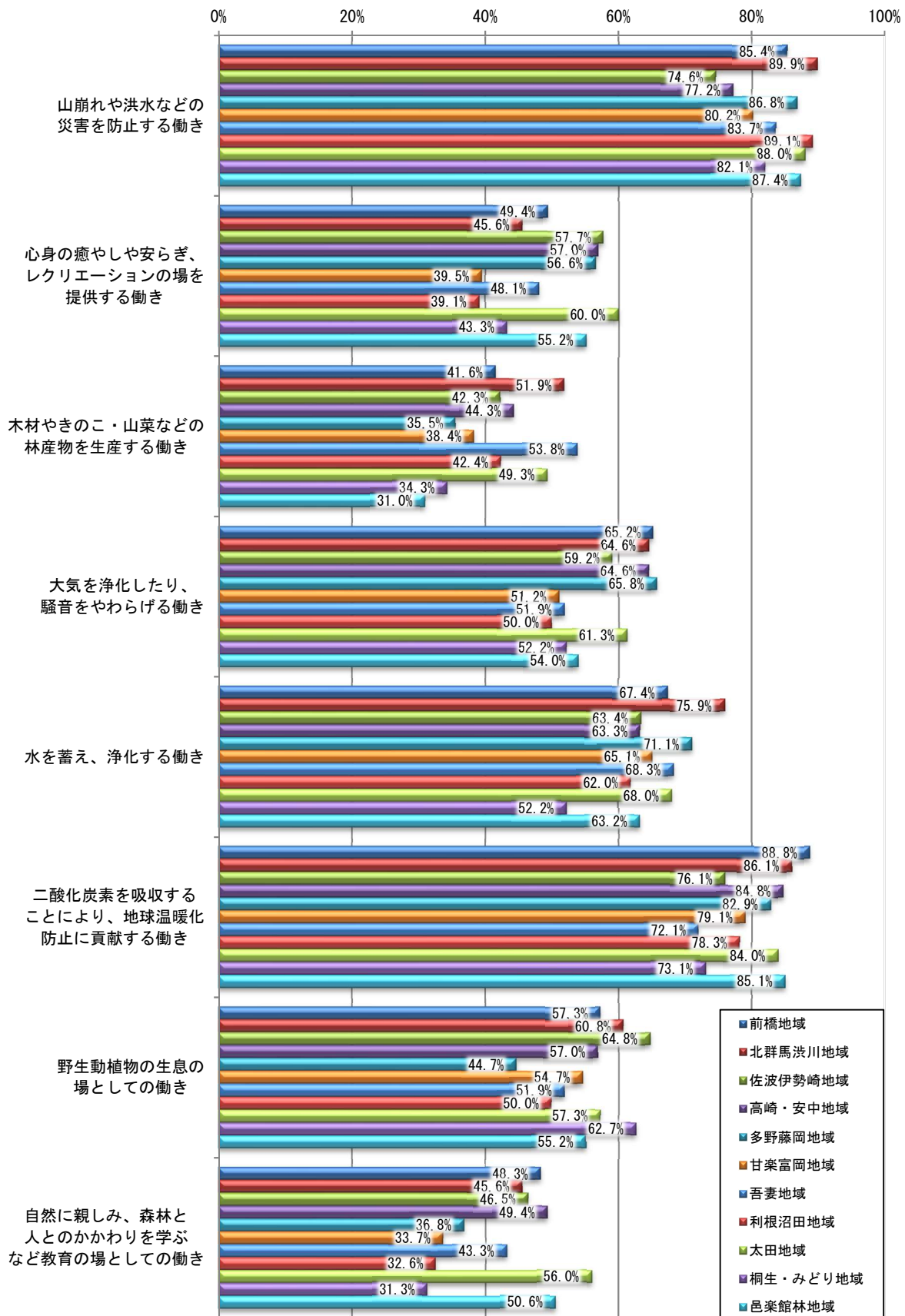


番号	項目
1	山崩れや洪水などの災害を防止する働き
2	心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き
3	木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き
4	大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き
5	水を蓄え、浄化する働き
6	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
7	野生動植物の生息の場としての働き
8	自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き

番号	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	8	57.1	45	77.6	72	84.7	97	82.2	136	85.0	166	86.0
2	7	50.0	30	51.7	50	58.8	60	50.8	82	51.3	94	48.7
3	4	28.6	22	37.9	37	43.5	36	30.5	62	38.8	82	42.5
4	8	57.1	29	50.0	52	61.2	69	58.5	87	54.4	118	61.1
5	6	42.9	29	50.0	58	68.2	71	60.2	111	69.4	133	68.9
6	13	92.9	46	79.3	66	77.6	96	81.4	135	84.4	157	81.3
7	9	64.3	25	43.1	46	54.1	80	67.8	96	60.0	102	52.8
8	4	28.6	21	36.2	40	47.1	49	41.5	60	37.5	76	39.4

番号	70代		80代以上		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	164	87.2	75	83.3	2	100.0
2	83	44.1	44	48.9	2	100.0
3	87	46.3	54	60.0	2	100.0
4	112	59.6	49	54.4	2	100.0
5	133	70.7	53	58.9	2	100.0
6	155	82.4	65	72.2	2	100.0
7	96	51.1	50	55.6	1	50.0
8	90	47.9	49	54.4	2	100.0

#### ④ 地域別の回答者数

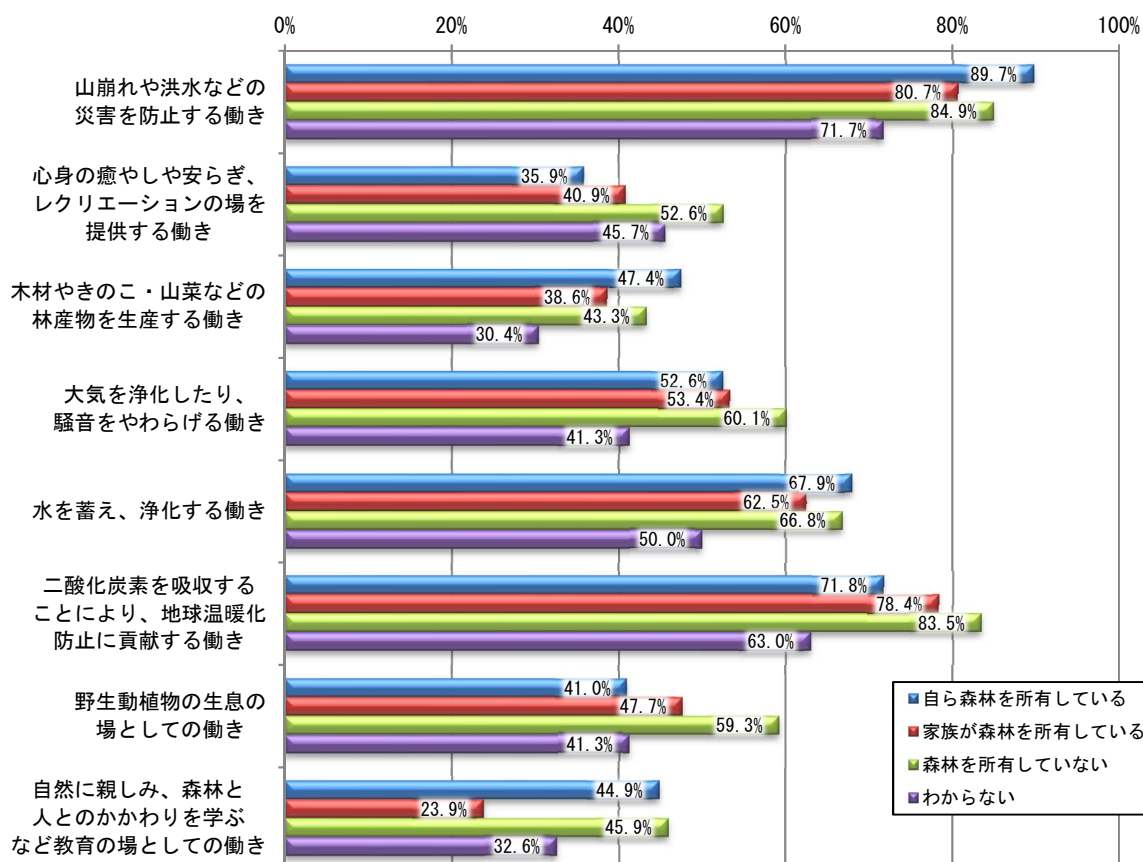


番号	項目
1	山崩れや洪水などの災害を防止する働き
2	心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き
3	木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き
4	大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き
5	水を蓄え、浄化する働き
6	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
7	野生動植物の生息の場としての働き
8	自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き

番号	前橋地域		北群馬渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	76	85.4	71	89.9	53	74.6	61	77.2	66	86.8	69	80.2
2	44	49.4	36	45.6	41	57.7	45	57.0	43	56.6	34	39.5
3	37	41.6	41	51.9	30	42.3	35	44.3	27	35.5	33	38.4
4	58	65.2	51	64.6	42	59.2	51	64.6	50	65.8	44	51.2
5	60	67.4	60	75.9	45	63.4	50	63.3	54	71.1	56	65.1
6	79	88.8	68	86.1	54	76.1	67	84.8	63	82.9	68	79.1
7	51	57.3	48	60.8	46	64.8	45	57.0	34	44.7	47	54.7
8	43	48.3	36	45.6	33	46.5	39	49.4	28	36.8	29	33.7

番号	吾妻地域		利根沼田地域		太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	87	83.7	82	89.1	66	88.0	55	82.1	76	87.4	3	100.0
2	50	48.1	36	39.1	45	60.0	29	43.3	48	55.2	1	33.3
3	56	53.8	39	42.4	37	49.3	23	34.3	27	31.0	1	33.3
4	54	51.9	46	50.0	46	61.3	35	52.2	47	54.0	2	66.7
5	71	68.3	57	62.0	51	68.0	35	52.2	55	63.2	2	66.7
6	75	72.1	72	78.3	63	84.0	49	73.1	74	85.1	3	100.0
7	54	51.9	46	50.0	43	57.3	42	62.7	48	55.2	1	33.3
8	45	43.3	30	32.6	42	56.0	21	31.3	44	50.6	1	33.3

### ⑤ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	70	89.7	71	80.7	586	84.9	33	71.7	5	83.3
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	28	35.9	36	40.9	363	52.6	21	45.7	4	66.7
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	37	47.4	34	38.6	299	43.3	14	30.4	2	33.3
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	41	52.6	47	53.4	415	60.1	19	41.3	4	66.7
水を蓄え、浄化する働き	53	67.9	55	62.5	461	66.8	23	50.0	4	66.7
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	56	71.8	69	78.4	576	83.5	29	63.0	5	83.3
野生動植物の生息の場としての働き	32	41.0	42	47.7	409	59.3	19	41.3	3	50.0
自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	35	44.9	21	23.9	317	45.9	15	32.6	3	50.0

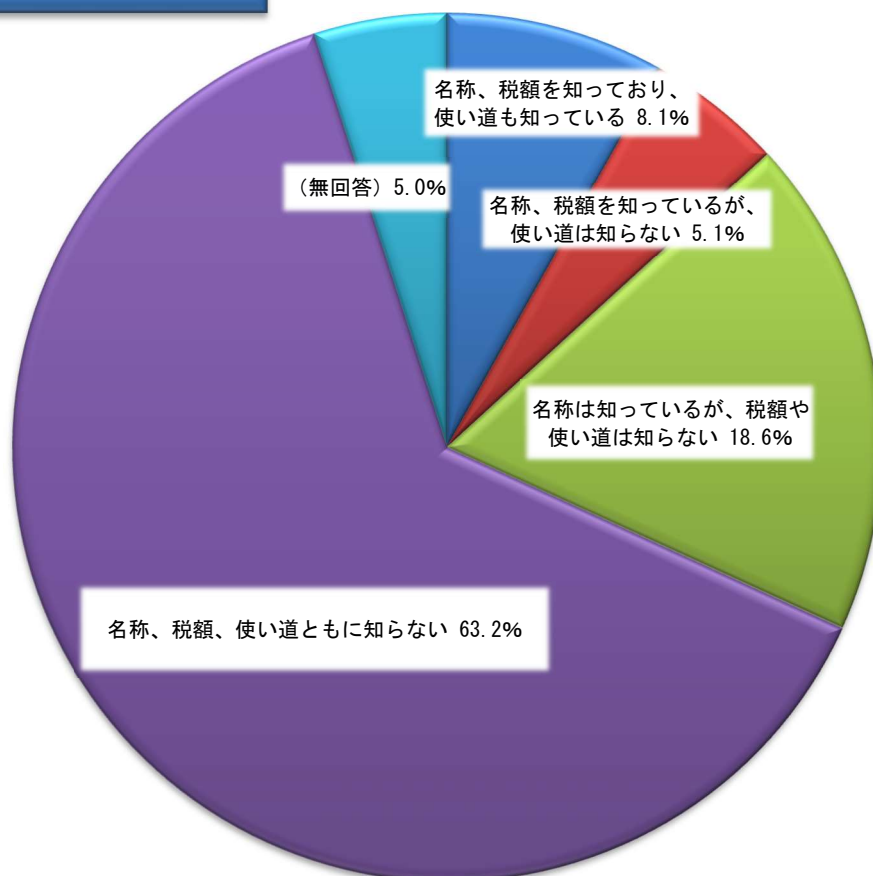
## 2) 問2 「ぐんま緑の県民税」の認知度について

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、「ぐんま緑の県民税」を導入し、これまで、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]のとおり、奥山や里山・平地林の整備等に取り組んでいます。あなたは「ぐんま緑の県民税」を知っていますか。該当する番号を1つ○で囲んでください。

回答者の約3割は名称を知っているものの、用途を理解しているのは1割に満たない結果となった。また名称、税額、用途ともに知らないとの回答が約6割であった。

年代別では、高齢層の認知度が高く、若年層ほど低い結果となった。地域別では、佐波伊勢崎地域・太田地域・邑楽館林地域など平野部での認知度が低い傾向となった。森林所有状況別では、自ら森林を所有しているまたは、家族が森林を所有していると回答した回答者は、森林を所有していない回答者と比較し、認知度が高い結果となった。

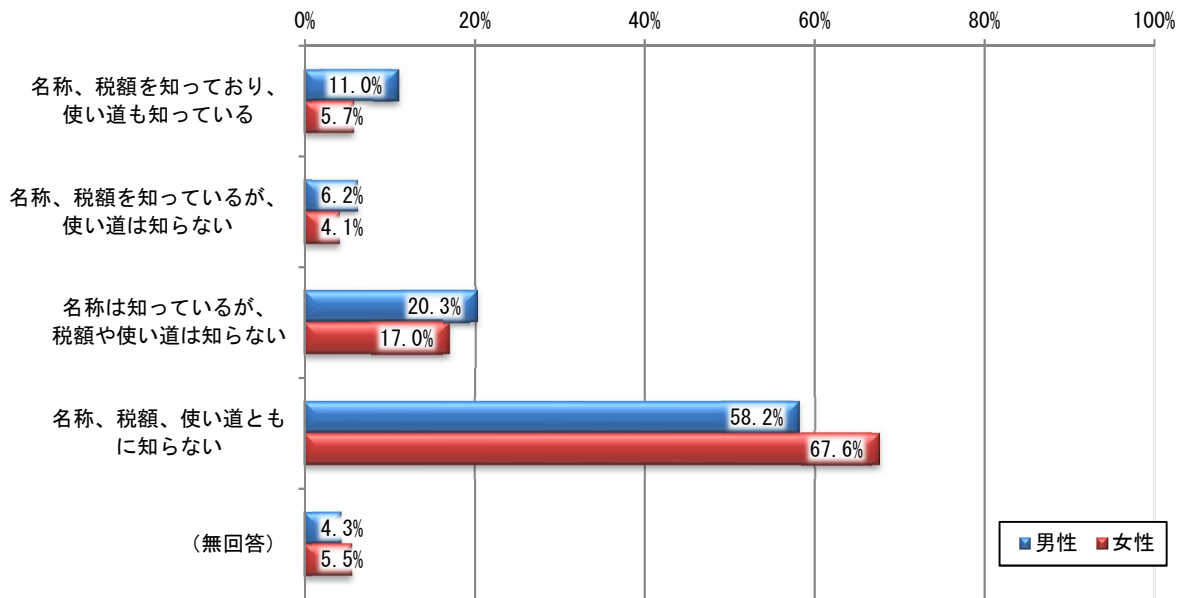
### ① 項目ごとの回答者数



項目	回答数	構成比
名称、税額を知っており、使い道も知っている	74	8.1
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	46	5.1
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	169	18.6
名称、税額、使い道とも知らない	574	63.2
(無回答)	45	5.0
計	n=908	100.0

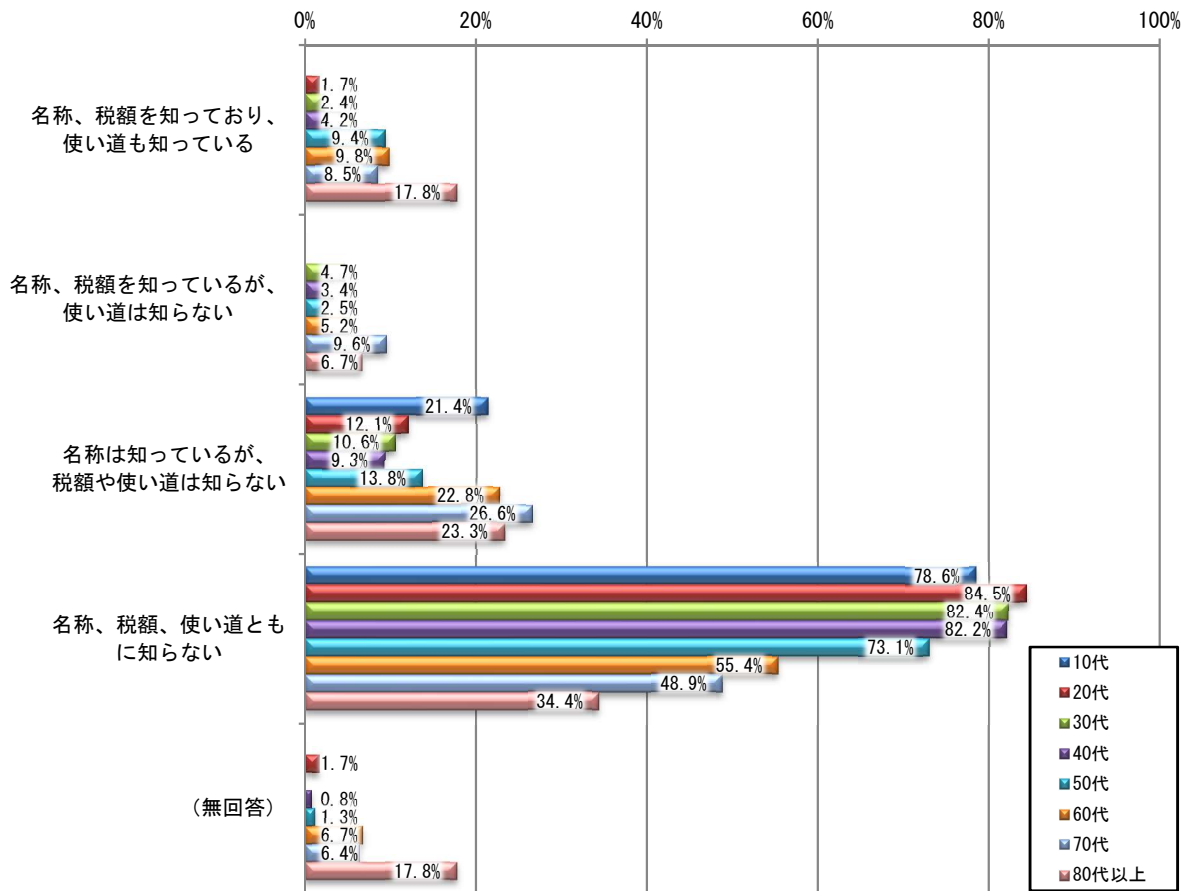


## ② 男女別の回答者数



行ラベル	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
名称、税額を知っており、使い道も知っている	46	11.0	28	5.7	0	0.0
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	26	6.2	20	4.1	0	0.0
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	85	20.3	83	17.0	1	100.0
名称、税額、使い道ともに知らない	244	58.2	330	67.6	0	0.0
(無回答)	18	4.3	27	5.5	0	0.0

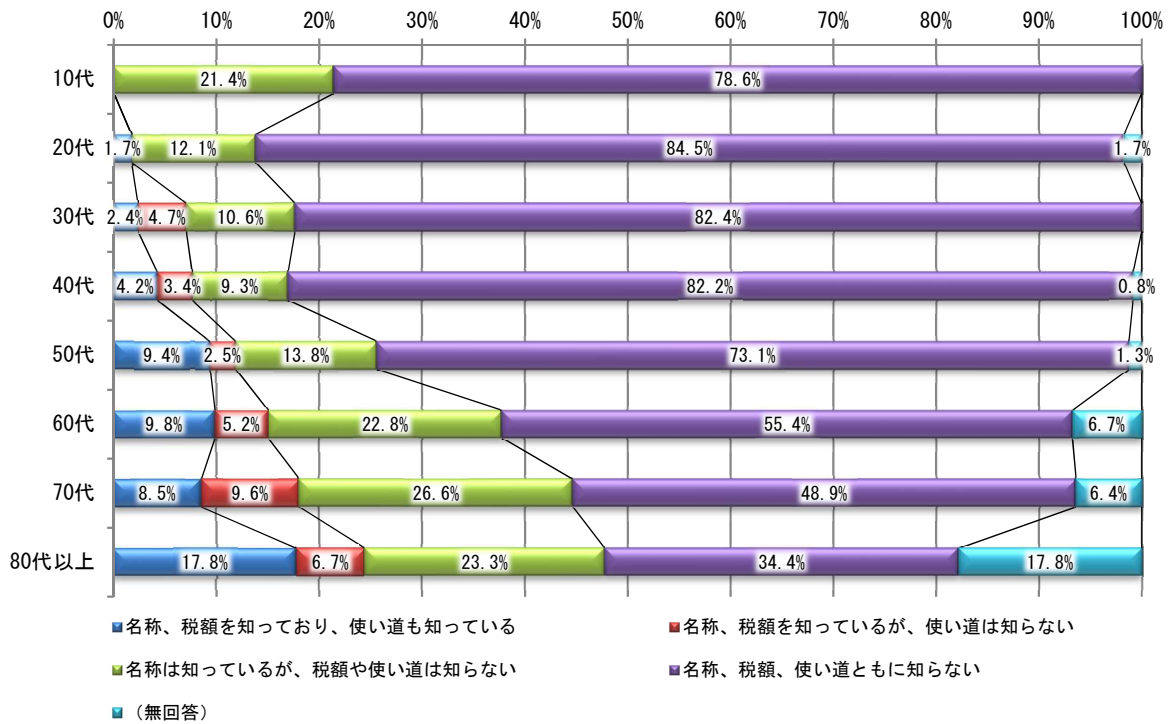
③ 年代別の回答者数: 項目別



番号	項目	10代		20代		30代		40代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	名称、税額を知っており、使い道も知っている	0	0.0	1	1.7	2	2.4	5	4.2
2	名称、税額を知っているが、使い道は知らない	0	0.0	0	0.0	4	4.7	4	3.4
3	名称は知っているが、税額や使い道は知らない	3	21.4	7	12.1	9	10.6	11	9.3
4	名称、税額、使い道ともに知らない	11	78.6	49	84.5	70	82.4	97	82.2
5	(無回答)	0	0.0	1	1.7	0	0.0	1	0.8

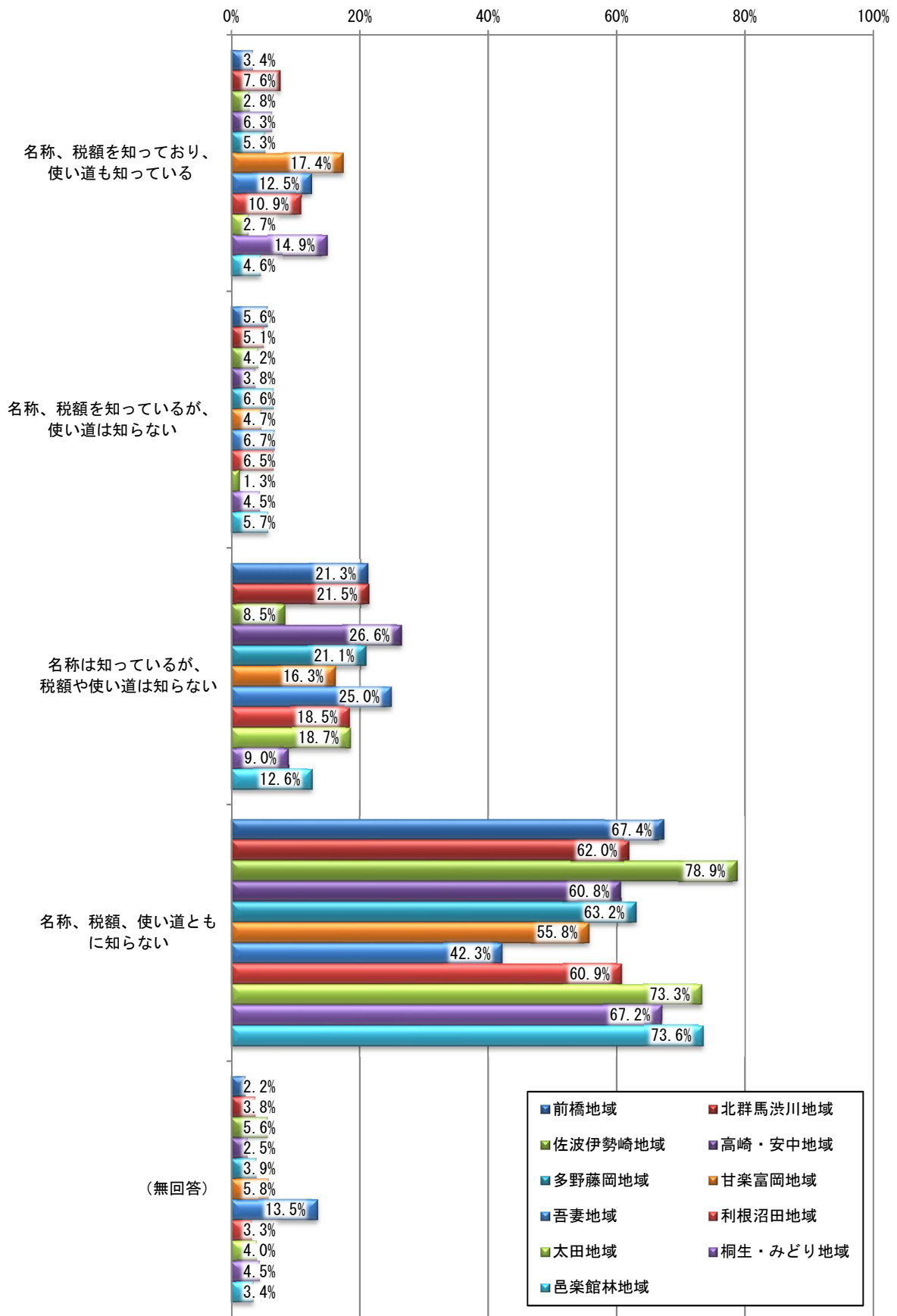
番号	50代		60代		70代		80代以上		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	15	9.4	19	9.8	16	8.5	16	17.8	0	0.0
2	4	2.5	10	5.2	18	9.6	6	6.7	0	0.0
3	22	13.8	44	22.8	50	26.6	21	23.3	2	100.0
4	117	73.1	107	55.4	92	48.9	31	34.4	0	0.0
5	2	1.3	13	6.7	12	6.4	16	17.8	0	0.0

④ 年代別の回答者数:年代別



項目	名称、税額を知っており、使い道も知っている		名称、税額を知っているが、使い道は知らない		名称は知っているが、税額や使い道は知らない		名称、税額、使い道ともに知らない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10代	0	0.0	0	0.0	3	21.4	11	78.6	0	0.0
20代	1	1.7	0	0.0	7	12.1	49	84.5	1	1.7
30代	2	2.4	4	4.7	9	10.6	70	82.4	0	0.0
40代	5	4.2	4	3.4	11	9.3	97	82.2	1	0.8
50代	15	9.4	4	2.5	22	13.8	117	73.1	2	1.3
60代	19	9.8	10	5.2	44	22.8	107	55.4	13	6.7
70代	16	8.5	18	9.6	50	26.6	92	48.9	12	6.4
80代以上	16	17.8	6	6.7	21	23.3	31	34.4	16	17.8
(年齢無回答)	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0

⑤ 地域別の回答者数

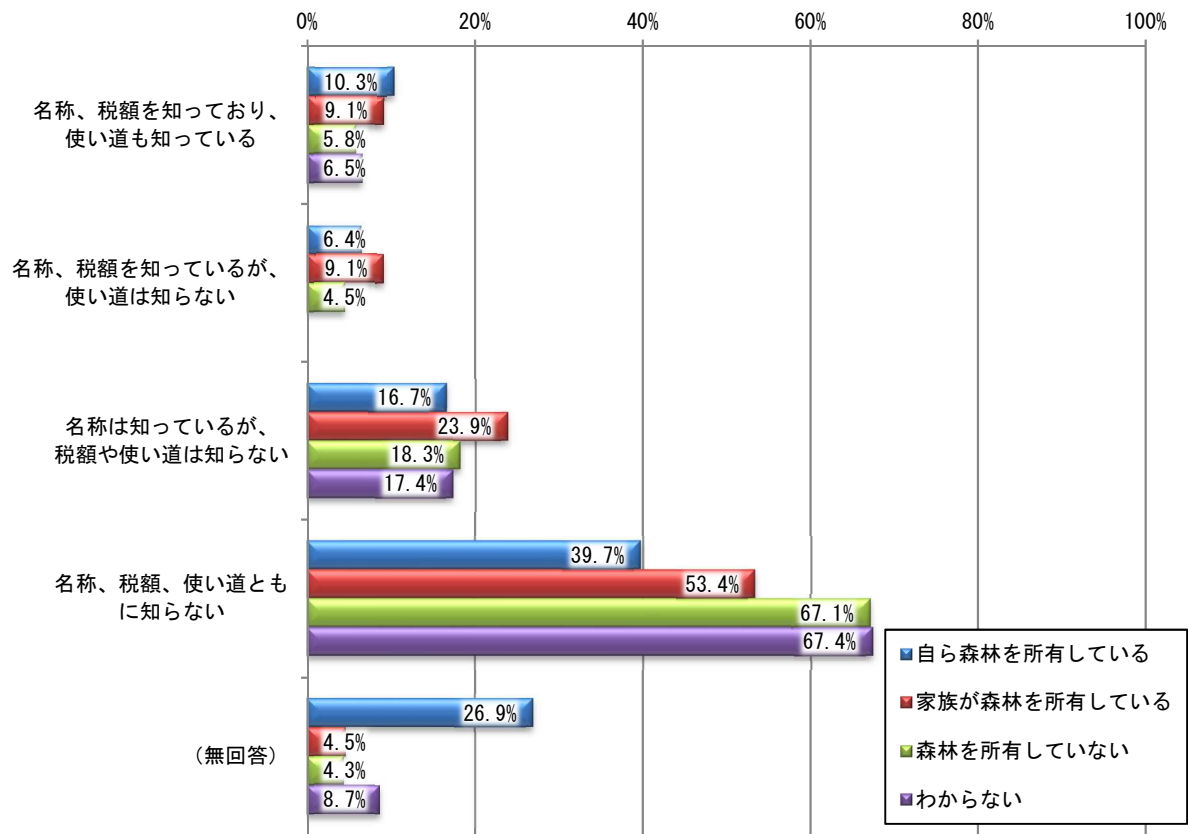


番号	項目
1	名称、税額を知っており、使い道も知っている
2	名称、税額を知っているが、使い道は知らない
3	名称は知っているが、税額や使い道は知らない
4	名称、税額、使い道ともに知らない
5	(無回答)

番号	前橋地域		北群馬渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	3	3.4	6	7.6	2	2.8	5	6.3	4	5.3	15	17.4
2	5	5.6	4	5.1	3	4.2	3	3.8	5	6.6	4	4.7
3	19	21.3	17	21.5	6	8.5	21	26.6	16	21.1	14	16.3
4	60	67.4	49	62.0	56	78.9	48	60.8	48	63.2	48	55.8
5	2	2.2	3	3.8	4	5.6	2	2.5	3	3.9	5	5.8

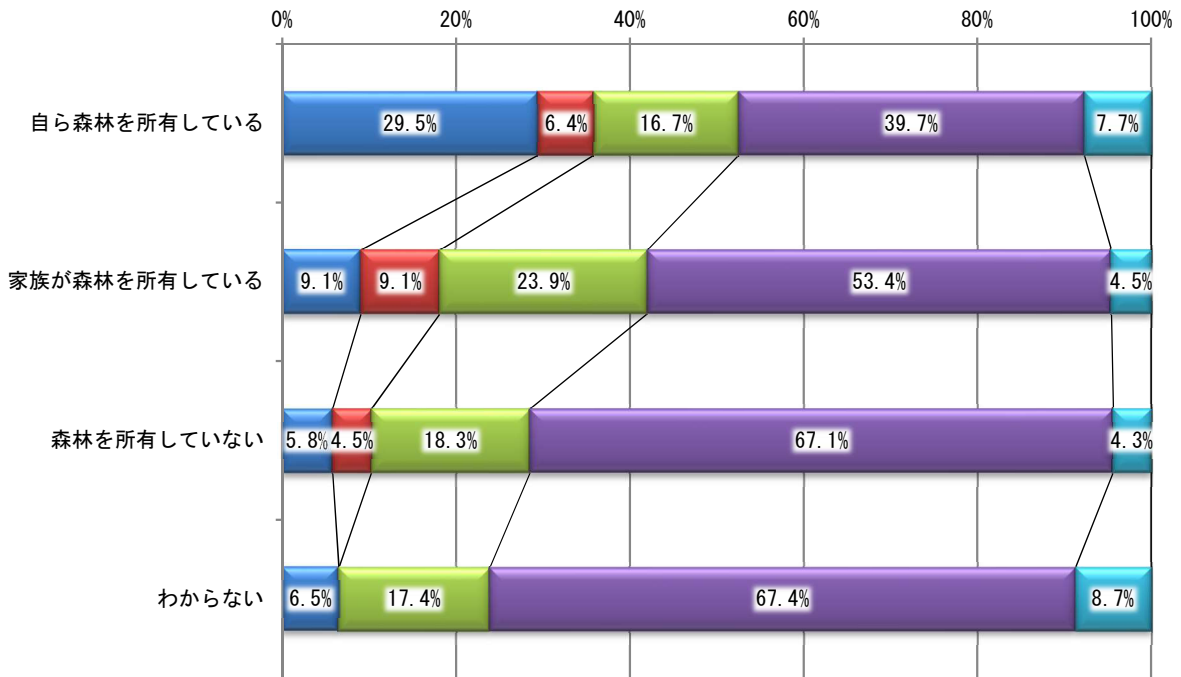
番号	吾妻地域		利根沼田地域		太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	13	12.5	10	10.9	2	2.7	10	14.9	4	4.6	0	0.0
2	7	6.7	6	6.5	1	1.3	3	4.5	5	5.7	0	0.0
3	26	25.0	17	18.5	14	18.7	6	9.0	11	12.6	2	66.7
4	44	42.3	56	60.9	55	73.3	45	67.2	64	73.6	1	33.3
5	14	13.5	3	3.3	3	4.0	3	4.5	3	3.4	0	0.0

### ⑥ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
名称、税額を知っており、使い道も知っている	8	10.3	8	9.1	40	5.8	3	6.5	0	0.0
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	5	6.4	8	9.1	31	4.5	0	0.0	2	33.3
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	13	16.7	21	23.9	126	18.3	8	17.4	1	16.7
名称、税額、使い道ともに知らない	31	39.7	47	53.4	463	67.1	31	67.4	2	33.3
(無回答)	21	26.9	4	4.5	30	4.3	4	8.7	1	16.7

⑦ 森林所有状況別回答者構成比



- 名称、税額を知っており、使い道も知っている
- 名称、税額を知っているが、使い道は知らない
- 名称は知っているが、税額や使い道は知らない
- 名称、税額、使い道ともに知らない
- (無回答)

項目	名称、税額を知っており、使い道も知っている		名称、税額を知っているが、使い道は知らない		名称は知っているが、税額や使い道は知らない		名称、税額、使い道ともに知らない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自ら森林を所有している	23	29.5	5	6.4	13	16.7	31	39.7	6	7.7
家族が森林を所有している	8	9.1	8	9.1	21	23.9	47	53.4	4	4.5
森林を所有していない	40	5.8	31	4.5	126	18.3	463	67.1	30	4.3
わからない	3	6.5	0	0.0	8	17.4	31	67.4	4	8.7
(無回答)	0	0.0	2	33.3	1	16.7	2	33.3	1	16.7

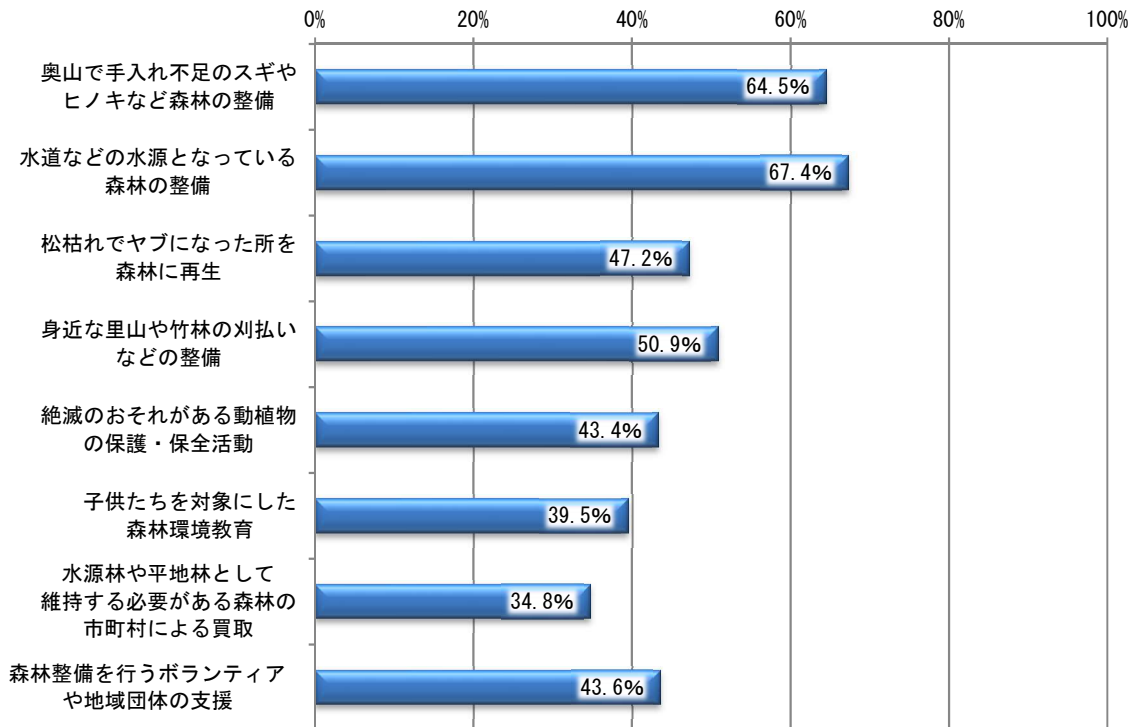
### 3) 問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について

「ぐんま緑の県民税」は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」、「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に、次の取組を行っています。あなたが大切だと思う取組は何ですか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

奥山で手入れ不足のスギやヒノキなどの森林整備や水源林の整備については、6割以上の回答者が大切な取組であると考えていることが分かった。

年代別では、年代が高くなるほど、身近な里山や竹林の刈払いなどの整備や水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取が大切な取組だと考えられている結果となった。地域別では、平野部では絶滅のおそれのある動植物の保護・保全活動や子供たちを対象にした森林環境教育、山間部では身近な里山や竹林の刈払いがそれぞれ高い結果となった。所有者別では、森林を所有している人は、所有していない人と比較し身近な里山や竹林の刈払いなどの整備が高い結果となった。

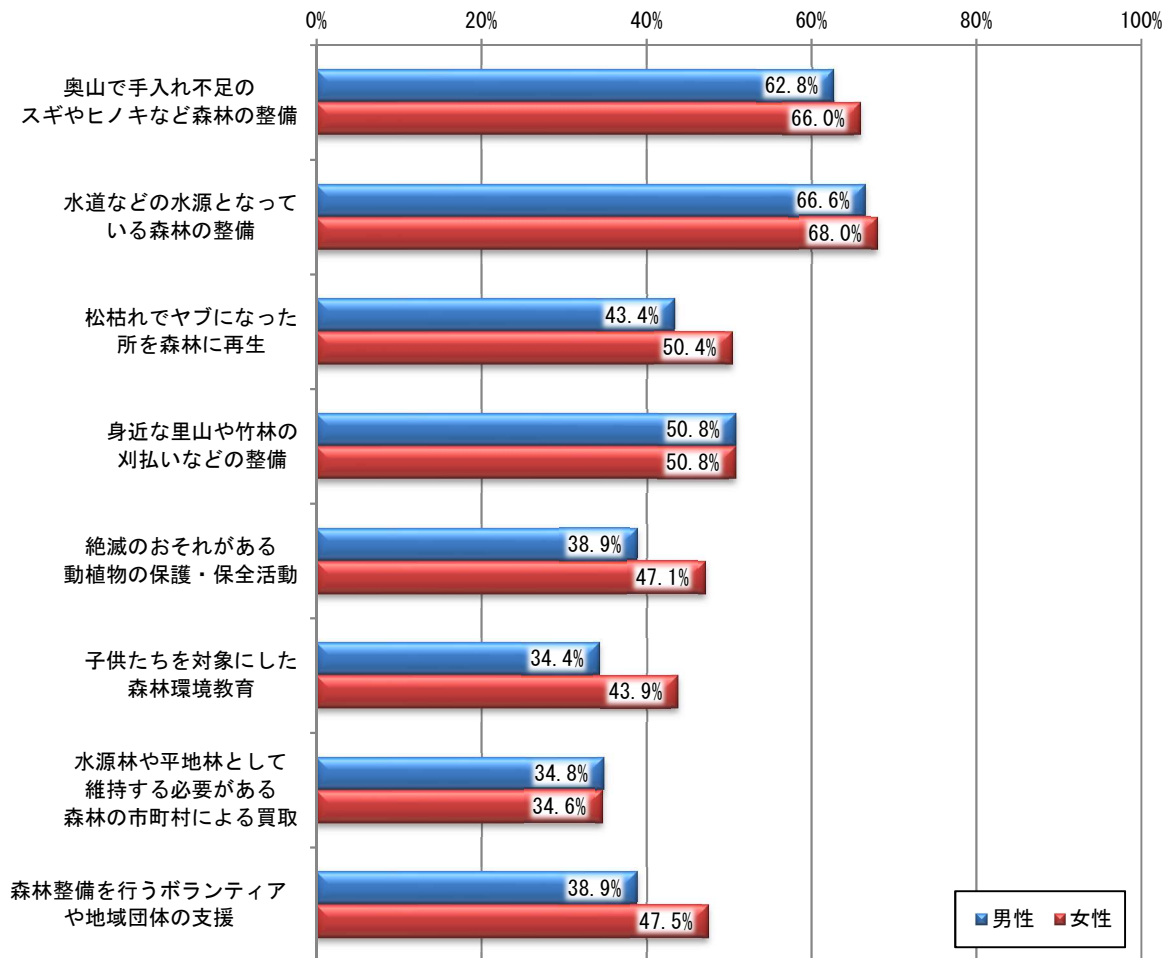
#### ① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	586	64.5
水道などの水源となっている森林の整備	612	67.4
松枯れでヤブになった所を森林に再生	429	47.2
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	462	50.9
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	394	43.4
子供たちを対象にした森林環境教育	359	39.5
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	316	34.8
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	396	43.6
計	n=908	100.0

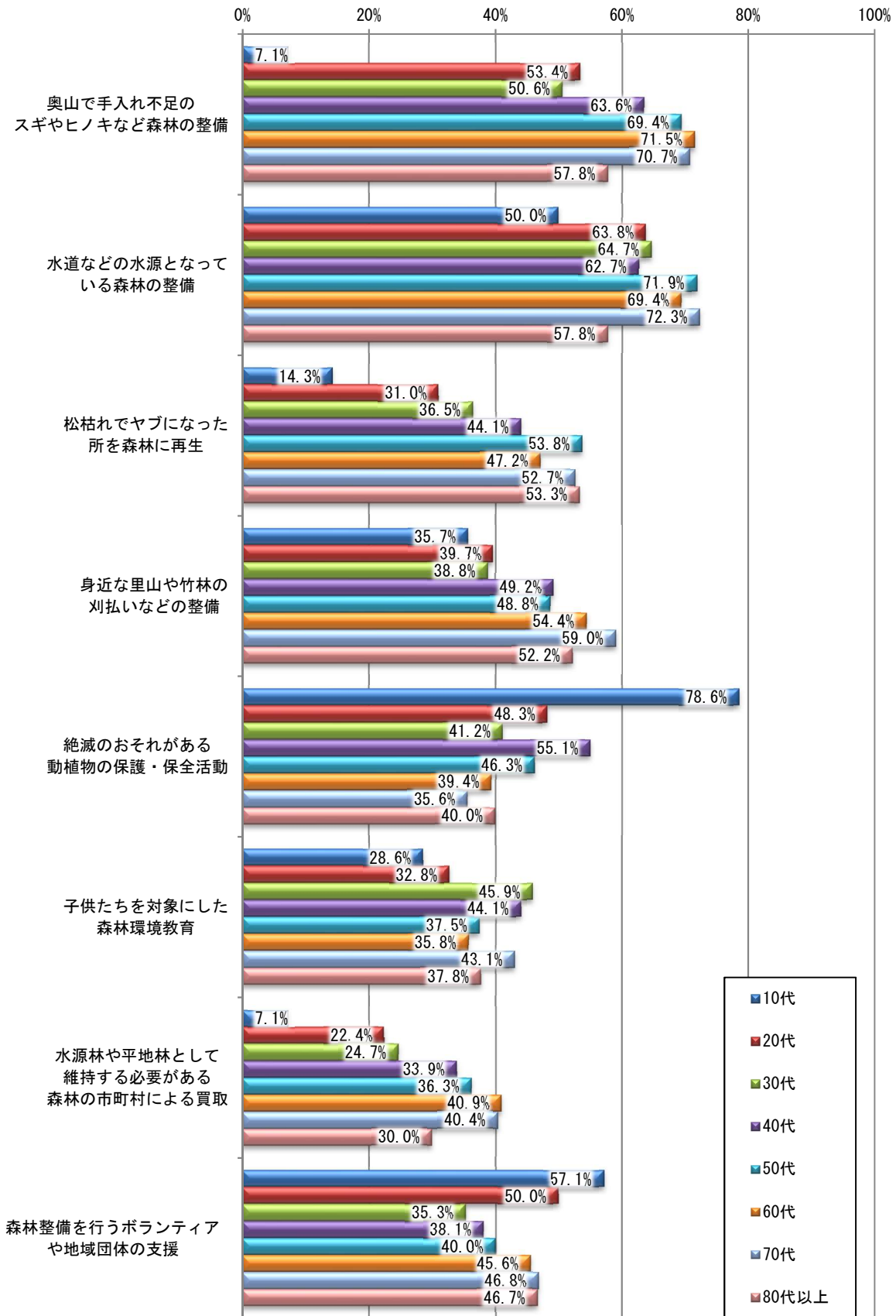


## ② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	263	62.8	322	66.0	1	100.0
水道などの水源となっている森林の整備	279	66.6	332	68.0	1	100.0
松枯れでヤブになった所を森林に再生	182	43.4	246	50.4	1	100.0
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	213	50.8	248	50.8	1	100.0
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	163	38.9	230	47.1	1	100.0
子供たちを対象にした森林環境教育	144	34.4	214	43.9	1	100.0
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	146	34.8	169	34.6	1	100.0
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	163	38.9	232	47.5	1	100.0

### ③ 年代別の回答者数

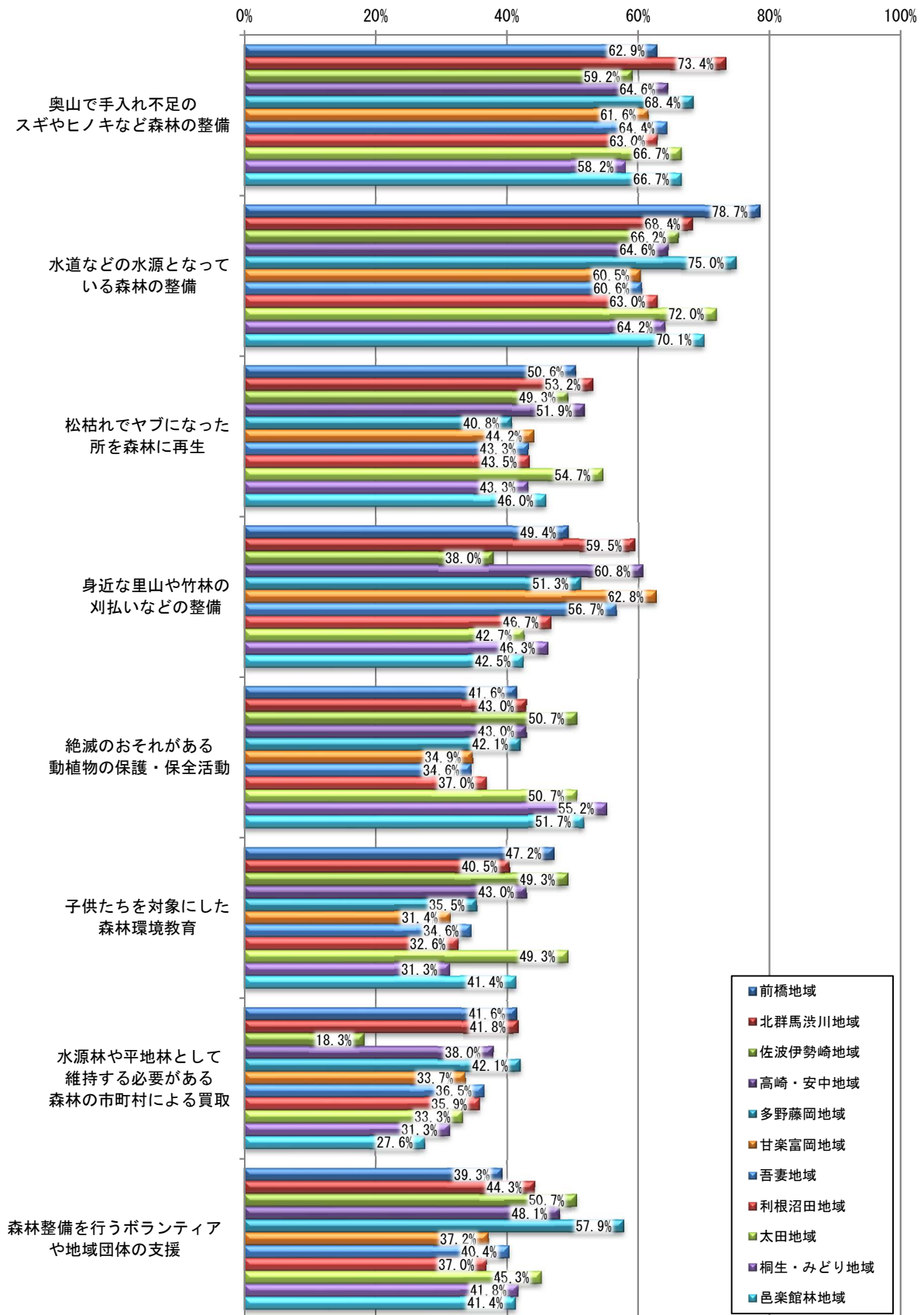


番号	項目
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
2	水道などの水源となっている森林の整備
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動
6	子供たちを対象にした森林環境教育
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援

番号	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1	7.1	31	53.4	43	50.6	75	63.6	111	69.4	138	71.5
2	7	50.0	37	63.8	55	64.7	74	62.7	115	71.9	134	69.4
3	2	14.3	18	31.0	31	36.5	52	44.1	86	53.8	91	47.2
4	5	35.7	23	39.7	33	38.8	58	49.2	78	48.8	105	54.4
5	11	78.6	28	48.3	35	41.2	65	55.1	74	46.3	76	39.4
6	4	28.6	19	32.8	39	45.9	52	44.1	60	37.5	69	35.8
7	1	7.1	13	22.4	21	24.7	40	33.9	58	36.3	79	40.9
8	8	57.1	29	50.0	30	35.3	45	38.1	64	40.0	88	45.6

番号	70代		80代以上		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	133	70.7	52	57.8	2	100.0
2	136	72.3	52	57.8	2	100.0
3	99	52.7	48	53.3	2	100.0
4	111	59.0	47	52.2	2	100.0
5	67	35.6	36	40.0	2	100.0
6	81	43.1	34	37.8	1	50.0
7	76	40.4	27	30.0	1	50.0
8	88	46.8	42	46.7	2	100.0

④ 地域別の回答者数

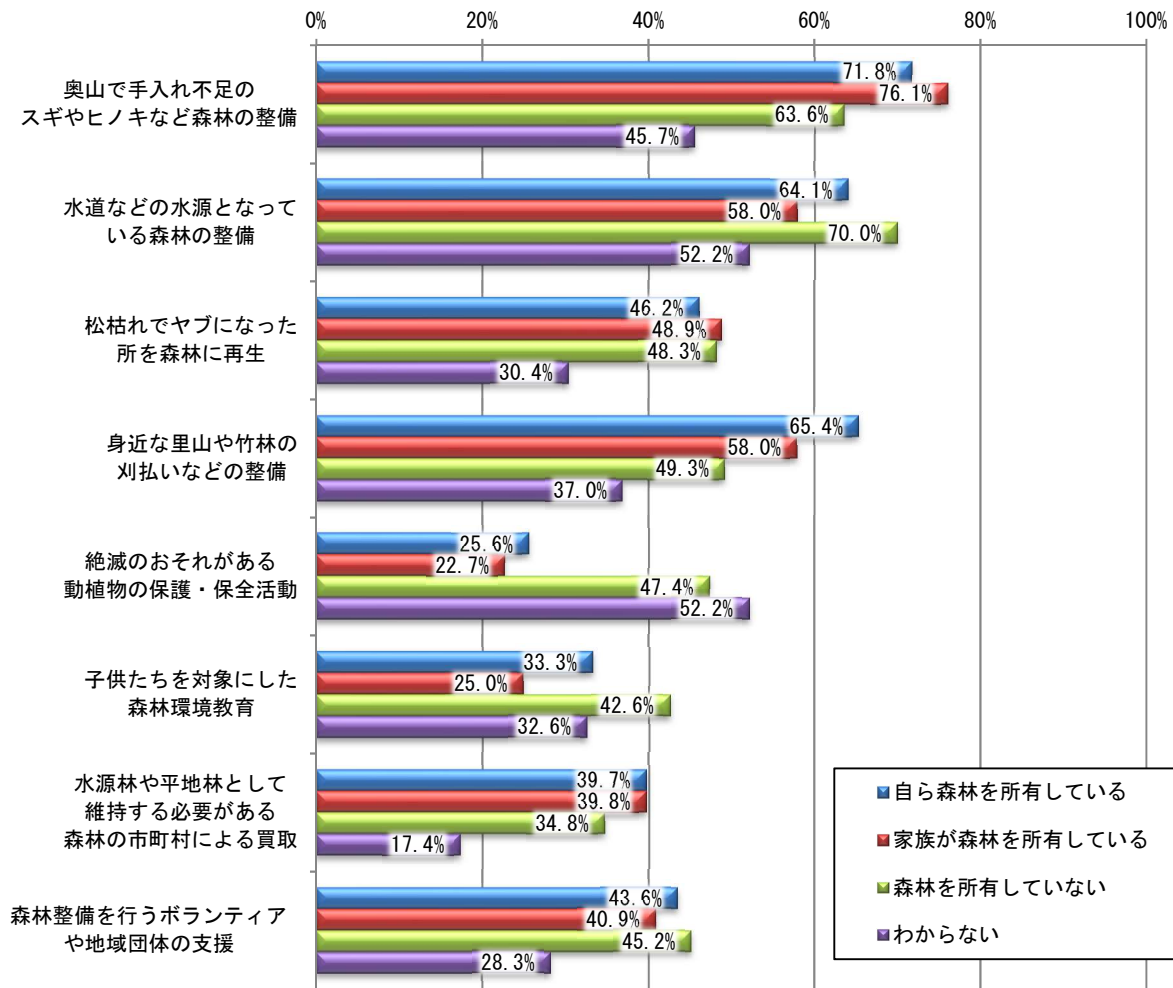


番号	項目
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
2	水道などの水源となっている森林の整備
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動
6	子供たちを対象にした森林環境教育
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援

番号	前橋地域		北群馬・渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	56	62.9	58	73.4	42	59.2	51	64.6	52	68.4	53	61.6
2	70	78.7	54	68.4	47	66.2	51	64.6	57	75.0	52	60.5
3	45	50.6	42	53.2	35	49.3	41	51.9	31	40.8	38	44.2
4	44	49.4	47	59.5	27	38.0	48	60.8	39	51.3	54	62.8
5	37	41.6	34	43.0	36	50.7	34	43.0	32	42.1	30	34.9
6	42	47.2	32	40.5	35	49.3	34	43.0	27	35.5	27	31.4
7	37	41.6	33	41.8	13	18.3	30	38.0	32	42.1	29	33.7
8	35	39.3	35	44.3	36	50.7	38	48.1	44	57.9	32	37.2

番号	吾妻地域		利根沼田地域		太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	67	64.4	58	63.0	50	66.7	39	58.2	58	66.7	2	66.7
2	63	60.6	58	63.0	54	72.0	43	64.2	61	70.1	2	66.7
3	45	43.3	40	43.5	41	54.7	29	43.3	40	46.0	2	66.7
4	59	56.7	43	46.7	32	42.7	31	46.3	37	42.5	1	33.3
5	36	34.6	34	37.0	38	50.7	37	55.2	45	51.7	1	33.3
6	36	34.6	30	32.6	37	49.3	21	31.3	36	41.4	2	66.7
7	38	36.5	33	35.9	25	33.3	21	31.3	24	27.6	1	33.3
8	42	40.4	34	37.0	34	45.3	28	41.8	36	41.4	2	66.7

### ⑤ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比	回答数	構成比	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	56	71.8	67	76.1	439	63.6	21	45.7	3	50.0
水道などの水源となっている森林の整備	50	64.1	51	58.0	483	70.0	24	52.2	4	66.7
松枯れでヤブになった所を森林に再生	36	46.2	43	48.9	333	48.3	14	30.4	3	50.0
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	51	65.4	51	58.0	340	49.3	17	37.0	3	50.0
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	20	25.6	20	22.7	327	47.4	24	52.2	3	50.0
子供たちを対象にした森林環境教育	26	33.3	22	25.0	294	42.6	15	32.6	2	33.3
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	31	39.7	35	39.8	240	34.8	8	17.4	2	33.3
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	34	43.6	36	40.9	312	45.2	13	28.3	1	16.7

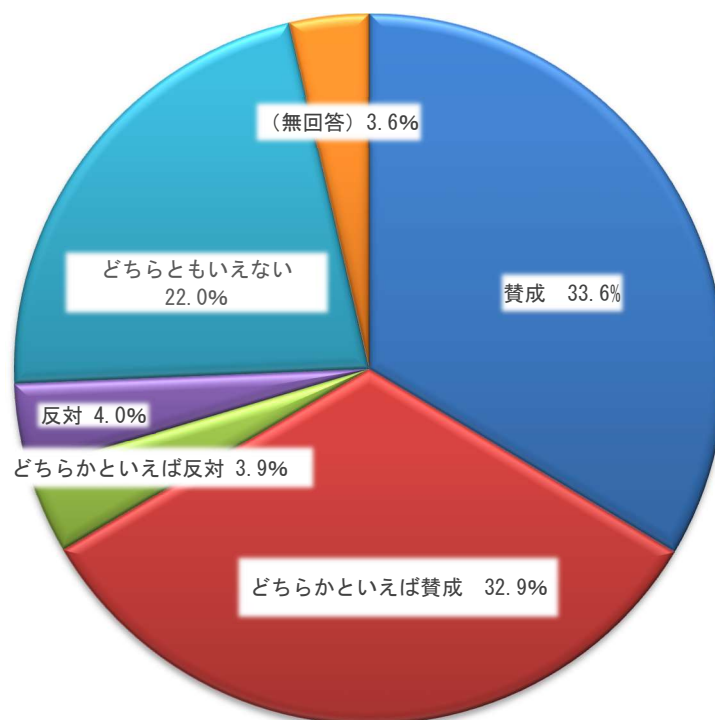
#### 4) 問4 「ぐんま緑の県民税」の継続について

「ぐんま緑の県民税」の第Ⅱ期は、令和元年度から令和5年度までの5年が実施期間です。事業の実績等は、有識者等で構成する「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」において評価をいただいているところですが、令和6年度以降も「ぐんま緑の県民税」を継続することについて、あなたはどのようにお考えですか。該当する選択肢1つに「☑」印を付けてください。

回答者の約7割が賛成意見となった一方、反対意見は1割に満たなかった。また、年齢別、地域別による集計において、特に大きな差はみられなかった。

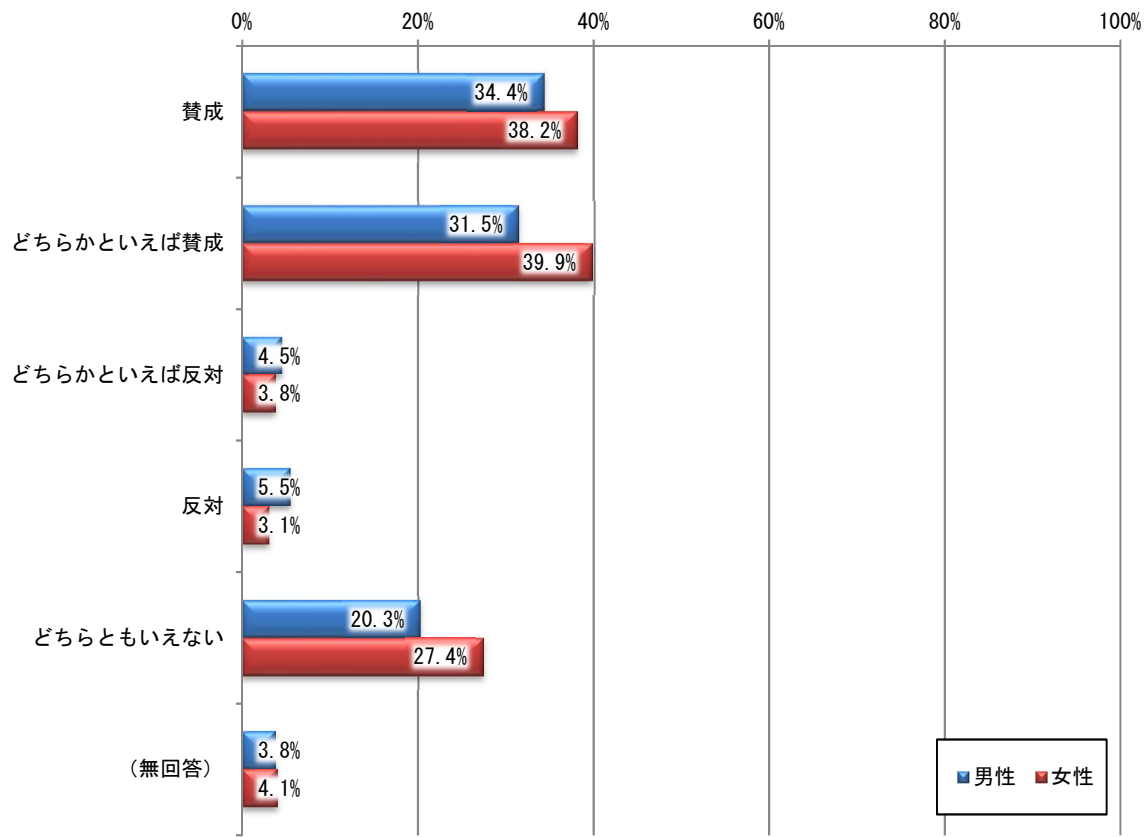
森林所有の有無による差はみられなかったが、森林所有の有無がわからない回答者はどちらともいえないと回答した割合が高い結果となった。

##### ① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比
賛成	305	33.6
どちらかといえば賛成	299	32.9
どちらかといえば反対	35	3.9
反対	36	4.0
どちらともいえない	200	22.0
(無回答)	33	3.6
計	n=908	100.0

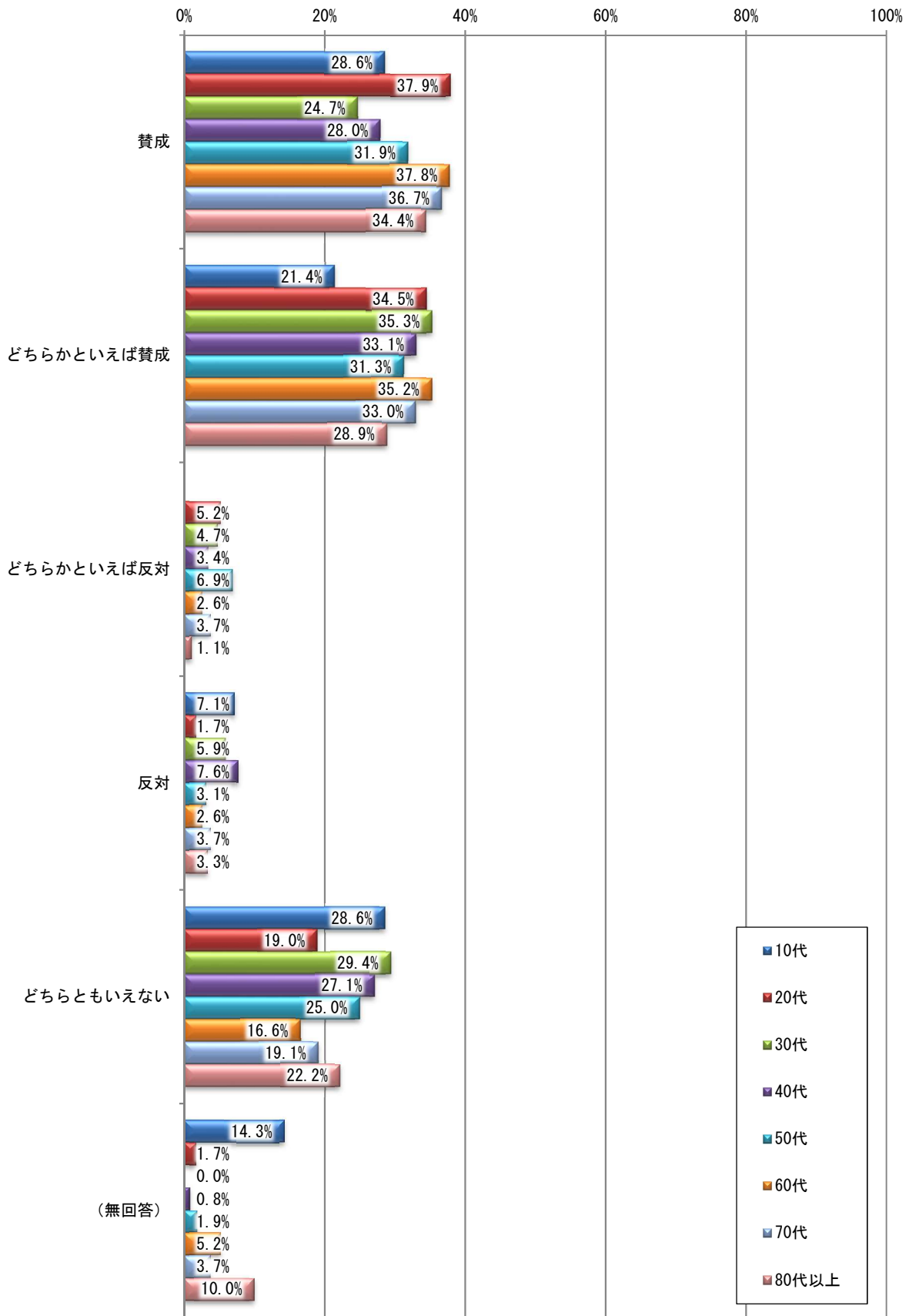
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	144	34.4	160	38.2	1	100.0
どちらかといえば賛成	132	31.5	167	39.9	0	0.0
どちらかといえば反対	19	4.5	16	3.8	0	0.0
反対	23	5.5	13	3.1	0	0.0
どちらともいえない	85	20.3	115	27.4	0	0.0
(無回答)	16	3.8	17	4.1	0	0.0



③ 年代別の回答者数: 項目別

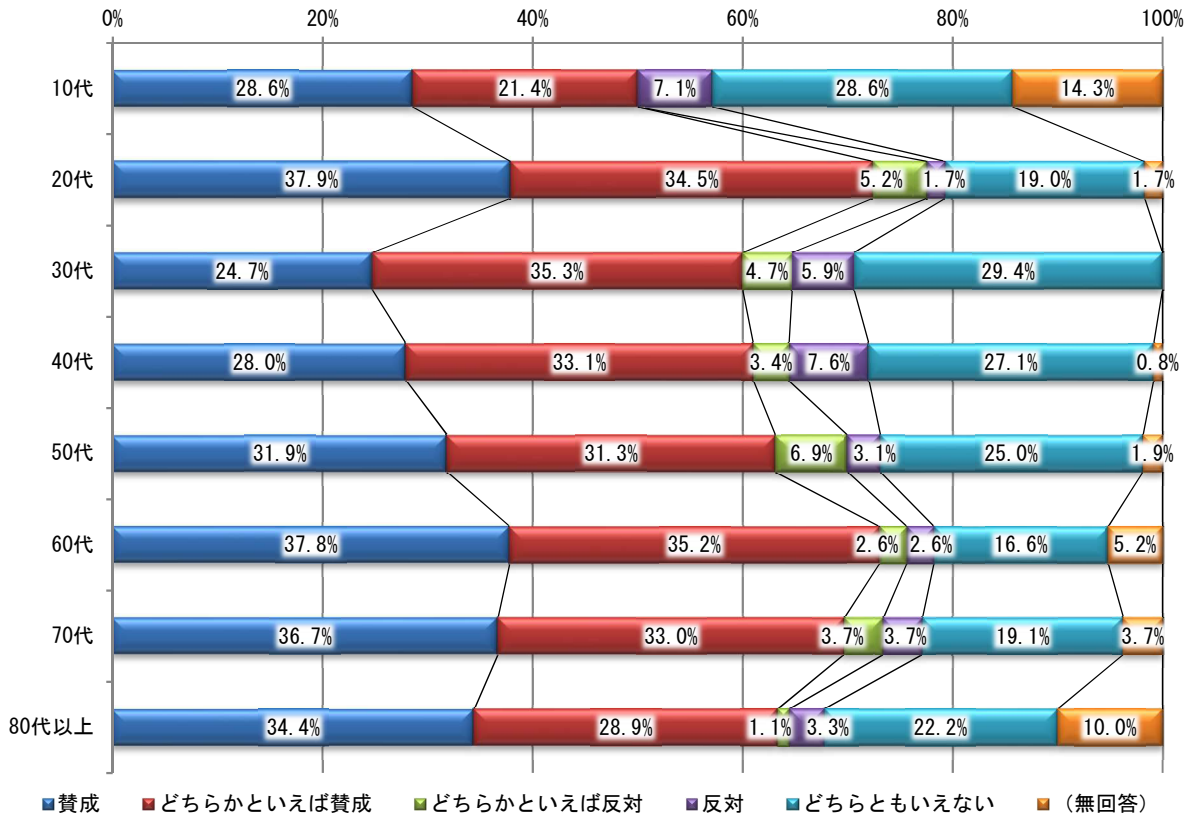


番号	項目
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対
5	どちらともいえない
6	(無回答)

番号	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	4	28.6	22	37.9	21	24.7	33	28.0	51	31.9	73	37.8
2	3	21.4	20	34.5	30	35.3	39	33.1	50	31.3	68	35.2
3	0	0.0	3	5.2	4	4.7	4	3.4	11	6.9	5	2.6
4	1	7.1	1	1.7	5	5.9	9	7.6	5	3.1	5	2.6
5	4	28.6	11	19.0	25	29.4	32	27.1	40	25.0	32	16.6
6	2	14.3	1	1.7	0	0.0	1	0.8	3	1.9	10	5.2

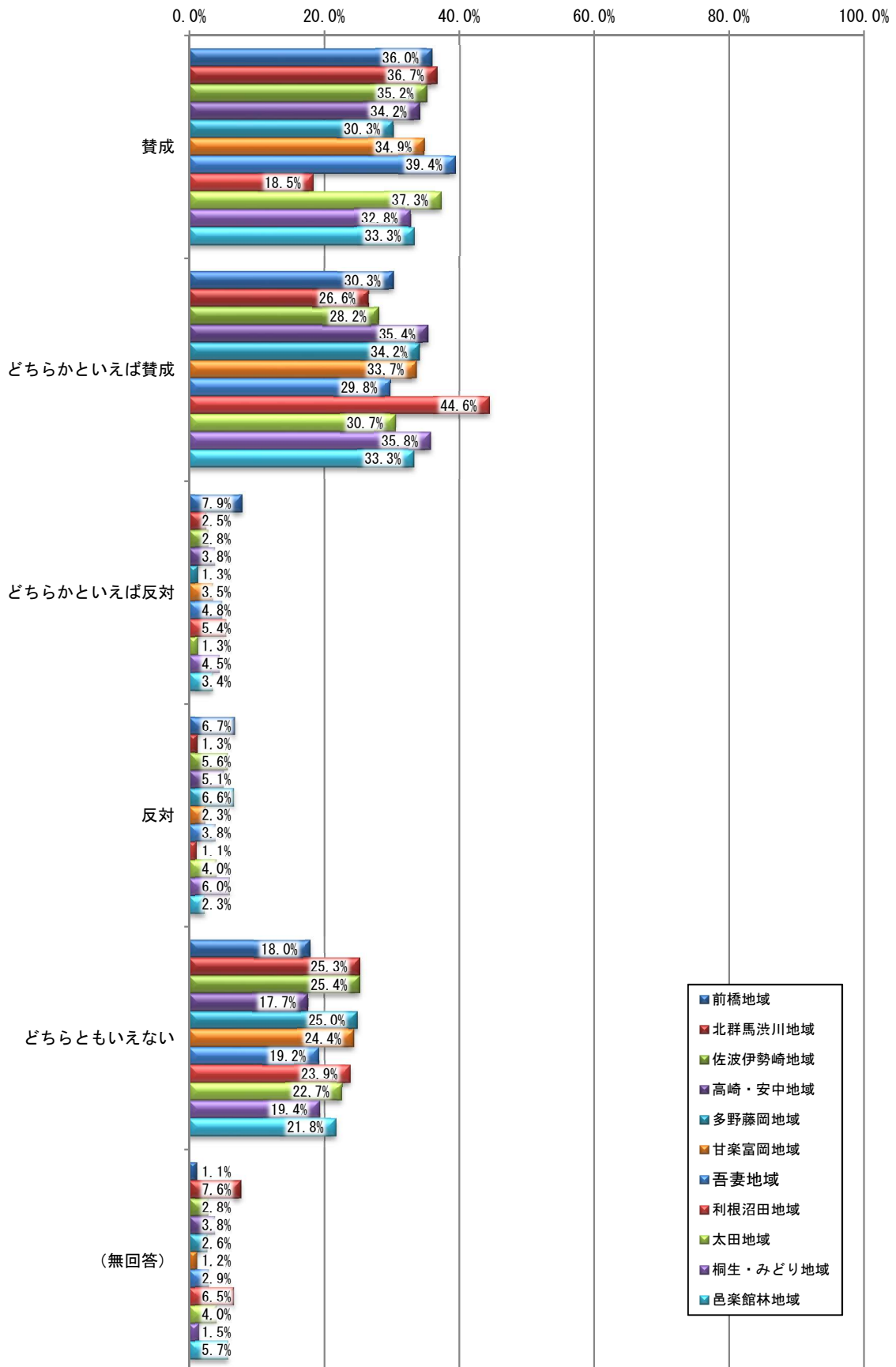
番号	60代		70代		80代以上		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	73	37.8	69	36.7	31	34.4	1	50.0
2	68	35.2	62	33.0	26	28.9	1	50.0
3	5	2.6	7	3.7	1	1.1	0	0.0
4	5	2.6	7	3.7	3	3.3	0	0.0
5	32	16.6	36	19.1	20	22.2	0	0.0
6	10	5.2	7	3.7	9	10.0	0	0.0

④ 年代別の賛成・反対割合



番号	項目	賛成		どちらかといえば賛成		どちらかといえば反対		反対		どちらともいえない		(無回答)	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10代	4	28.6	3	21.4	0	0.0	1	7.1	4	28.6	2	14.3
2	20代	22	37.9	20	34.5	3	5.2	1	1.7	11	19.0	1	1.7
3	30代	21	24.7	30	35.3	4	4.7	5	5.9	25	29.4	0	0.0
4	40代	33	28.0	39	33.1	4	3.4	9	7.6	32	27.1	1	0.8
5	50代	51	31.9	50	31.3	11	6.9	5	3.1	40	25.0	3	1.9
6	60代	73	37.8	68	35.2	5	2.6	5	2.6	32	16.6	10	5.2
7	70代	69	36.7	62	33.0	7	3.7	7	3.7	36	19.1	7	3.7
8	80代	31	34.4	26	28.9	1	1.1	3	3.3	20	22.2	9	10.0
9	(年齢無回答)	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

⑤ 地域別の回答者数

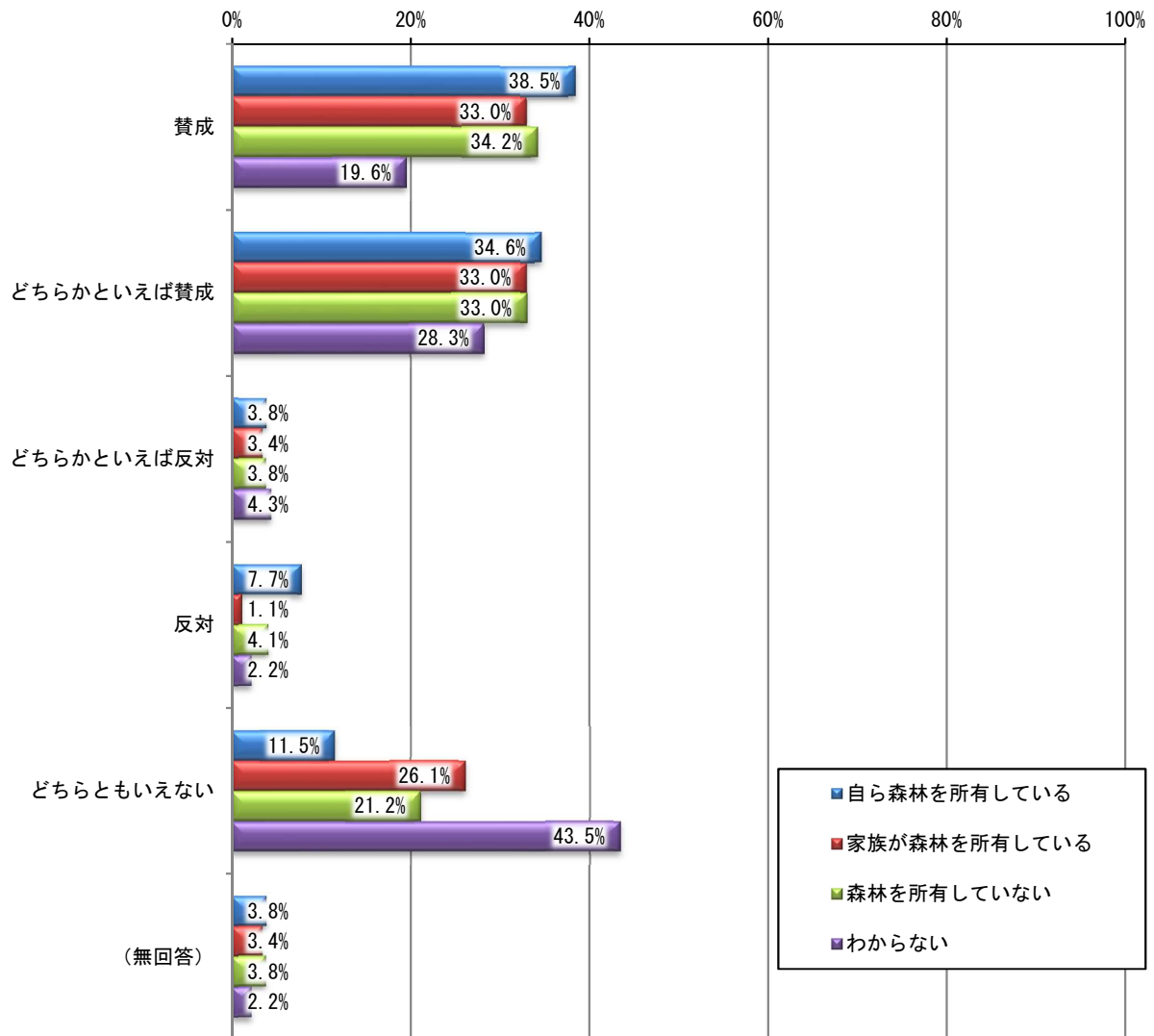


番号	項目
1	賛成
2	どちらかという賛成
3	どちらかという反対
4	反対
5	どちらともいえない
6	(無回答)

番号	前橋地域		北群馬渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	32	36.0	29	36.7	25	35.2	27	34.2	23	30.3	30	34.9
2	27	30.3	21	26.6	20	28.2	28	35.4	26	34.2	29	33.7
3	7	7.9	2	2.5	2	2.8	3	3.8	1	1.3	3	3.5
4	6	6.7	1	1.3	4	5.6	4	5.1	5	6.6	2	2.3
5	16	18.0	20	25.3	18	25.4	14	17.7	19	25.0	21	24.4
6	1	1.1	6	7.6	2	2.8	3	3.8	2	2.6	1	1.2

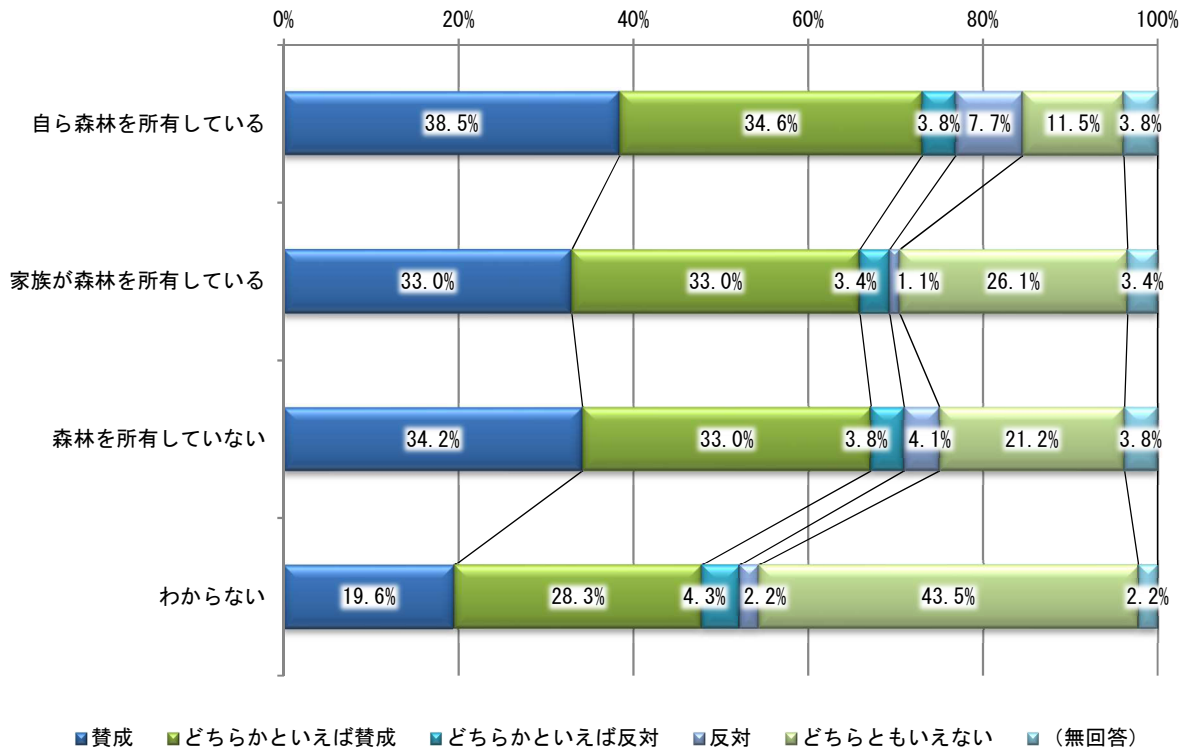
番号	吾妻地域		利根沼田地域		太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	41	39.4	17	18.5	28	37.3	22	32.8	29	33.3	2	66.7
2	31	29.8	41	44.6	23	30.7	24	35.8	29	33.3	0	0.0
3	5	4.8	5	5.4	1	1.3	3	4.5	3	3.4	0	0.0
4	4	3.8	1	1.1	3	4.0	4	6.0	2	2.3	0	0.0
5	20	19.2	22	23.9	17	22.7	13	19.4	19	21.8	1	33.3
6	3	2.9	6	6.5	3	4.0	1	1.5	5	5.7	0	0.0

## ⑥ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	30	38.5	29	33.0	236	34.2	9	19.6	1	16.7
どちらかといえば賛成	27	34.6	29	33.0	228	33.0	13	28.3	2	33.3
どちらかといえば反対	3	3.8	3	3.4	26	3.8	2	4.3	1	16.7
反対	6	7.7	1	1.1	28	4.1	1	2.2	0	0.0
どちらともいえない	9	11.5	23	26.1	146	21.2	20	43.5	2	33.3
(無回答)	3	3.8	3	3.4	26	3.8	1	2.2	0	0.0

⑦ 森林所有状況別回答構成比



項目	賛成		どちらかとい えば賛成		どちらかとい えば反対		反対		どちらとも いえない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自ら森林を所有している	4	28.6	3	21.4	0	0.0	1	7.1	4	28.6	2	14.3
家族が森林を所有している	22	37.9	20	34.5	3	5.2	1	1.7	11	19.0	1	1.7
森林を所有していない	21	24.7	30	35.3	4	4.7	5	5.9	25	29.4	0	0.0
わからない	33	28.0	39	33.1	4	3.4	9	7.6	32	27.1	1	0.8
(無回答)	51	31.9	50	31.3	11	6.9	5	3.1	40	25.0	3	1.9

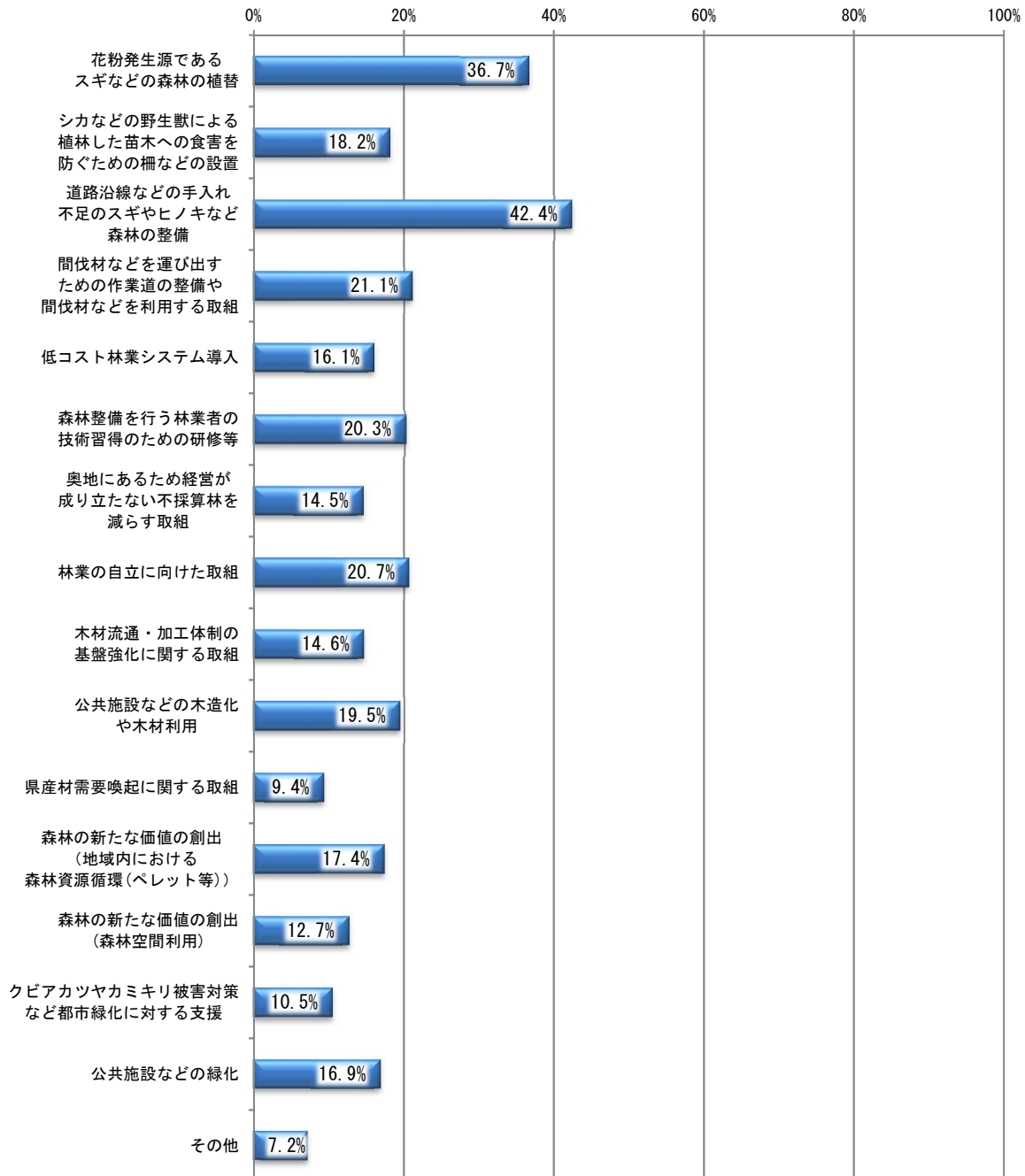
### 5) 問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について

あなたは、群馬県の大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、今後どのような取組に「ぐんま緑の県民税」を活用すべきだと思いますか。該当する選択肢3つまで「」印を付けてください。

道路沿線などの手入れ不足の森林の整備、花粉発生源であるスギの植替えに対する期待が高い結果となった。また、上記以外の項目については回答が分散する結果となった。

地域別でみると邑楽・館林地域でクビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援に活用すべきと回答した割合が高い結果となった。所有者別でみると森林を所有している人は、森林を所有していない人と比較し木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組に活用すべきと回答した割合が高い結果となった。

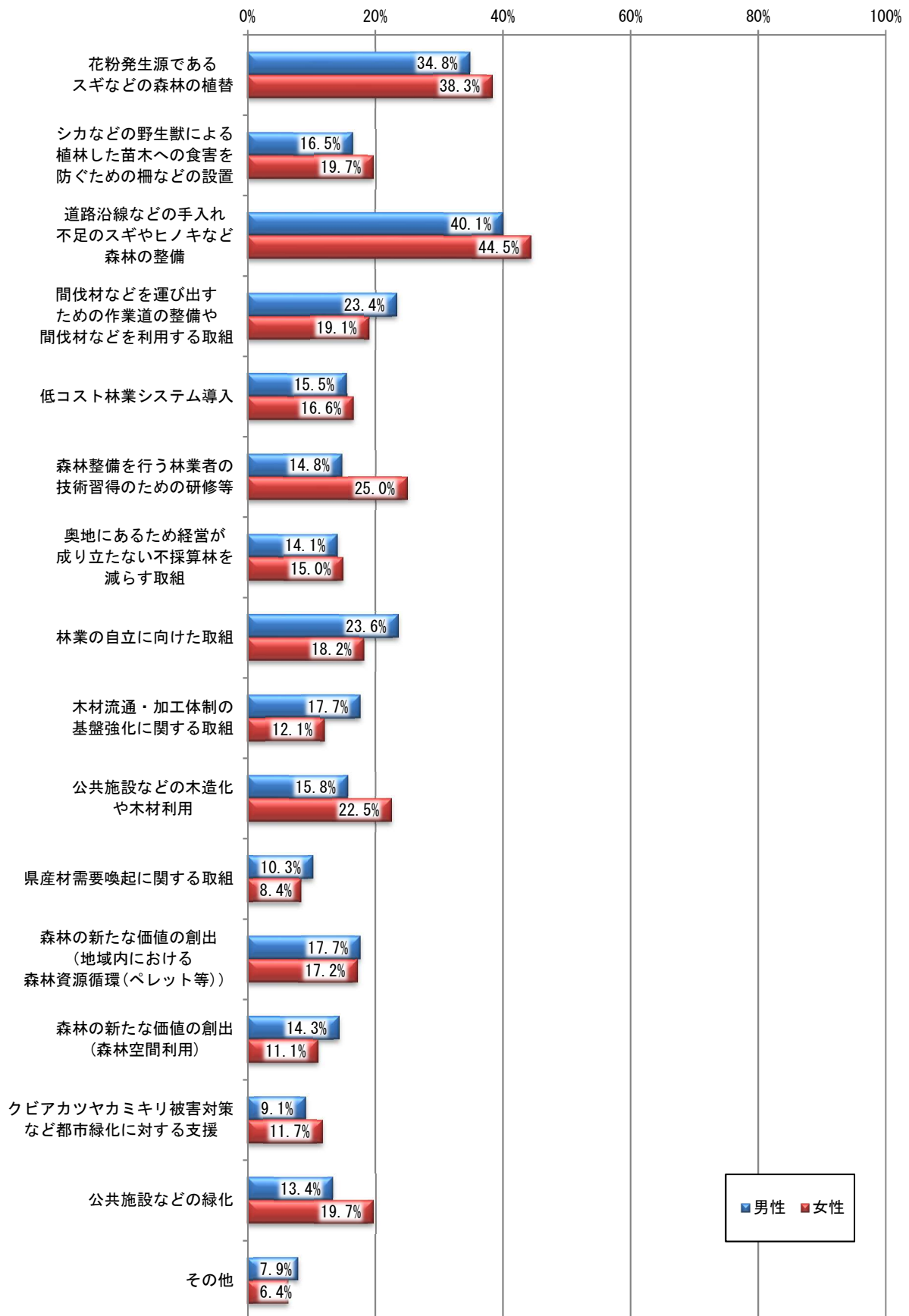
#### ① 項目ごとの回答者数





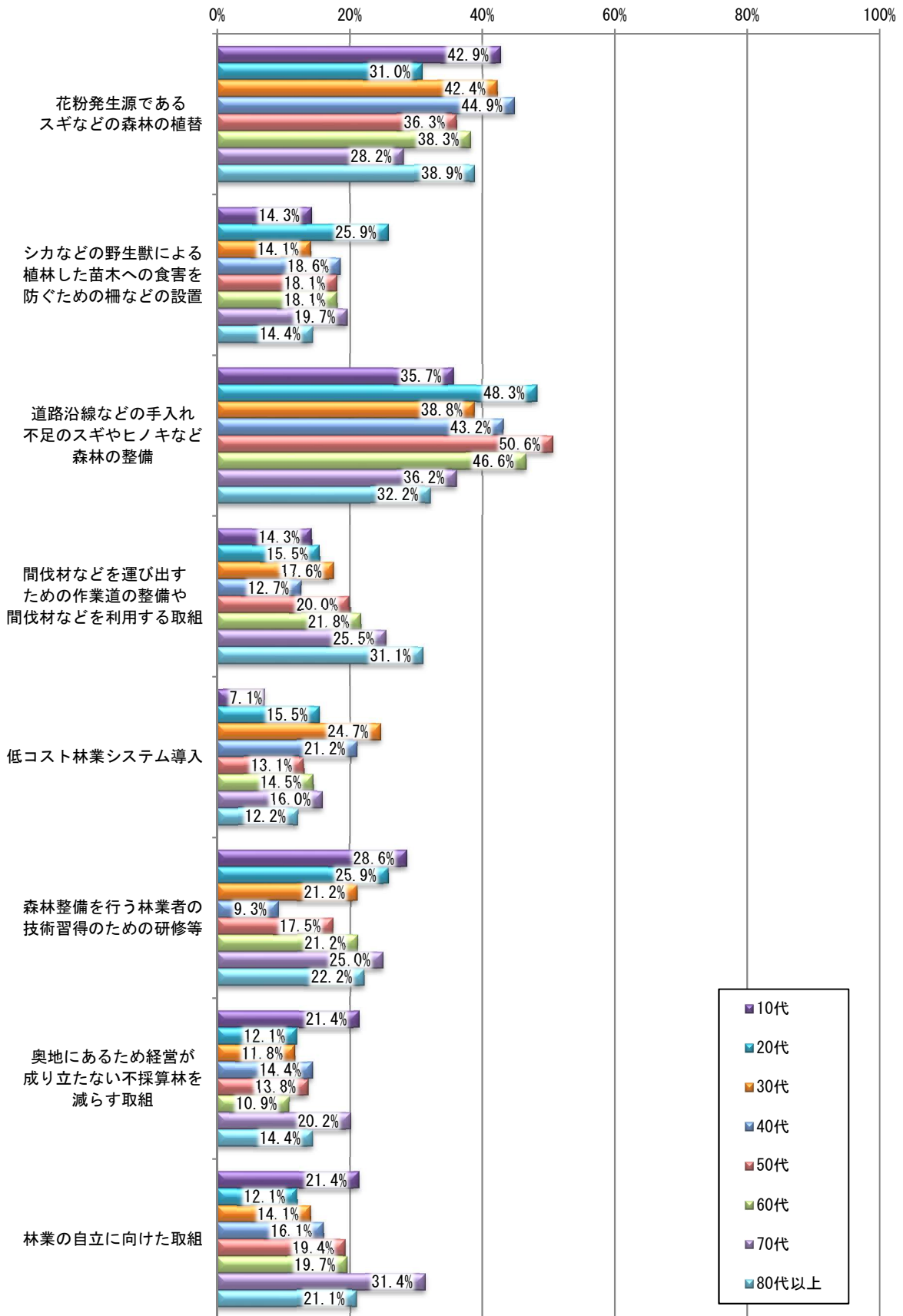
項目	人数	構成比
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	333	36.7
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	165	18.2
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	385	42.4
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	192	21.1
低コスト林業システム導入	146	16.1
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	184	20.3
奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組	132	14.5
林業の自立に向けた取組	188	20.7
木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組	133	14.6
公共施設などの木造化や木材利用	177	19.5
県産材需要喚起に関する取組	85	9.4
森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））	158	17.4
森林の新たな価値の創出（森林空間利用）	115	12.7
クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援	95	10.5
公共施設などの緑化	153	16.9
その他	65	7.2

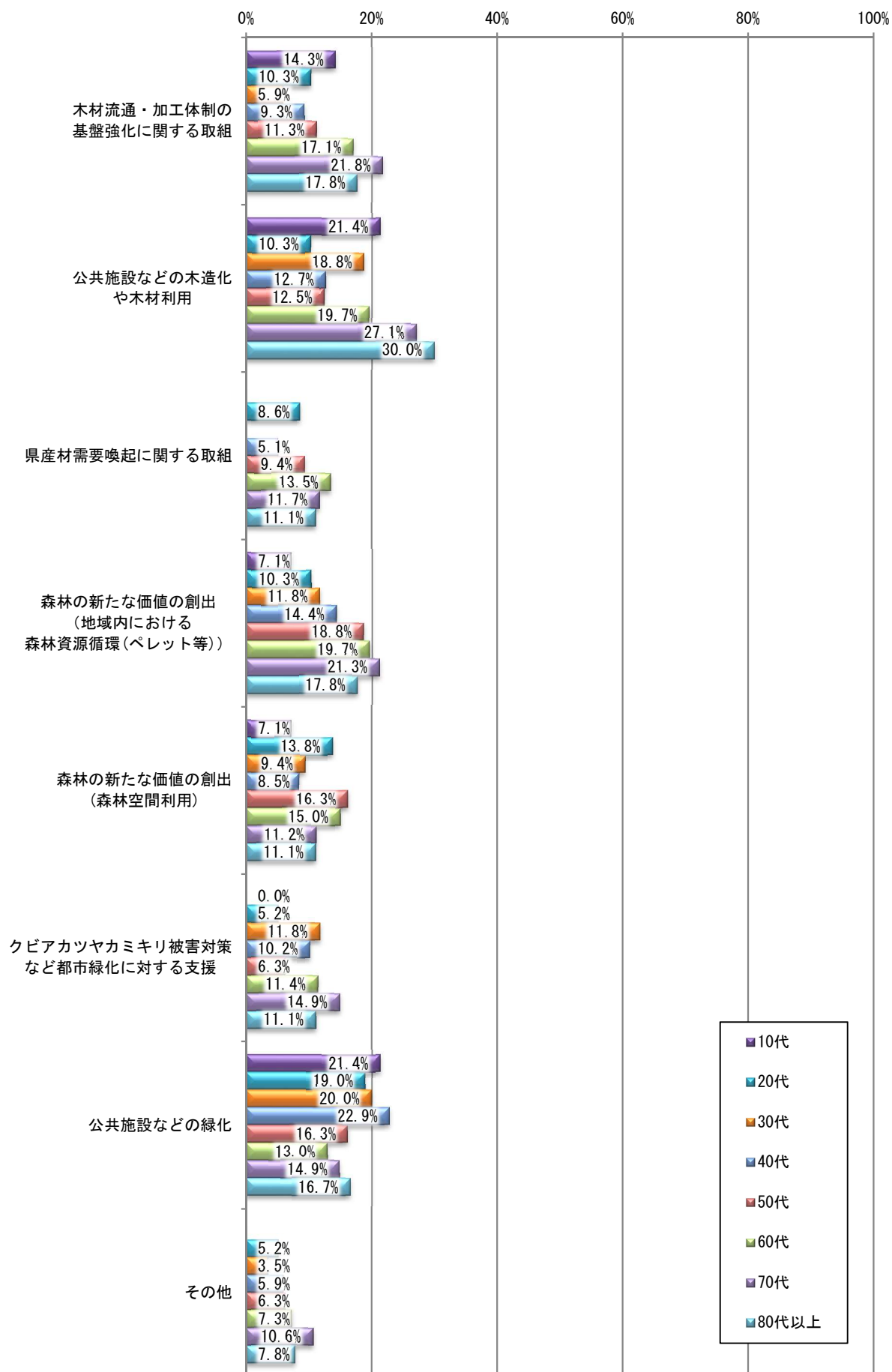
## ② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	146	34.8	187	38.3	0	0.0
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	69	16.5	96	19.7	0	0.0
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	168	40.1	217	44.5	0	0.0
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	98	23.4	93	19.1	1	100.0
低コスト林業システム導入	65	15.5	81	16.6	0	0.0
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	62	14.8	122	25.0	0	0.0
奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組	59	14.1	73	15.0	0	0.0
林業の自立に向けた取組	99	23.6	89	18.2	0	0.0
木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組	74	17.7	59	12.1	0	0.0
公共施設などの木造化や木材利用	66	15.8	110	22.5	1	100.0
県産材需要喚起に関する取組	43	10.3	41	8.4	1	100.0
森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環(ベレット等)）	74	17.7	84	17.2	0	0.0
森林の新たな価値の創出(森林空間利用)	60	14.3	54	11.1	1	100.0
クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援	38	9.1	57	11.7	0	0.0
公共施設などの緑化	56	13.4	96	19.7	1	100.0
その他	33	7.1	31	6.4	1	100.0

③ 年代別の回答者数: 項目別

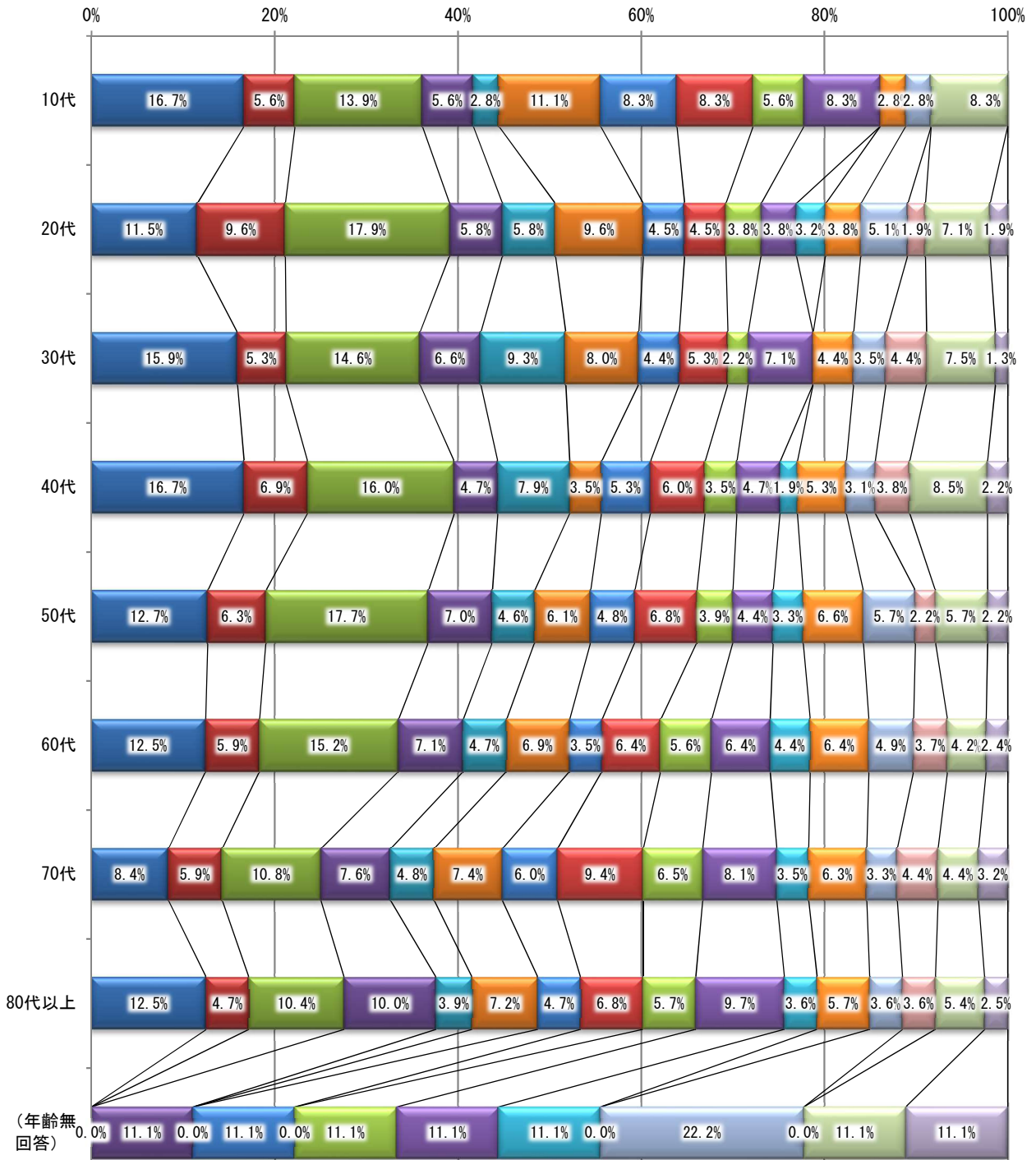




番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	6	42.9	18	31.0	36	42.4
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	2	14.3	15	25.9	12	14.1
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	5	35.7	28	48.3	33	38.8
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	2	14.3	9	15.5	15	17.6
5	低コスト林業システム導入	1	7.1	9	15.5	21	24.7
6	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	4	28.6	15	25.9	18	21.2
7	奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組	3	21.4	7	12.1	10	11.8
8	林業の自立に向けた取組	3	21.4	7	12.1	12	14.1
9	木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組	2	14.3	6	10.3	5	5.9
10	公共施設などの木造化や木材利用	3	21.4	6	10.3	16	18.8
11	県産材需要喚起に関する取組	0	0.0	5	8.6	0	0.0
12	森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））	1	7.1	6	10.3	10	11.8
13	森林の新たな価値の創出（森林空間利用）	1	7.1	8	13.8	8	9.4
14	クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援	0	0.0	3	5.2	10	11.8
15	公共施設などの緑化	3	21.4	11	19.0	17	20.0
16	その他	0	0.0	3	5.2	3	3.5

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	53	44.9	58	36.3	74	38.3	53	28.2	35	38.9	0	0.0
2	22	18.6	29	18.1	35	18.1	37	19.7	13	14.4	0	0.0
3	51	43.2	81	50.6	90	46.6	68	36.2	29	32.2	0	0.0
4	15	12.7	32	20.0	42	21.8	48	25.5	28	31.1	1	50.0
5	25	21.2	21	13.1	28	14.5	30	16.0	11	12.2	0	0.0
6	11	9.3	28	17.5	41	21.2	47	25.0	20	22.2	0	0.0
7	17	14.4	22	13.8	21	10.9	38	20.2	13	14.4	1	50.0
8	19	16.1	31	19.4	38	19.7	59	31.4	19	21.1	0	0.0
9	11	9.3	18	11.3	33	17.1	41	21.8	16	17.8	1	50.0
10	15	12.7	20	12.5	38	19.7	51	27.1	27	30.0	1	50.0
11	6	5.1	15	9.4	26	13.5	22	11.7	10	11.1	1	50.0
12	17	14.4	30	18.8	38	19.7	40	21.3	16	17.8	0	0.0
13	10	8.5	26	16.3	29	15.0	21	11.2	10	11.1	2	100.0
14	12	10.2	10	6.3	22	11.4	28	14.9	10	11.1	0	0.0
15	27	22.9	26	16.3	25	13.0	28	14.9	15	16.7	1	50.0
16	7	5.9	10	6.3	14	7.3	20	10.6	7	7.8	1	50.0

④ 年代別の回答者数:年代別



- 花粉発生源であるスギなどの森林の植替
- シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
- 道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
- 低コスト林業システム導入
- 森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
- 奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組
- 林業の自立に向けた取組
- 木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組
- 公共施設などの木造化や木材利用
- 県産材需要喚起に関する取組
- 森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環(ペレット等)）
- 森林の新たな価値の創出（森林空間利用）
- クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援
- 公共施設などの緑化
- その他

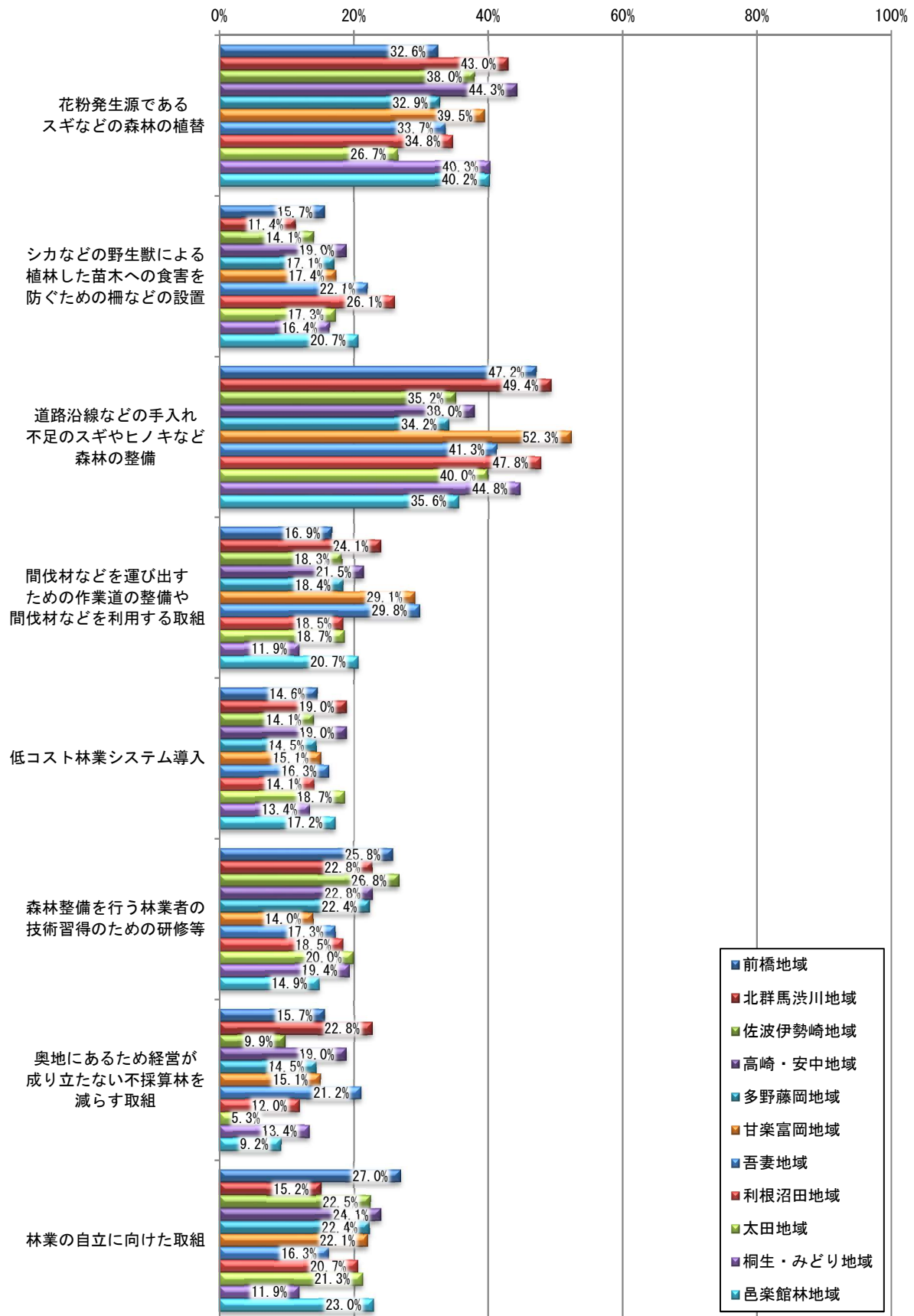
番号	項目	花粉発生源であるスギなどの森林の植替		シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置		道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備		間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組		低コスト林業システム導入	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10代	6	16.7	2	5.6	5	13.9	2	5.6	1	2.8
2	20代	18	11.5	15	9.6	28	17.9	9	5.8	9	5.8
3	30代	36	15.9	12	5.3	33	14.6	15	6.6	21	9.3
4	40代	53	16.7	22	6.9	51	16.0	15	4.7	25	7.9
5	50代	58	12.7	29	6.3	81	17.7	32	7.0	21	4.6
6	60代	74	12.5	35	5.9	90	15.2	42	7.1	28	4.7
7	70代	53	8.4	37	5.9	68	10.8	48	7.6	30	4.8
8	80代以上	35	12.5	13	4.7	29	10.4	28	10.0	11	3.9
9	(年齢無回答)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0

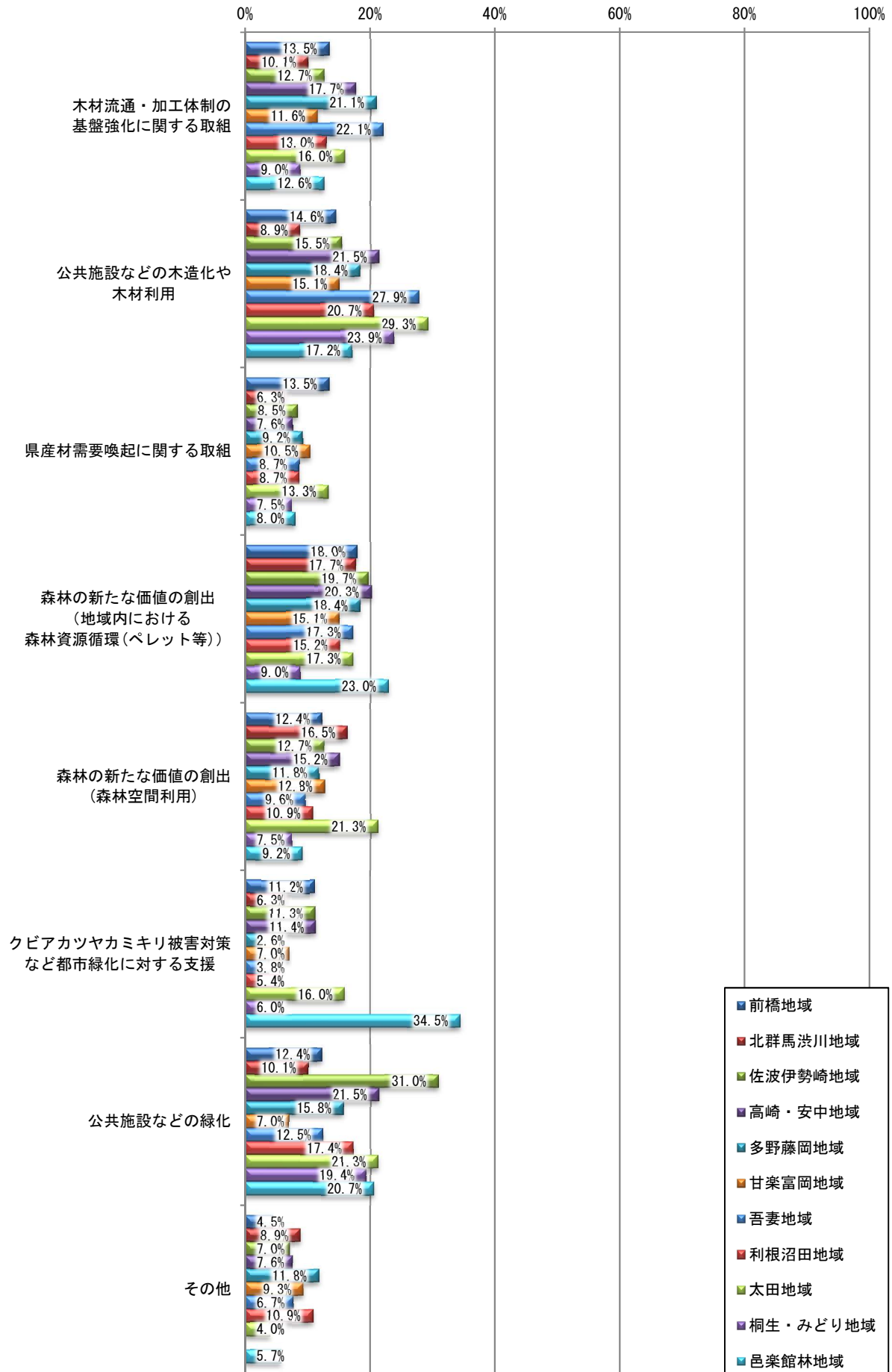
番号	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等		奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組		林業の自立に向けた取組		木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組		公共施設などの木造化や木材利用		県産材需要喚起に関する取組	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	4	11.1	3	8.3	3	8.3	2	5.6	3	8.3	0	0.0
2	15	9.6	7	4.5	7	4.5	6	3.8	6	3.8	5	3.2
3	18	8.0	10	4.4	12	5.3	5	2.2	16	7.1	0	0.0
4	11	3.5	17	5.3	19	6.0	11	3.5	15	4.7	6	1.9
5	28	6.1	22	4.8	31	6.8	18	3.9	20	4.4	15	3.3
6	41	6.9	21	3.5	38	6.4	33	5.6	38	6.4	26	4.4
7	47	7.4	38	6.0	59	9.4	41	6.5	51	8.1	22	3.5
8	20	7.2	13	4.7	19	6.8	16	5.7	27	9.7	10	3.6
9	0	0.0	1	11.1	0	0.0	1	11.1	1	11.1	1	11.1

番号	森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））		森林の新たな価値の創出（森林空間利用）		クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援		公共施設などの緑化		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1	2.8	1	2.8	0	0.0	3	8.3	0	0.0
2	6	3.8	8	5.1	3	1.9	11	7.1	3	1.9
3	10	4.4	8	3.5	10	4.4	17	7.5	3	1.3
4	17	5.3	10	3.1	12	3.8	27	8.5	7	2.2
5	30	6.6	26	5.7	10	2.2	26	5.7	10	2.2
6	38	6.4	29	4.9	22	3.7	25	4.2	14	2.4
7	40	6.3	21	3.3	28	4.4	28	4.4	20	3.2
8	16	5.7	10	3.6	10	3.6	15	5.4	7	2.5
9	0	0.0	2	22.2	0	0.0	1	11.1	1	11.1



### ⑤地域別の回答者数

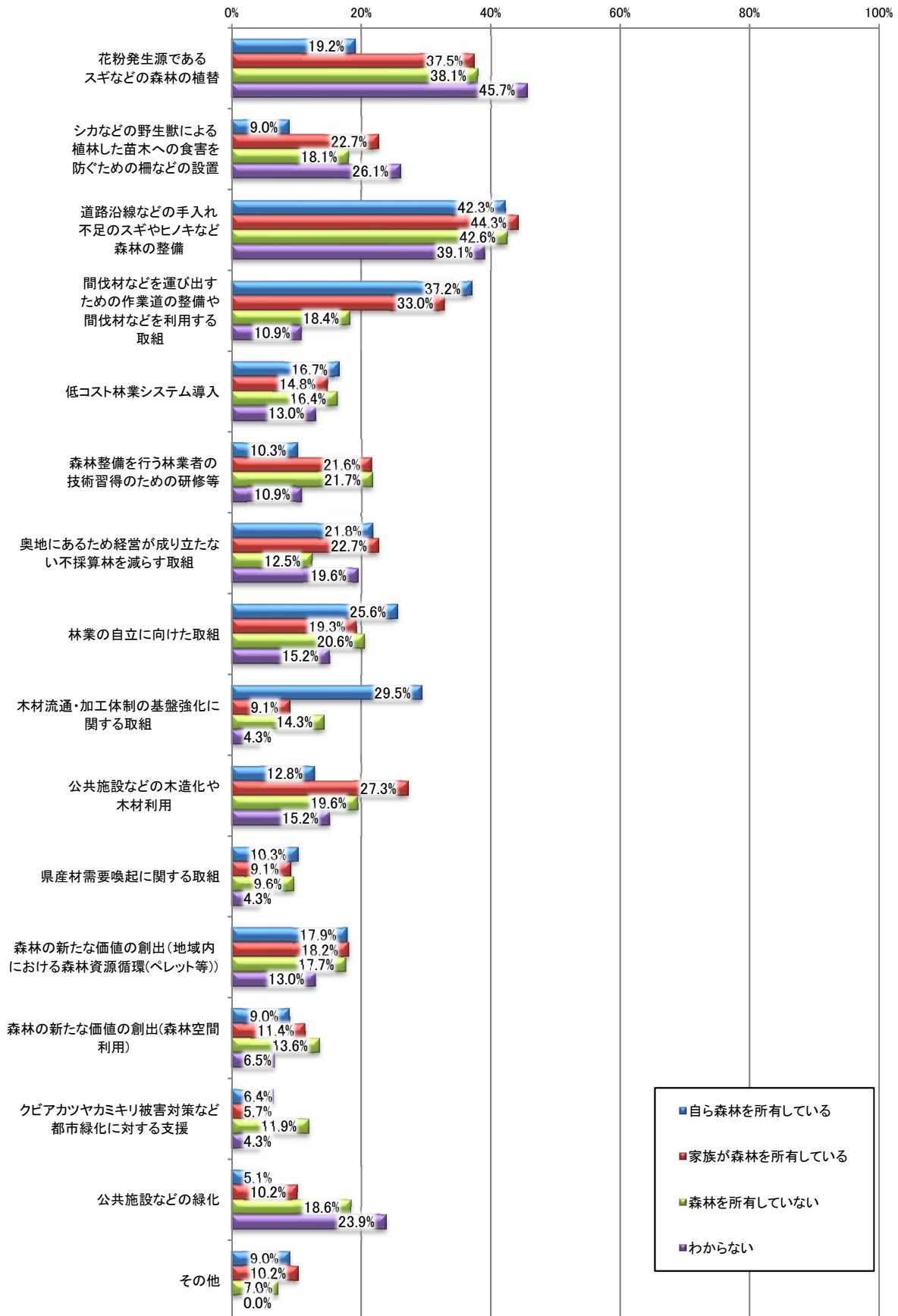




	項目	前橋地域		北群馬渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	29	32.6	34	43.0	27	38.0	35	44.3
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	14	15.7	9	11.4	10	14.1	15	19.0
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	42	47.2	39	49.4	25	35.2	30	38.0
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	15	16.9	19	24.1	13	18.3	17	21.5
5	低コスト林業システム導入	13	14.6	15	19.0	10	14.1	15	19.0
6	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	23	25.8	18	22.8	19	26.8	18	22.8
7	奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組	14	15.7	18	22.8	7	9.9	15	19.0
8	林業の自立に向けた取組	24	27.0	12	15.2	16	22.5	19	24.1
9	木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組	12	13.5	8	10.1	9	12.7	14	17.7
10	公共施設などの木造化や木材利用	13	14.6	7	8.9	11	15.5	17	21.5
11	県産材需要喚起に関する取組	12	13.5	5	6.3	6	8.5	6	7.6
12	森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））	16	18.0	14	17.7	14	19.7	16	20.3
13	森林の新たな価値の創出（森林空間利用）	11	12.4	13	16.5	9	12.7	12	15.2
14	クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援	10	11.2	5	6.3	8	11.3	9	11.4
15	公共施設などの緑化	11	12.4	8	10.1	22	31.0	17	21.5
16	その他	4	4.5	7	8.9	5	7.0	6	7.6

	多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域		太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	25	32.9	34	39.5	35	33.7	32	34.8	20	26.7	27	40.3	35	40.2	0	0.0
2	13	17.1	15	17.4	23	22.1	24	26.1	13	17.3	11	16.4	18	20.7	0	0.0
3	26	34.2	45	52.3	43	41.3	44	47.8	30	40.0	30	44.8	31	35.6	0	0.0
4	14	18.4	25	29.1	31	29.8	17	18.5	14	18.7	8	11.9	18	20.7	1	33.3
5	11	14.5	13	15.1	17	16.3	13	14.1	14	18.7	9	13.4	15	17.2	1	33.3
6	17	22.4	12	14.0	18	17.3	17	18.5	15	20.0	13	19.4	13	14.9	1	33.3
7	11	14.5	13	15.1	22	21.2	11	12.0	4	5.3	9	13.4	8	9.2	0	0.0
8	17	22.4	19	22.1	17	16.3	19	20.7	16	21.3	8	11.9	20	23.0	1	33.3
9	16	21.1	10	11.6	23	22.1	12	13.0	12	16.0	6	9.0	11	12.6	0	0.0
10	14	18.4	13	15.1	29	27.9	19	20.7	22	29.3	16	23.9	15	17.2	1	33.3
11	7	9.2	9	10.5	9	8.7	8	8.7	10	13.3	5	7.5	7	8.0	1	33.3
12	14	18.4	13	15.1	18	17.3	14	15.2	13	17.3	6	9.0	20	23.0	0	0.0
13	9	11.8	11	12.8	10	9.6	10	10.9	16	21.3	5	7.5	8	9.2	1	33.3
14	2	2.6	6	7.0	4	3.8	5	5.4	12	16.0	4	6.0	30	34.5	0	0.0
15	12	15.8	6	7.0	13	12.5	16	17.4	16	21.3	13	19.4	18	20.7	1	33.3
16	9	11.8	8	9.3	7	6.7	10	10.9	3	4.0	0	0.0	5	5.7	1	33.3

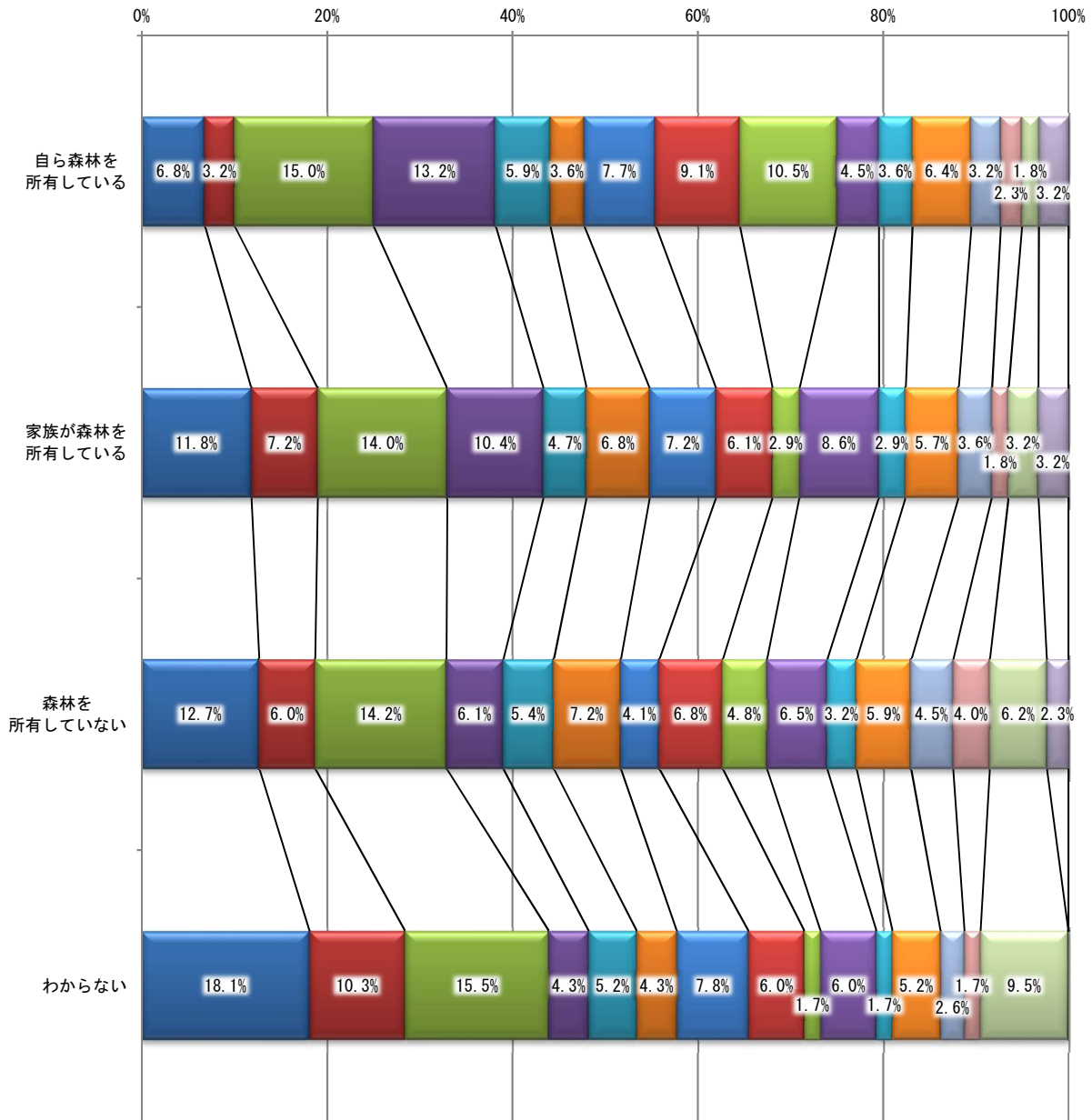
## ⑥ 森林所有状況別回答者数



	項目
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
5	低コスト林業システム導入
6	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
7	奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組
8	林業の自立に向けた取組
9	木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組
10	公共施設などの木造化や木材利用
11	県産材需要喚起に関する取組
12	森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））
13	森林の新たな価値の創出（森林空間利用）
14	クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援
15	公共施設などの緑化
16	その他

	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		（無回答）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	15	19.2	33	37.5	263	38.1	21	45.7	1	16.7
2	7	9.0	20	22.7	125	18.1	12	26.1	1	16.7
3	33	42.3	39	44.3	294	42.6	18	39.1	1	16.7
4	29	37.2	29	33.0	127	18.4	5	10.9	2	33.3
5	13	16.7	13	14.8	113	16.4	6	13.0	1	16.7
6	8	10.3	19	21.6	150	21.7	5	10.9	2	33.3
7	17	21.8	20	22.7	86	12.5	9	19.6	0	0.0
8	20	25.6	17	19.3	142	20.6	7	15.2	2	33.3
9	23	29.5	8	9.1	99	14.3	2	4.3	1	16.7
10	10	12.8	24	27.3	135	19.6	7	15.2	1	16.7
11	8	10.3	8	9.1	66	9.6	2	4.3	1	16.7
12	14	17.9	16	18.2	122	17.7	6	13.0	0	0.0
13	7	9.0	10	11.4	94	13.6	3	6.5	1	16.7
14	5	6.4	5	5.7	82	11.9	2	4.3	1	16.7
15	4	5.1	9	10.2	128	18.6	11	23.9	1	16.7
16	7	9.0	9	10.2	48	7.0	0	0.0	1	16.7

⑦ 森林所有状況別回答者構成比



- 花粉発生源であるスギなどの森林の植替
- シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
- 道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
- 低コスト林業システム導入
- 森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
- 奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組
- 林業の自立に向けた取組
- 木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組
- 公共施設などの木造化や木材利用
- 県産材需要喚起に関する取組
- 森林の新たな価値の創出（地域内における森林資源循環（ペレット等））
- 森林の新たな価値の創出（森林空間利用）
- クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援
- 公共施設などの緑化
- その他

番号	項目	花粉発生源であるスギなどの森林の植替		シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置		道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備		間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	自ら森林を所有している	15	6.8	7	3.2	33	15.0	29	13.2
2	家族が森林所有している	33	11.8	20	7.2	39	14.0	29	10.4
3	森林を所有していない	263	12.7	125	6.0	294	14.2	127	6.1
4	わからない	21	18.1	12	10.3	18	15.5	5	4.3
5	(無回答)	1	5.9	1	5.9	1	5.9	2	11.8

番号	低コスト林業システム導入		森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等		奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組		林業の自立に向けた取組		木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組		公共施設などの木造化や木材利用	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	13	5.9	8	3.6	17	7.7	20	9.1	23	10.5	10	4.5
2	13	4.7	19	6.8	20	7.2	17	6.1	8	2.9	24	8.6
3	113	5.4	150	7.2	86	4.1	142	6.8	99	4.8	135	6.5
4	6	5.2	5	4.3	9	7.8	7	6.0	2	1.7	7	6.0
5	1	5.9	2	11.8	0	0.0	2	11.8	1	5.9	1	5.9

番号	県産材需要喚起に関する取組		森林の新たな価値の創出(地域内における森林資源循環(ペレット等))		森林の新たな価値の創出(森林空間利用)		クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援		公共施設などの緑化		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	8	3.6	14	6.4	7	3.2	5	2.3	4	1.8	7	3.2
2	8	2.9	16	5.7	10	3.6	5	1.8	9	3.2	9	3.2
3	66	3.2	122	5.9	94	4.5	82	4.0	128	6.2	48	2.3
4	2	1.7	6	5.2	3	2.6	2	1.7	11	9.5	0	0.0
5	1	5.9	0	0.0	1	5.9	1	5.9	1	5.9	1	5.9

### 3. 記述回答

#### 1) 問5 その他意見

問5において、その他に記載された記述回答について整理した。  
 主な意見により下記の9種類に分類した。  
 それぞれの件数について、  
 森林環境教育6件、林業従事者対策5件、災害防止5件、里山整備4件、都市緑化4件、木材活用4件、  
 花粉症対策3件、森林整備3件、その他31件、計65件の回答があった。  
 なお、記述回答については原則として原文のまま掲載した。ただし、個人情報や固有名詞は削除または  
 伏字とした。

#### ◆ 森林環境教育

吉岡町	男性	60代	森と人間を対象にした数々のイベントを実施して行くべきだと思いますか? (コロナが終息したらね)
-	-	-	森林減少による生活へのリスクの周知(それぞれの地域でのリスク)特に小学生、中学生への体験型授業(林間学校等)を通して未来を伝える。
みなかみ町	女性	70代	森林の緑の木々が人々にとても大切な宝物である事を子供たちに学ばせてほしいです。
伊勢崎市	女性	40代	・森と共に生きているというのを、小さいうちから教える。(教育) ・問題があるのならば、問題が浮き周りになるよう、ドキュメンタリー番組などを作って広く広める。
前橋市	女性	60代	小学校・中学校の教育現場で、森林の大切を教える取組。
大泉町	男性	70代	森林の大切さを幅広く(こども達にも)教育、告知、公報。

#### ◆ 林業従事者対策

玉村町	男性	80代以上	若者が林業で生活できる環境を作る。
沼田市	女性	70代	林業者の手が足りてないと思う。若い人達が林業に関わってほしいと思う。
東吾妻町	男性	80代以上	<input checked="" type="checkbox"/> の印をつけました。林業で自立した生活を営むことができる社会の仕組みにすることだと考えます。後継者はどうするか課題もありますが、自立した生活を営むことができれば、従事して下さる人が現れるとみています。花卉栽培に取り組んでいる方などいらっしゃいます。(他県からの移住者?)
富岡市	男性	80代以上	森林整備をより深めてもらう為の技術習得の研修等により活性化され作業道の整備や間伐材の活用により環境が相乗効果が上がると思う。継続的に行いさらに向上される。
藤岡市	男性	70代	今、山林は荒れ手入れが全くなされず林業では生活ができなくなっているのが現状です。それも家が昔の建物とすべて違った外材で安価な材木(輸入物)で作られ、古い杉やヒノキが高価で使用されず作られているからです。

#### ◆ 災害防止

みなかみ町	女性	50代	水害、山崩れなどの災害防止の為の取組。
太田市	男性	20代	森林伐採による、災害のおそれのあるメガソーラー建設を阻止し、豊かな森林を守っていく活動。
太田市	女性	40代	多くの森林が自然災害の防止や、県民の為の安らぎや環境の良い、住みやすい土地となって欲しい。
東吾妻町	女性	70代	土砂くずれ防止になる木は必要です。
藤岡市	男性	70代	災害防止や環境保護の取組が良い。



#### ◆ 里山整備

東吾妻町	女性	60代	年々高齢化し、山の整備等が難しくなっています。補助金等出し、地域の人をまき込み全員で少しずつ山をきれいにしていくよう望みます1人、2人ではとても無理なので。
板倉町	女性	20代	私が住んでいる町では、私有地に手入れがされていない森林があります。私有地であるため自己不担です。全額ではなくても良いので、少しでも県や町が力を借してほしいです。
富岡市	男性	70代	民家で大木になった杉など伐木の支援にも利用してほしい
富岡市	女性	70代	森林を所有していますが手入れが出来ません。どうしたか良いのでしょうか。

#### ◆ 都市緑化

伊勢崎市	女性	70代	伊勢崎市はこの猛暑で全国1,2を争う地域、地形もあると思いますが町なかにもっと緑を増やしてもらいたいです。たとえば家を新築した場合には木を1本植えるのを義務化するとか。
高崎市	男性	40代	街路樹を植えるのは良いが、歩行者や自転車が通行しやすいよう整備してほしい。雑草の手入れが行き届いてない。
沼田市	女性	30代	夏場は、とても暑いので、公共施設などを涼しい場に出来たら利用者さんが快適に過ごせるのではないかと感じた。
藤岡市	女性	40代	都市緑化を進めていただきたいです。

#### ◆ 木材活用

高山村	男性	50代	有効ある資源を最大活用してください。
昭和村	女性	60代	木材が高騰している事から日本の木を使用できることに繋がる税金の使用を希望します。
沼田市	男性	70代	間伐材を利用して再発電などに支援。
板倉町	男性	60代	群馬の杉100本を使った以前、新築プランがあったような…もっともっと使っていただき、使う森林の手入れ→山の整備が進む→働く人も増える→収入にもなると良い取り組みをしてください。

#### ◆ 花粉症対策

嬭恋村	女性	50代	花粉症は、まちがった食による腸の汚れ、スギには罪は無い。シカ・イノシシはオオカミを自然界に戻せば良いという話を信じます。オオカミは人をおそれないそうです。北海道でオオカミを育てている人がいます。その人が言っていたことをテレビで見ました。〇〇党さんが食の安全を言ってくれています。安心安全な食を取り戻したいですね。（自然界も食も）
藤岡市	女性	60代	枝打ち・間伐など森林整備による木材の有効活用と花粉の飛散防止を図っていただきたい。
南牧村	男性	80代以上	花粉発生源であるスギの木等考えて植替えれば医療費が大変さがると思う。

#### ◆ 森林整備

渋川市	男性	70代	山林の下刈等により山の管理をして山菜等の生育を期待したい。
前橋市	女性	60代	森林整備は必要な事と思います。すでに徴収されている税金の中から捻出する事は考えの中に入れていないのでしょうか?生活費の負担が大きいので、新たな税項目を増やす事に抵抗があります。
富岡市	男性	40代	自宅の裏山はあまり整備がされてなく、今はほとんど竹林になってしまいました。今後も整備される様子はなく、大雨の時の土砂崩れなどが心配です。

◆ その他

みなかみ町	女性	80代以上	ぐんま緑の県民税とは、緑の羽根の事でしょうか。何にもわからない。アンケートこれまでですすみません。森林保全御苦勞様です。
館林市	女性	60代	私は、AEAJ(日本アロマ環境協会)会員のものです。ぐんま緑の環境に、興味があります。
玉村町	男性	80代以上	※すべて必要な取り組みなのであろうが、日常触れていない文言事柄であり☑はつけにくい!!解らない!!取り組みやすいものから実施して下さい。 ※資金を集める、募金活動の実施
高崎市	女性	30代	無駄と思われる「県民税」の見直しを行い「ぐんま緑の県民税」を捻出する。
榛東村	女性	50代	Vチェックした項目、特にお願い致します。
榛東村	女性	60代	緑の県民税とは知りませんでした。納税していたとは・・・。
前橋市	男性	70代	個人で持っている地主はすべて国に返してから取組にすべき、何ヘクタールも個人が所有していること自体がおかしい。個人のところまでの税金を払う気は毛頭なし。 ※すべて国のものにしてからの話である。何も持っていない人はどうする。
みなかみ町	女性	80代以上	畑や田のまわりの雑木やシノを整理して獣が出ないように取組。
みなかみ町	男性	60代	森林放棄地を感心のある業者、県民に分配(販売)すべき。
安中市	女性	70代	水源(池)の管理・災害(逃げ場所)・大気保全を緊急にした方が良い。何が起こるか、急にあり得るので。若いボランティアも増やしていきたい。
伊勢崎市	女性	50代	緑の環境整備及びこれからの地球単位での維持の為有効に活用してもらいたい。
甘楽町	女性	50代	広葉樹林の保護・植林活動を進めてほしい。
甘楽町	男性	60代	どのような使いみちにしろ、その内容をはっきりと示してほしい。
甘楽町	女性	50代	山の価値を大切に!マイナススイオン大事!誰もが山で楽しめるようにと願います。福島で汚染された土は持って来ないでほしいです!
館林市	女性	50代	森林はとても大切な財産なので、どのように守っていくか専門家の意見を聞いて(人間の都合の良いように伐採されることのないよう)守る活動を願います。
高崎市	女性	60代	ぐんま出身ではなく、都市で生まれで育ちました。海外に行くたび、森を大切にし、その恵みを生活に生かしているのはすばらしいと思います。日本の森は杉とか植林のものがほとんど、それは森と呼べますか? 自然林を増やすのがいいと思います。
高崎市	男性	40代	ぐんま緑の県民税の負担額の目安を知りたい。
高崎市	女性	30代	意見ですすみません。地球環境保護のため、大切なことを重視して活用して行ってほしいです。森林についても、これだけのことができるんですね。知ることができて良かったです。野生動物は、地球上に4%とのことで、有り得ない数字が現実で起きているため、森林税をぜひお役立て下さい。
渋川市	男性	20代	森林を持っても持っている人が年寄りのため、維持が難しくなっている。きれいにしたくても手を掛けている時間がない。そういう家庭に国が手助けをしてもらいたい。手離したくても買い手がつかない。
上野村	男性	40代	紅葉する樹木が増えると見た目も良くなり観光の面でも良いと思います。
榛東村	男性	60代	「森林は県民共有の財産」なのだから公有化して自治体が主体となって経営に取り組む等の工夫が必要かと考えます。
榛東村	男性	70代	市町村単位で市民が憩える森村地域を創設し、春夏秋冬を皆で楽しめる空間を維持する。
川場村	男性	70代	急にはできることではないので計画的にやっていくことが必要。山林をきれいにすることと、木材の利用を広げること。(ストーブ等の薪などに)

前橋市	男性	70代	せっかく良い税金の使い方をされているのだから 不正のない使い方をしていただきたいと思います。皆様の努力に感謝致します。
太田市	男性	50代	里山で栽培出来るコシアブラやタラの芽等の路地物栽培の保護促進。
嬭恋村	男性	70代	専門家でないので分からないが地球温暖化防止の為に是非緑化を進めてほしい。
嬭恋村	男性	70代	人間社会において森林が必要(精神、生活においても)欠かさない様に守って下さい。
藤岡市	男性	70代	ぐんま緑の県民税知らなかった。県民にぐんま緑の県民税の使い途等、アピールした方が良いと思う。
藤岡市	男性	70代	山が売れず、木も売れず、毎年税金だけ取られ、これ以上税金を取らないで下さい。自分にとってメリットなし。
藤岡市	男性	60代	自分が所有する山林の手入れができないので困っています。
藤岡市	女性	50代	森林に詳しい人の知識、技術・協力を得て森林を守る(野生動植物の生息の場を守る取り組み)人間の都合のいい内容じゃないですか? 本当に森林野生動植物の事考えていますか。

## 2) 問6 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について

問6については、自由意見の記述回答とした。  
 回答があった主な意見により下記の6種類に分類した。  
 それぞれの件数については、  
 財源について27件、事業推進53件、事業の方針について34件、用途について10件、  
 普及・啓発について33件、その他意見27件、計184件の回答があった。  
 なお、記述回答については原則として原文のまま掲載した。ただし、個人情報や固有名詞は削除または伏字とした。

### ◆ 事業推進

みなかみ町	女性	70代	大切な自然林(ただ山が緑色であるだけではいけません)。生活の一部として楽しい山の緑をこの先もコツコツと整備して後に伝えて行ってほしいと考えます。
みなかみ町	女性	50代	個人の力では自然災害に対する防衛はムリに近いので、県民税でお願いしたいです。
みなかみ町	女性	80代以上	近所のタケヤブが、きれいになり、感謝しています。あとの手入れが大変という話を聞きましたので支援をお願いできればと思います。
みなかみ町	女性	70代	荒れた山林を減らすことにつながるよう、有効に使ってほしい。 令和6年度から始まる国税との兼ね合い？
伊勢崎市	女性	80代以上	県民共有の財産。大切な森林を守る取り組みを宜しくお願い致します。
館林市	女性	70代	森林が衰退し荒廃されている、森林が増加していると言う事を初めて知り僅ずつでも全県民の出来る事と言ったら、そのような形で収め、少しずつでも改善されて行けたらと思い「ぐんま緑の県民税」は令和6年度以降も引き続き継続される事に賛成します。
吉岡町	男性	30代	今回のアンケートで初めて「ぐんま緑の県民税」を知りました。家の近くには森があったり、家族が所有している森林も手入れが出来ず(今)今は森林に入ることも難しいとのことで身近な問題なのだと思います。県の森林を活かすためにこういった取組は必要なのではないかと思います。
高崎市	男性	70代	「ぐんま緑の県民税」に関して職員の方には、県民には見えない場所での作業で大変お疲れさまです。直接にお手伝いすることはできませんが群馬の森林を守るため、職員様の活動宜しくお祈りします。
高崎市	女性	40代	「ぐんま緑の県民税」について今後も継続すべきである。国により平成31年3月に「森林環境税及び森林環境税に関する法律」が成立、施行されているが、見直し案も出ており、継続が危ぶまれているため、群馬県として国の森林環境税にシフトするのは非常に危険に感じる。そのため、群馬県は「ぐんま緑の県民税」を継続して森林整備を行うべきである。特に近年の気候変動による大雨は森林整備なくして私たちの町の安全は守れないと考える。また、森林所有者は自身の森林が道路沿いにある場合、倒木によって他人の自動車や近隣の家屋に被害を与えてしまい、多大なる補償が必要な事例もある。県には森林所有者の所有離れを感じとっていただき、さらに所有者にとって負の遺産とされている山林をいかに守っていけるか、今後「ぐんま緑の県民税」によってより柔軟な事業を期待する。
渋川市	女性	50代	住民税から「ぐんま緑の県民税」が引かれていることを知りませんでした。有効活用をお願いします。森林所有者の高齢化や世代交代が著しいので、次世代への周知が急務だと思います。
渋川市	女性	60代	群馬県は豊かな自然に恵まれ森林、豊かな水源があり澄んだ空気のもと生活することができていると思います。山々にかこまれている生活環境を考慮すると、山々の手入れや川岸の整備も必要となると思います。これからも環境の変化で災害を防止し、整備し、今ある自然を守っていきたいです。
昭和村	男性	60代	待ったなしの「地球温暖化防止」並びに近年の大豪雨による「土砂災害防止」のためにも、針葉樹林の植栽事業は広葉樹林の植栽事業に切り替えていく必要があるように思われます。水源の保全の意味でも

昭和村	男性	60代	非常に重要な事業といえるでしょう。そういったことから「ぐんま緑の県民税」の継続と有効利用を切に願うところであります。
沼田市	女性	60代	沼田市が森林文化都市としているのに「ぐんま緑の県民税」の事は全く知りませんでした。税金を有効に使用していただき住みよい群馬県にしてください。
榛東村	女性	50代	ぐんま緑の県民税を納めていることを知らなかったが、必要な経費として有効活用していただきたいです。
前橋市	女性	60代	4年前、県産材を使用した住宅を建築して、補助金をいただいたことがあります。同じ頃、自宅を建築した友人に聞くとその制度を知らず(大手のハウスメーカー)に建築されていました。ぐんまの木材を利用することで、森林事業を応援していると思っています。緑豊かなぐんまの為に、この県民税には賛同致します。下流の他県の皆様のお後にも立っていると思います。
太田市	女性	60代	地球の維持が難しい現実を目のあたりにしているのが、とても心配です。私達に出来る事から1歩ずつ続けてもらえるのなら自然を大事に大切に守って、群馬の緑を守りつづけてほしいと思います。
中之条町	女性	70代	アンケート調査に関わり初めて「ぐんま緑の県民税」の事を知りました。過疎化高齢化が進み私の住む集落も無くなりそうです。それと共に山も荒廃し最終年度までに手付かずの山の整備をぜひともお願いしたいと思いました。早急にです。そのような所は沢山あると思いますが。
嬭恋村	女性	40代	県民税とその取り組みなど全く知りませんでした。是非これから未来を守る子供達に森林の働きや取り組みについて伝えていって下さい。個人で所有している森林も所有者が高齢化し整備も困難です
富岡市	女性	60代	NHKの朝の連続テレビで放映された「おかえりモネ」で山の森林を守り育て海にも通じることがわかりました。ぐんま緑の県民税を導入(住民税)また、令和6年度からは国の森林環境税が施行されるとのこと。年金受給者には、食品物価高、公共料金の値上げ等、節約生活がなされます。未来へ続く森林の活用と(金額の割合)に生かされますように。
伊勢崎市	女性	40代	子供と一緒にこんな税金があるんだね、という会話をしました。全く知らないことだったので家族で勉強になりました。様々なところで使われている税はきちんと納めたいです
伊勢崎市	男性	30代	最近、富山和子著の「森は生きている」を読みました。それ以来、改め森林の大切さ実感しています。したがって、いち県民としては、この事業継続を願っています
甘楽町	女性	50代	ぐんま緑の県民税の事は知りませんが年700円で山がきれいになるのはとても良いことだと思います。最近、道路の整備で山田道がきれいになって、とても気持ちがよくなりました。ずっと歩くのにこんなに草が生えてたら歩けないし、歩道よりも車が通る所まで草が生えたままでしたが、道がきれいになったと同時に(ほそう作業で)今まで草でかくれた歩道が見えてきて、いつもこのように整備してくれたら助かると思いました、定期的にしていただけたら幸いです。今後とも山の存続ときれいな景色のための整備活動よろしく願います。竹の伐採も冬は雪が溶けるのが早いので助かります。
甘楽町	女性	70代	私は、「ぐんま緑の県民税」は、ずっと継続されるべきと思っています、県土の2/3が森林の私達の暮らし、平地林里山、そして景観が素晴らしい山々に囲まれ、それが当然のことと思っていましたが、適切な管理がなされない森林が多いと知り心配しています。近年、私の住む地域を大雨で、荷や川の土手がぐずれ、大がかりな改修工事が施されてきました。私達は、こうした自然の猛威に学びより広い視野で科学的に検証された強い森林づくりをめざし、安全安心な生活環境の改善創造が、深く県民に理解され「緑の県民税」が有意義に運用される事を願っています。
館林市	女性	40代	私達の住む群馬県の緑豊かな森林の為に、有効に県民税を活用していただければ幸いです。よろしく願います。森林保全課の皆様のご多幸をお祈りします。

館林市	男性	50代	県民税だけでは資金不足だと思いますが、森林の環境保護、整備や保全活動は大変な苦勞だと思います。これからも頑張ってください。
吉岡町	女性	60代	地球温暖化防止や災害防止をする事が出来、群馬はすてきな山が沢山あるので、子供達に自然を残していけたら良い。その為に「ぐんま緑の県民税」が使われてほしい。
玉村町	男性	60代	地球温暖化の影響により、私が子供の頃には、経験の無かった様な豪雨が頻発しております。森林は、豪雨による洪水防止に大きく貢献していると考えます。平穏無事な日常生活を送るうえで、森林は、非常に重要な役割を果していると思いますので、今後も森林の保全活動をよろしくお願い致します。
桐生市	女性	50代	大切な自然が悪環境(温暖化等含む)によって森林、動物達をおびやかしている。私達が呼吸している様に森林も呼吸しているため、良い環境にすることにより、私達の生活環境も良くなるかと思えます。なので「ぐんま緑の県民税」令和6年度からは国の森林環境税が施行されることは、致し方ないと思えます。
桐生市	女性	60代	森林を大切に、動物の住める場所の確保し、災害がおきないように、整備してほしい。そのために税金を支払うことは、問題ないと思う。
桐生市	女性	30代	しっかり環境整備し、(森林関係)に使ってほしい。
高崎市	女性	50代	大切な森林を守っていけるように無駄なく適切に県民税を活用していただくよう取り組んで欲しいです。
高崎市	男性	60代	群馬県の県土の3分の2を占める森林これに対し、林業の衰退により適切な管理をせずに荒廃させることは、私達の環境を悪化させるなど、目に見える現象があると思われます。将来の環境のためにも、森林整備、緑化支援を行い「ぐんま緑の県民税」を継続させることは、必要であると考えています。
渋川市	女性	70代	ぐんま緑の県民税のこと、申し訳ありませんが知りませんでした。森林整備を始め色々なことを知りました。二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献している件は多いに賛成です。地域のため、日本のため、地球のため頑張ってください。これから気をつけて資料を見る事にします。
渋川市	男性	80代以上	森林の働きを考え、さらに森林整備を充実して欲しい。
榛東村	女性	30代	材木が群馬県は盛んだった時代があったそうですが、(おそらく30年ぐらいまでは・・・詳しくは知りませんが...) その時のスギなど植えた木が問題になっているということでしょうか。花粉の時期になると風が吹くと山が花粉でにごるのが分かりますし、山の方に行くと、混み合っている木々をみて、土砂くずれがおきないか不安になります。こういった手をつけられない問題は税金で解決するしかないと思います。各市町村や県が中心となり、森林の整備をしていただきたいと思います。私有地だったりしてかなり難しい問題ですが、そのために税金を使うのはとても有意義だと思います。他の方々は違う意見でしょうが、年々進む温暖化による異常気象を止めるには、今人々が何をするのかにかかっていると思います。自分1人では本当に何もできないので、このぐんまの緑の県民税で森林を守り、自然を守ることに働きかけるのはとても賛成です。税を増やしてもよいとも思います。
榛東村	男性	40代	有効な税金の使い道だと思います。ただし手を加える事の有効性と手を加えない事による有効性と2通りあると思います。熱海のような盛土による災害もあります。適切な緑と山と自然と人間のさらに動物の共存と様々な課題があると思います。地道な道のりかと思いますが、長い年月と共に、良い森林整備等の結果が出る事を期待しています。
榛東村	女性	40代	全く知りませんでした。とても良い取り組みだと思います。森林を守ってください。よろしく申し上げます。
前橋市	男性	50代	緑の県民税に関して、今までほとんど認識していませんでした。特に具体的な提案もできず、申し訳な

前橋市	男性	50代	い限りです。既に実施されているかもしれませんが、別紙でいただいた「ぐんま緑の県民税」の取組を多くの県民の目に触れるようにする事は大切ではないかと考えます。何にしても、水資源の確保、地球温暖化の防止に重要な森林を守るために税金を有効利用してほしいと思います。
前橋市	女性	50代	ぐんま緑の県民税という税金があることをアンケートで知りました。山村地域の過疎化・高齢化は大きな社会問題だと私も思います。国と連携し、もっと県民に分かりやすくして進めていく事は大事な事だと思います。この、ぐんま緑の県民税を今後も続けていって下さい。
草津町	男性	70代	森林伐採による地球の気候変動、二酸化炭素の排出による地球温暖化の一因と報道。今ある森林を守るため、国、県により、森林環境の改善、安全、安心な生活環境を守る等、税という形で私たちの出来ることを協力していきたい。
太田市	男性	70代	森林は私達が生活していくのに無くてはならないものです。絶対に絶やしてはならないです。
太田市	女性	60代	これからも、森林への取り組みをよろしくお願い致します。
太田市	女性	40代	今回のアンケートにより、この取組について知りましたが、とても必要なものだと思います。資源のムダ使いではなく、この取組によって、あらたにつくるものや、ことが県民の生活をより良い方向になれば良いと思います。少しでも住みやすい土地となるよう、期待しています。この大切な財産を自然からの災害予防等に役立てて欲しいです。
太田市	女性	60代	「ぐんま緑の県民税」を有効活用し森林を管理しながらより自然を大切に守って下さることを願っております。
大泉町	女性	40代	「ぐんま緑の県民税」で目指すべき目標を達成すべく今後もよろしくお願い致します。
大泉町	男性	70代	県内木材の利用と森林整備で自然に親しみが持てるように県民がなれば良いと思います。
中之条町	女性	60代	「ぐんま緑の県民税」を今まで知らなかったが、日本の将来のためには必要だと思います。これからも森林の整備・再生をお願いします。
中之条町	男性	50代	大切な森林を守って、次世代へ残して欲しい。
東吾妻町	男性	80代以上	人は、県民は森林によって生かされている見方をすることができないかです。すなわち、森林を愛護する方向から、人は森林・自然に命を享受されている、の理念を根本に据えることと考えます。森林があるからこそ諸々の生命が芽生え育ちます。自然・森林は人・県民の誰にでも分け隔てなく生活に潤いと癒やしを恵み、与え続けてくれる永久(とわ)の存在です。したがって県民の方が「ぐんま緑の県民税」に対してより理解してくださると考えます。さらに「ぐんま緑の県民税」等の諸施策に従事されている方、林業関係の仕事に携わっている多くの方々が、一層仕事に誇りを持って取り組む環境づくりに結びつくと考えます。つまり、人・県民が、自然・森林に対して畏敬への心を一層持つことは、森林の育成や整備の仕事に従事されている方が、人・県民のどなたにも日々の幸せな生活追求の土台になる生命の保全に繋がる、と仕事に向けての自覚・やりがいを持って山に入ることができることになるのではないのでしょうか。さらに、適切な森林管理に向けての取り組みに触れることができれば、県民のみなさまが「ぐんま緑の県民税」による群馬の森林の保全に向けて支え見守ってくださるでしょう。これまでの「ぐんま緑の県民税」等での諸施策を継続していただくことは当然です。
藤岡市	女性	60代	地球温暖化の影響による異常気象をもたらす豪雨からの被害を少しでも食い止めるために、森林を守り育てる大切さを痛感しています。 今後も緑の県民税によって、森林の整備・保護がますます進むことを願っています。
藤岡市	男性	70代	国のモデルとなる様な森林事業を期待しています。美しい森林は私達の宝です。
藤岡市	女性	50代	森林を管理することは防災に関して大事なことだと思います。皆で守って行くためには緑の県民税はこ

藤岡市	女性	50代	これからもずっと必要だと思います。
富岡市	女性	50代	「ぐんま緑の県民税」を納税していたことを今回知りました。森林整備と言う大切な目的がある税なので今後も継続して大切に使ってほしいと思います

#### ◆ 事業の方針について

高崎市	男性	70代	自然科学・緑地化(環境)等、実生活に役立つ啓蒙、学校教育活動を強力に推進して頂きたい。次世代に残せる太いパイプ作り!!
安中市	男性	60代	森林の働き(森林の公益的機能)をしっかりと保全して欲しいと思います。また群馬県産の木材をPRし販売して欲しい
富岡市	男性	40代	無駄のないように有効に活用していただきたいと思います。それと、現在住宅に使用されている木材は外国産が多いですが県産材をもっとアピールしていけばウッドショックの影響を受けずに住宅を提供できるのではないのでしょうか、林業の活性化に期待したいです。
片品村	女性	70代	道路沿いの森林を伐採して下さると、冬期の道路の凍結場所が減り、事故防止につながると思います。
渋川市	男性	70代	昔は山林が管理され山菜もよく採れた。今はどこも整備されていない感がある。予算もかかることで、ままなりません山の整備は大変だと思います。野生動物問題にも一案にならないのか。
神流町	男性	60代	木材価格の低迷で、手入れをしない山林が多くなったが、森林の果たす役割は重要なので健全な山林の育成にもっと力を入れてほしい。
みなかみ町	男性	70代	森林所有者の高齢化、里地等の過疎化に伴い、管理が不可の事例が多いかと考えられ、以上の案件が好転するとは考えられないため、緑の県民税の継続と内容の工夫が必要。
館林市	男性	60代	後継者不足の地域などには人材育成等に力を入れた活動が望ましいと思います。近代化だけを目指す社会だけではなくそれと同等の自然保護することが大切だと思います。
前橋市	男性	20代	林業を機械化して産業にする事が大事に思う。株式会社にして、他の産業と競争出来る事業に育てる木材を輸入に対抗出来るまで、税金を投入することが必要。
沼田市	男性	70代	・林業を主としている地方の活性化するのに利用する。 ・林業に関する教育に使用する。
前橋市	女性	60代	地球のこれまでの生態系のバランスが適切に保たれ維持されてきましたが、現在は持続不可能になっています。SDGSの目標15陸の豊かさを守ろう、目標14海の豊かさを守ろうとからめて、次世代の子どもたちに水と緑(森林)の大切さを理解してもらうための体験型・参加型の授業にもっとポジティブに取り組んでいただきたいです。
前橋市	女性	70代	特に視覚障害者のボランティア(主人が)をしています。その方達がゆっくり遠慮なく走ったり、歩いたり、自由にできる場所がありません。専用レーンや休憩所など、公共施設として森林利用をしていただけるなら県民税を払っても平等感はあると思います。森林の働きについて、自然に親しみ人とのかわりを学ぶとありますが障害者と共に県民院を有意義に使っていただきたく、森林保全に協力したいと思います。
南牧村	男性	80代以上	国土の保全は国だけでは出来ません。個人の土地所有がいはじめて全体の保全が有効化する物と思います。長年育てた杉材を、ただ切って捨てるのでは余りにも知恵が無さすぎる。山本の気持ちを考え真の保全とは何か考えてもらいたい。
館林市	女性	60代	とくに、地球温暖化が心配です。AEAJでは、環境カオリスト検定というものがあります。近年2015年に国連で、採択されたSDGS、特に北欧の達成度が高いそうです。群馬でも、3分の2が森林が占めてい



館林市	女性	60代	るので、森林環境に取り組んでほしいです。野生動物が、民家に出てこないよう森の中に生息してほしいです。
富岡市	男性	70代	野生動物の愛護及び保護等とても大切なことでは認識していますが、余りにも特にイノシシ、シカ等の山里はもちろん山が近い田畑においての樹木・野菜・稲等の食害と遭遇時の怪我・事故を含め、所有している持ち主の悲鳴が聞こえてきます。在来種も外来種の動物、日常茶飯事に見受けられます。一年間育て上げた物を一番美味しいときに食べられてしまう事腹立たしいの一言です。徹底した駆除が重要と考えられますが如何でしょうか
東吾妻町	男性	50代	個人では管理できない。(下刈りなど)
藤岡市	女性	80代以上	身近な問題として花粉の少ないスギ等の改善対策に少しずつでも取り組んで欲しいと思います。とても大変な事だとは思いますが。
富岡市	女性	60代	地球温暖化の防止について、緑がどのくらいの効果があるのかわかりません。他県も取り組んでいるのか知りたいです。私としては、住んでいる所で雑木(特別に育ちすぎた)が目立ち景観が悪く、風が通りにくいと感じます。個人の所有の土地の整備をしてほしいと思うことがあります。隣の家の木が邪魔でも切ることが出来なくていららします。こんな小さな問題も解決や呼びかけなどしてほしいです。
昭和村	男性	50代	ぐんま緑の県民税は里山や森林の環境改善の為に集められている税金のイメージだが中山間地では鳥獣害の被害が年々増え、野生動物が民家周辺まで来ています。接触のリスクを減らす為にも集落との緩衝地帯を設けるような事業にも積極的に対応していただきたいです。山林の荒廃と野生動物の対応は関連している喫緊の問題だと思います。
嬭恋村	女性	70代	里山の草木をもっと整備し、動物達が民家に近づかないよう景観を良くして動物達が山で生活ができることをお願いしたいです。
伊勢崎市	女性	40代	昨今の気候変動により群馬でも豪雨が増えていく可能性があり、山林の整備保全にますます力を注いでいただきたいと思っています。また、メガソーラーによる森林破壊についても議論をお願いしたいです。
富岡市	女性	60代	昨今の太陽発電パネル設置のための森林伐採などは、もつてのほか、本末転倒。管理監視、法整備等の徹底を図るために、県税の利用活用をして欲しい。
藤岡市	女性	60代	森林整備のボランティア活動等の活性化を図ってもらいたいと思います。
太田市	男性	60代	私は溪流釣りが趣味なので、県内の山間部(水上・片品方面)に時折出かけます。釣りをしながらいつも感じるのは、スギやヒノキの多い地域を流れる川より、ブナやミズナラなど広葉樹が育っている山の中を流れる川のほうが、水がきれいで、魚の成育が良いことです。山の保水力や水の養分などが安定しているので、水生昆虫がよく成長し、それを食べる魚(山魚や岩魚)も大きくなるのではないかと思います。これは魚だけではありません。植林事業はとても大変なことと思いますが、これからはできるだけ広葉樹の山を増やし、スギ花粉対策に県民税を積極的に活用していただきたいと感じました。
太田市	女性	30代	本当に花粉がつらいので、原因となる木の植え替えを実施していただけると本当にありがたいです。
前橋市	男性	60代	県民税が大幅に上がるのは困るが、林業に携わる人たちが安全かつ適切な賃金で働けるようになってほしい。また、外国の安い木材だけでなく、国内にも優良な木材が沢山あること、そしてそれが適正な価格で流通できるようになるといいと思う。
桐生市	男性	10代	植林してください！
太田市	男性	50代	私の親戚が居住する大間々地区の里山では天然路地物のユシアブラやタラの芽が収穫出来る。その天ぷらは甘くてみずみずしく最高のご馳走です。しかし、観光に来た人々によって根こそぎ取られてしまい、

太田市	男性	50代	絶えてしまう事が多いと嘆いています。ぐんま緑の県民税を活用しこれらの路地物の栽培保護は不可能でしょうか。行政主導のもと、保護栽培されたコシアブラやタラの芽を地産地消事業にしてもいい。ふるさと納税返礼品事業にしてもいい。その事業には現地の人を採用し現地活性化につながるのもいい。心ない人が増える今、持続可能な群馬の名産品を全国で、世界に発信したいですね。
安中市	男性	70代	安中市には森林が多く有りまた、観光施設も有り森林、観光を組合せした開発をしてもらいたい。
甘楽町	男性	60代	広葉樹を植える。実がなる木を、どんぐり、シイの木、栗の木などを。そして、里山を大切にしてくれる地域や人々にお金を回して欲しい。山間地に住むことで、生活が成り立つようにしてほしいです。
中之条町	女性	50代	森林の個人所有者では管理しきれず、荒れ放題になっている。個人所有であっても県で整備管理をして頂ける対策をしてほしい。
みなかみ町	男性	60代	森林を維持するためにはお金がかかるのは理解でき、必要な税で有ると思うので継続すべきだが森林連合会の行う、製材に関し国からの補助で機械を動入しているが、余りにもむだ、競争力のなさを私はしています。このへんを見直さないと、未来はなく、賛成者も多くならないと思います
館林市	男性	50代	自立した林業と自然保護、花粉対策、災害防止に活用願いたい。
藤岡市	女性	40代	都市緑化に期待します。公園や駐車場、学校周辺・公共施設周辺の緑化活動を進めていただきたいです。群馬に来て、都市部に木が少なく、日影がほとんどないことに驚きました。県民税として徴収されるのなら、緑化活動に力を入れていただけることを期待しています。

#### ◆ 普及・啓発について

みどり市	女性	50代	自身の認識不足もありますが広報活動が足りないように思う。県民の皆さんにもっと大きな関心をもってもらうことも重要ではないか。
みどり市	男性	70代	今回のアンケート資料でぐんま緑の県民税活動わかりました。
安中市	女性	70代	① 若いボランティアを増やした方が良い ② 森林を伐採したら、その周辺に、大きな遊ぶ何かを作ったり、工夫して、アピール等をして、人を集め、何をしているか1人1人に森林環境を、目や体で、見てもらって、わかってもらいたいと思います。以上
伊勢崎市	男性	80代以上	「ぐんま緑の県民税」がどのように活用されているか広報をもっとしてください。今回のアンケートで認識をあらたにしました。ありがとうございます。
伊勢崎市	女性	40代	「ぐんま緑の県民税」の存在自体知りませんでした。森林の整備等に役立てるといのは、とても良いと思うのですが、県のホームページだけでなく、もう少し他の方法でも県民の人々に知らせた方が、良いと思います。自分の生活で困ったことがない限り、若い人たちは特にホームページにはアクセスしませんし、今後、引きついでいってもらうためにも、学校・公共施設等でお知らせする必要があると思います。
伊勢崎市	女性	40代	少なくとも、この事業について、税金がとられていて、税金が使われている事を知らないなどということがないようにした方がいいと思う。赤い羽根募金みたいに、えんぴつの1本でも配ったらどうか。ホームページなんてわざわざ見に行く人はごくごく少数ですよ。ぐんまちゃんのアニメの題材にでもしたらどうですか。子供の夏休みの課題に盛り込むとか。
甘楽町	女性	60代	「ぐんま緑の県民税」については勉強不足で知りませんでした。森の働きはとても大切な事だと温暖化しつつある気候もあり強く感じます。取り組んでいる事を広くPRして、みなさんに知ってもらえるようにしてほしい。私の家の山も1年に1度くらい様子を見に行っていますが、私の次世代にはどうなるだ

甘楽町	女性	60代	ろうかと不安です。まわりの竹林がせまってきているのみ込まれるのも時間の問題。
館林市	女性	60代	今回のアンケートで「ぐんま緑の県民税」があることを知りました。もっとも県民にアピールする必要があると思います。予算があるので難しいとは思いますがこのアンケートも20代～60代に絞ったほうが良いと思います。10代というのは10～19才までということになりますが10代前半はまだ小学生、このアンケートは難しいと思います。70代以上は、今後のことを考える時、知恵袋も必要でしょうが若い方の考えを聞くべきです。林業自体が衰退している今日個人所有の山を県が購入し県が管理する対制を取っていかないと難しいと思う。県が山を所有することでいろいろなことが広がっていくと思う。(難しいことはわかります) またボランティアにばかり頼っては長続きしません。
高崎市	男性	60代	重要性の高い税だということを今回のアンケートで初めて知った。第1次産業に関心が高いと思っていたがまだまだ知らないことが多いということを知らされた。認知度の段階により啓発活動を工夫して多角的なメッセージ伝達をしていくことも必要だと思う。
渋川市	女性	20代	ぐんま緑の県民税について知らなかったのが、アンケートのおかげで知ることができました。知っているも自ら行動していないと思うので、森を守る活動をしてくださり、ありがとうございます。素敵なお取り組みだともっと色々な人に知ってもらえる機会があれば良いと思います。ただ私が、知識不足なだけかもしれませんが、..税を取られる聞くと「え?」と思う人も多いと思いますが、その税が何に使われているか分かれば安心して納められます。これからもよろしくお祈りします。
渋川市	男性	80代以上	時の変遷により木材(竹材)の利用価値の低下や所有者の高齢化や後継者不足となって荒廃して森林(竹林)の働きが欠如してしまったのは理解できるが、山林(竹林)といえ、今から70年から80年以前は山林(竹林)の所有者はお大臣様で悠々としていた記憶があり、このことを思うに「ぐんま緑の県民税」については複雑な気持ちになりますが森林の働きと考えると仕方ないのかと思います。森林の働きを周知すべきだと思います。
前橋市	女性	20代	ぐんま緑の県民税について、アンケートがくるまで、実態を知らなかったのが本音である。実態を知らない者が回答してよいものか是非はあるが、働く世代や今後社会を担う世代が、公平に負担することとなるであろう県民税について、特に群馬県で一生を考える人には、ぐんま緑の県民税を広く周知する必要があると思われる。その上で森林整備を一番に提案する。緑や自然の大切さを問うことも必要だが、手入れがいかなくなった場の整備は、災害予防だけではなく、鬱蒼とした森林=暗い印象が個人的にはあるが、その印象を払拭する効果も期待できると考える。
前橋市	女性	20代	このアンケートが来てはじめて知ったので、もっと周知してもらいたいです。
前橋市	女性	50代	森林の重要性は認識しているつもりですが、私たちの暮らしとどのようにつながっているのか。もっと深い理解が得られる機会の増加とともに、大切な森林を守るために、税金が有効に使われて、県民皆が納得できる取組を希望します。
前橋市	男性	70代	森林の役割を知っている人は少ないと思います。多くの人が理解することが大切であると思います。
前橋市	女性	60代	大事なことは、将来この税を納めていくであろう子供たちへの認知だと思います。小学校・中学校等において、森林の大切さ、必要性、役割等を教え、「自分たちは何ができるか?何をすべきか?どう考えていくのか?」を定期的考える時間を作ることです。「森林の多い群馬県が広い関東平野にたくさんのお恵みをもたらしている!」ことを誇りに思い将来どこに住んでも、「森林の大切さ」を忘れず、その活動に協力し、見守る精神を育てることです。目の前の活動とともに、長い目で見た森林教育が必要だと思います。
前橋市	男性	30代	何にどう利用したのかビジュアルで見える化して発信してほしい。

太田市	男性	20代	令和6年より始まる国の森林環境税と、ぐんま緑の県民税が森林関係で似通っており、二重課税に感じるので、どの土地でどのように活用されたかを具体的にアピールしてほしいです。太田市効外において、森林を伐採してメガソーラーを建てる事例が相次いでおり、土砂災害のリスクが高まっている。これらの拡大を阻止し、森林の保全、災害の予防・環境教育の場としての活用を行なってほしいです。
太田市	女性	30代	このアンケート調査によって、「ぐんま緑の県民税」の存在を知り、どのような取組に使われているのかを知る事が出来ました。読んで、興味を持って、アンケートに回答する人は、全員ではないかもしれませんが、1人でも多くの方が、こういった活動がされていること、どのように税金が使われているのか、知る機会になればいいなと思います。森林の保全は、私たちの生活にとって欠かせないものであることが、もっと皆さんに周知され、より良い群馬県になることを願っています。林業に関してですが、最近では熊やスズメバチなどの被害も騒がれていますので、林業の方が被害にあわれないような対策にも、税金が使われるといいなと思います。
太田市	女性	40代	「森林を守り育て次世代へ引き継ぐ」という目的を、子供達が身近に理解し感じられる取組を太田市にある「ぐんまこどもの国」で見かけました。施設内の大木に木の名前や特徴、そしてCO2を年間吸収して空気を浄化する量を具体的にイラスト入りで、「ペットボトル〇本分」等、明記してありました。こうした取組を森林で実際見ると、子供も非常に具体的イメージが湧き、「森林の役割、大切さ」を体感していました。このような取組に緑の県民税を活用していただけると良いと思いました。
太田市	男性	70代 7	税金として徴収するならもっとPRした方が良いと思います。私自身も今回のアンケートで知りました。森林は群馬県民だけのものでは無いのもっと幅広い活動が心要では?
嬭恋村	男性	70代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源県群馬はダムはたくさんありますが、緑のダム県の印象が薄いと思います。”水と緑のサミット”を開催して世論をリードすべきだと思います。</li> <li>・緑の県民税の理解を得ようとする努力はわかりますが、税の理解は、一面的に”正しく使われている”という目線を感じてしまいます。様々な使い方がされているということより、効果がどう上ったのか検証してから、これからも継続すべきか否か考えて欲しいです。</li> <li>・長野県へ行ったら、コンビニに緑の税に関するタブロイドの広報紙があり、なるほど、と思いました。あまり群馬のものは見ていません。環境を守るためにも、期待しています。</li> </ul>
嬭恋村	男性	80代以上	ぐんま緑の県民税に関するRRをもっとやってもらいたい。関係者しか知らないのではないかな。森林組合を利用してPRをお願いしたい。間伐事業についても、土木事業については立看板等で、一目で分かるが森林事業は見たことがない。(土木事業は請負額から工期等が一目で分かる)
藤岡市	男性	80代以上	森林は大切な財産であること認識する取組(県行政)をしてほしい。森林あつての動植物の生命であることを忘れてはならないと思っています。
藤岡市	男性	70代	緑の県民税がどのように使われているのか県民にPRしてもらいたい。県のホームページ、県の広報紙、上毛新聞、FMぐんま、同封のチラシを地域の公民館等に配布する。地球の温暖化で森林は大切に育てなければなりません。小中学校で緑の大切さを教えてもらいたい。
板倉町	男性	60代	県民の目が届くよう、山の奥深くの話でなく、例えば住宅街の空家、大木になってしまった木の伐採に取り組み際に「ぐんま緑の県民税」看板を立て、このように使っていますアピールをする、山の手入れが行き届いている森林にたてるなど承知される様にしてもらいたいかがでしょうか。昔々のきこりの話にならないようお願い致します。
板倉町	女性	20代	この「ぐんま緑の県民税」の存在を全く知らなかった。70代の父は知っていたが、他の同居する家族は皆、知らないようであった。次世代の人に知ってもらおうのであればもっとわかりやすく説明するべきだ

板倉町	女性	20代	と思う。少なくとも私は、このアンケートで存在を知った。
富岡市	男性	80代以上	ぐんま緑の県民税に関する取組について県民、一般市民等に周知徹底を図り認識してもらうことでボランティアの人も増えるのでは、また感心が高まるのではないのでしょうか。
富岡市	男性	40代	今まで「ぐんま緑の県民税」についてはほとんど知らなかったのですが、これからは自分からも情報を入れようと思いますが、県からも今まで以上の積極的なアナウンスをお願いします
片品村	女性	40代	私の父が林業をしていたので、とても身近なものとしてぐんま緑の県民税についてアンケートをさせてもらいました。水の資源、森林が県土の2/3であることは県民としての誇りです。アンケートをして初めて、この県民税について知りました。集計結果で明確になると考えますが、県民のほとんどは知らないのではないかと思います。この取組の県民への周知と森林の働きについて理解を年代問わずできるよう働きかけが必要であることが考えられます。荒れた山林や国道、県道沿いの枯れた森林は、観光客にとっては本来の群馬の姿ではないことを理解してもらえよう、整備し、緑ゆたかな群馬を視覚からも楽しんでもらいたいと思います。
明和町	男性	40代	群馬県の森林の木材を代採した時、その木材をどのように加工し使用しているか今回のぐんま緑の県民税を活用した取組状況を掲載してほしい。
太田市	男性	60代	ホームページを開けない人も多々いると思います。
藤岡市	男性	60代	PRの不足である。

#### ◆ 財源について

伊勢崎市	女性	40代	ぐんま緑の県民税について知らない方が大半だと思います。知らないうちに差し引かれている点に疑問を持ちました。趣旨に賛同していただける方から徴収するのが良いかと思います。日々、群馬県の森林についてご尽力いただきありがとうございます。
下仁田町	男性	50代	税金を徴収するのであれば、森林の所有者から徴収するべき。なぜ、木を植たのか?金のためですよ、ならば木一本にたいして税金を徴収するのがあたりまえ! 永年、杉、上の木の花粉に悩まされてきた人間としては、木の所有者は、加害者なのです。それなのに被害者からも税金を徴収するなど言語道断!! ふざけるのもたいがいにしろ! 世界中の猛者を集め、だれが一番木を切れるか? などの大会を開催し、植すぎた杉、上の木の削減をし、日本の古来からの山をとりもどして下さい。
沼田市	女性	70代	固定資産税だけでも、年金生活世帯では負担になっている。使用可能な森林の保有者、保有するが負担な者も一律に徴収増税は不満であります。
榛東村	男性	60代	国の森林環境税施行時に重複納税とならないよう確実な取組みや整備を実施して欲しい。森林所有者が自ら維持できないのであればペナルティーを課し、自治体がいちいち買取るなどしてたらだと所有させない。産業なのだから保護すれば良いと言う問題ではないと考えます。
館林市	女性	60代	自然災害の多い日本、群馬も山があり、昔から山林には、人の手が入り、山を守ってきたと思います。最近人手不足もあるかと思うが、なかなか整備できない所もあったり、逆に人の手が入り過ぎて、動植物の住みかを奪って食べ物をさがしに人里まで来るようになった。取り組みはとてよよいと思うが、今までもこのようなことは継続されてきていると推測する。新たに県民税を納めるのではなく、予算の中から捻出できないものだろうか。これからは災害は数々起きるから、防げることは前もって取り組んでいただきたいです。
前橋市	男性	60代	森林は群馬県だけの問題ではありません。水源は東京都等の利用のため維持しなければならず、森林の維持は東京都等も負担するべきであり県単位だけでなく広げるべきです。国の森林環境税が始まれば、県

前橋市	男性	60代	独自の税負担を縮小するべきです。
富岡市	男性	70代	年額700円もの税金で記載程度の実績とすれば、今回のアンケートの目的は何なのですか?増税ですか?取組みが良い事は分りますが、物価高及び年金減のおりから、これ以上の増税は認められません。問1の男女区分は何の意味があるのですか? 今回の「ぐんま緑の県民税」のアンケートに必要ありますか。
館林市	女性	30代	物価上昇が続くなか、県民に税金ばかり課するのはどうかと思う。緑の県民税の他に県民税を課しているのだから短スパンの道路工事等、県民が明らかに「なぜ」と思うところを改善するべきだと思う。その様なところを見直さない限り税金ばかり課される県民は不満だと思う。
前橋市	女性	40代	このアンケートを受け取るまで「ぐんま緑の県民税」が徴収されていることを知りませんでした。徴収するのであれば、もっと県民全員にわかるように周知する義務があると思います。また、過疎化高齢化により管理ができないのであれば、県単位ではなく国全体で取り組む必要があると思うので「ぐんま緑の県民税」を令和6年以降も続けるのは2重課税になり県民への負担になると思います。
高崎市	女性	50代	他の県と比べ、年700円が妥当でしたか? 500円が妥当だと個人的に思います。
中之条町	男性	50代	目的税反対。一般財源から森林を守る努力を。
東吾妻町	女性	50代	緑の県民税の導入は昔とは生活様式や、産業が変化したり外国産の安い資材の導入により林業の衰退によりやむおえなかったのかもしれませんが... 林業の復活は難しいのでしょうか。林業の自立も難しいと思います。林業が衰退した時代に災害が多くあるかもしれません。森林の大切さを考える時が来ていると思います。緑の県民税じゃない財源から林業に資金提供して下さい! わざわざ緑の県民税でなくても財源を確保して下さい!
渋川市	男性	80代以上	東京人に課税する。
沼田市	男性	60代	税金を集めることには反対します。県職員や市職員の給与を一律30%減額して、その金でやるべき。税金だと色々理由をつけて半分以上は役員ふところに入ってしまう。公務員は今や犯罪者の代名詞です。善良な市民からとらずに公務員の金でやるべき。子供の頃、杉を植えた覚えがあるが、今は全く安くて切ることもできず、結局、国の杉植計画はムダだった訳で、もうだまされません。そのうち1万円なり2万円に増額してさらに市民をだますことを考えているでしょう。国も県も市も全く信用できない。この国はもう終わっている。
前橋市	男性	30代	廃止しろ、森林事業は1円も取らずにやれ、さもなきや辞めろ。
前橋市	男性	20代	県予算のやりくりの中で抛出するべきであり、家計がひっ迫している状況で税徴してまでやるべきではない。
邑楽町	女性	70代	令和6年度以降のことは、税金をあてにしないようにしてほしい
吉岡町	男性	60代	県運営にはしかたないかも知れませんが税金ばかりとられがちと思い、もう少し実質的な使用方法を考え住民に恩恵がある県政にしてもらいたと思います。
高崎市	女性	30代	基本的に「ぐんま緑の県民税」は反対です。何でも県民に税金として負担を申し入れは安直です。必要ならば、今の県民税を見直しする事が優先と思われます。
-	-	-	2000円くらいまで上乗せして、森林整備事業を手伝ったら、減税。
前橋市	男性	30代	特にございませんが、もう少し税額を安くしていただけたら幸いです。
沼田市	男性	70代	県単位で活動すべき問題なのか? 最低でも関東圏で取り組む課題ではないか。
富岡市	男性	70代	ぐんま緑の県民税はどちらかという賛成です。山林を所有している人だけでなく全県民が公平に支払う仕組みには多めに賛成です。一部の人達が山水を流す川をコンクリートにしている部分は、水は常に流れ出しているのにコンクリートの上を流れないで、コンクリートの下を流れているので危険ではないの

富岡市	男性	70代	かと聞いた事がありますがどうなのでしょう
みなかみ町	男性	70代	林業を生業にしている、ある程度緑の県民税を理解しているつもりですが森林環境税もとなると、高齢で年金のみの者には大変です・・・配慮をして欲しいです。
太田市	男性	50代	悪いことだとはい、思いませんが60歳までが妥当ではないか?高所得者でも一律額ではおかしい。
前橋市	女性	40代	新たに徴収するのはやめていただきたい。今の予算の中でなんとかしろと言いたい、
渋川市	女性	60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県の緑と水を守る為に林業の発展に力を入れてほしいと思います。</li> <li>登山客にも人気のある山々がたくさんある群馬県ですから、そうした山の魅力を発信しながら、森林を守っているアピールもしてほしいです。</li> <li>森林環境教育にも力を入れてほしいです。高齢化に伴い山の持ち主も不明になっているように思います。貴重な水源地を伴う山が外国資本の業者に渡らないように、市町村がしっかりと、把握して守ってほしいと願います。</li> <li>県民共有の財産である森林を守り育てる為に「ぐんま緑の県民税」の年額700円を年額1000円に増やしてほしいと思います。</li> </ul>

#### ◆ 使途について

高崎市	男性	40代	税金で対策するのではなく、事業として自立をして継続できる林業をやる取り組みをしてほしい。
嬭恋村	女性	50代	現場で危険なお仕事に向き合っている方に高い報酬を望みます。すべての林業の方の安全を祈願致します。既存の政治家はもういらぬ。〇〇党を応援します。日本を取り戻しましょう。
東吾妻町	男性	50代	税を少しでも安くすることを考えてもらいたい。必要性は理解できるが、無駄な取り組みがないか検証していただきたい。
館林市	女性	50代	「例年通りにやりましょう。」ではなく、必要のあるもの必要のないもの、村度なく、きっちり仕分けして本当に必要な事に税金を使って欲しいと思います。今のままで良いのか、未来へ向けて、新しいやり方はないのか、議論もしていただきたいです。(若い方の意見なども取り入れて。) よろしくお祈りします。
前橋市	男性	20代	県民より大切な税金を徴収し実施する取組であるため、適切な活動に対し適切な額の運用がされているかどうかしっかりと第三者視点で監査を行ってほしい。また適切な税額を設定するためには、まず、徴収する税、すべてが適切に運用されているか、どうかしっかりと議論されてしかるべきであると思います。大切な税金であるため、しっかりと、つきつめた議論を期待しております。
伊勢崎市	男性	50代	税金の使われ方の詳細をわかりやすく表してほしい。
玉村町	男性	70代	活用方法が不透明であり、金額も解からない。林業について、なじみがないため何をしようかかわからない。(アンケート調査協力に選ばれた理由が解からない)
榛東村	男性	70代	税の見える化が大切、各自治体に模範となる森林公園を長期間かけ、子供から老若男女が、ボランティア参加で整備し、人間関係の構築を本気で考えていきたい。※山林藪等が河川が荒れ放題。里山の昔は美しさを競っていた！耕作放棄地に「シカ」が飛び回っている。日本は心の静を保つ。
太田市	男性	30代	納金をどのように使っているのか、わかるようにしてほしいです。山や森林も大事ですが、道路のわきで野放しになっている雑草で歩道が通行しにくいところもあるので、その整備もしてほしい。
桐生市	男性	70代	税金の使い途

◆ その他意見

甘楽町	男性	60代	二酸化炭素問題が国際的な取り組みになり、自動車産業等に多大な影響を与える時代は、森林保全が地球規模の問題であり、人類の生存に関する大切な試練になりつつある。産業の盛衰も理解出来るが、国土や県にまたがる森林を管理し、伐採や植林をする取り組みは必要であり、経済と貿易に依存する我が国の政策がどれだけ改善されるかが現実的に理解される答えになると思います。
甘楽町	女性	70代	物価が上がっている昨今、所得が上がらない現状。このような状況の中の県民税を良く考えて大切に使用してもらいたいです。
玉村町	男性	80代以上	※県民税とは別に1人1坪所有2/3森林を確保、(1坪以下でも可)目標、募金をして少しでも所有させ参加している実感を持ってもらう。全く知らない人多いと思うので、参加させる方法があると思う。
桐生市	男性	70代	第Ⅱ期が終了したら、一旦、税の徴収はやめ、総括したのち、必要があれば、再度実行すれば良い。第2の公社にならないよう、強く反省して欲しいものです。
高崎市	女性	60代	特にありません。申し訳ありませんが、今群馬にいてただでふるさとでもないの、あまり良く知らないことを軽く答えられません。税金はきちっとお支払いします。義務ですから。
高崎市	女性	30代	ペーパーレス・エコ包装脱プラなど意識しているのですが今回こういった資料を頂けて、詳しく考えることができました。2才の娘がおります。休みの日には自然に触れ合えるよう出かけています。私も、何か緑化活動に携わりたいと感じました。子連れでできる体験教室、お手伝い(ボランティア)などございますか?
高山村	男性	50代	ゲリラ豪雨、線状降水帯、集中豪雨。
渋川市	男性	80代以上	15年ほど吾妻の山間部で生活しましたが、手入れのされていない林地が多く、今後どうなっていくのか心配です。
沼田市	女性	80代以上	最近になって、テレビ等でみました。あー大変なんだなあーと、新治の須川小学校小六か、中学だったか下草刈りに行った事思い出しました。あの頃は水筒も持たず終わったらキャラメル1ヶいいただき平らな大箱の中からひとつづつ渡され、美味しかったことを思い出しました。若ければ、ボランティアに仲間入りしたい気分です。下から一列に並んで草を刈って、山行苗をいたわりながら、上へと進んで行く様、83才
沼田市	女性	30代	このような取り組みをされているとは存じませんでした。人も、動物も夏は涼しく、冬はあたたかく快適に過ごせる日が来ると良いなと思っております。何も存じ上げずに意見を述べてしまいました。
沼田市	女性	80代以上	森林にたずさわる皆様ありがとうございます。山奥に住む1人暮らしの83歳の女です。春から秋はシカ、イノシシと伸びる草、冬は雪との戦いです。私のグチを書きました、ごめんなさい。これからも良き群馬になる事を願います。山奥に住む住民より
前橋市	男性	70代	自然の環境が少しずつ変化して行く(変化させてしまった人間)元に戻すのは大変だと思いますが環境が大きく変わらないようにしていかなければいけないと思います。夏になると水災害が多く聞かれます。自然をもっと多く知る必要があるのではないかと!
前橋市	女性	70代	もう半世紀前の話です。私は高崎線で大学へ通っておりました。授業が終わり帰りの電車大宮を過ぎ宮原上尾と近づくと沿線は林でした。それを見ると心もやわらぎました。何年か高崎線を通り沿線ですら、乱開発でした。私は「何年後どんな地球になるのだろうと…」とても心配した事を覚えています。月日が立ち子供が低学年になり「赤城青年の家」の行事に参加させていただきました。周りは森や林田んぼ空気もよく緑もきれい大満足でした…何十年過ぎなつかしく立ち寄りました。びっくりしました。木々は枯れていて森や林はなくなっていました…とてもショックでした。森や林が一番の礎きれいな空



前橋市	女性	70代	気や楽しみを私達に運び新しい生命を育み森や林のきれいな一滴が海に流れ魚を生かし…ほんとうに森林は大切ですね。森林の多い群馬県は大好きです。
前橋市	男性	60代	今、最も重要な事はSDGsです。林業を自立させる仕組みができればこんな税も不要です。群馬から安全で楽で高収入になる林業を発信しませんか？
前橋市	男性	50代	全国で積極的に日本の木材を利用するシステムを構築したらいいと思うのですが、人材確保も必要ですし林業で暮らしを立てていける様に、出来たらいいと思います。でないといつまでも税金の支払いが、続くと思います。
太田市	男性	60代	初耳なので、印象で答えました。山の治水は重要ですが、山の所有者の理解の元で実施されるものであるため、行政がどこまで踏み入れるか。所有者不明や放棄土地は国庫にできる状況が可能ですか？「絵に書いた餅」のレシピを論じるならやらない方が良くと思う。内容知らずに思ったままの意見です。的外れでしたらすみません。以上
大泉町	女性	20代	目に見える変化を期待しています。
中之条町	男性	30代	緑地は動物が生きて行くために必要な宝の一つです。このことに心を向けることは大切なことだと思います。
長野原町	男性	70代	近年、太陽光発電と称して森林を伐採し設備し自然エネルギーとしているが自然破壊ではないかと疑問に思うことがある。
藤岡市	女性	70代	藤岡市の畑に次々に出来る太陽光発電、今までの景色は殺伐として、空地はまたかと作られていく、私らは、80代を越して、死んでいくが跡継ぎのいないこうした畑は緑がなくなって山や森林は太陽光発電が作られぬように、自然の緑を残してもらいたい。空気がおいしい軽井沢のような、自然を次の世代に送りたい。
藤岡市	男性	40代	アンケート調査協力者に選出された理由が表記されていた方が良かった。疑っている訳ではないが、今のご時世予期しない封筒が届くだけでもあまり気持ちが良くない。簡単に「無作為に抽出しました」と一文あるだけでアンケート回収率が多少上がると思う。
藤岡市	女性	30代	取り組みの内容が良いものだというのは理解しました。過疎化や高齢化により今より更に課題が増えると思うので、森林に新しい利用価値を見いだせるといいのかなぁと思いました。
富岡市	男性	60代	間伐材をチップにして再利用に活用する？ 間伐材をエネルギーに活用する？
富岡市	男性	70代	私は現在共有林の役員をしております。約20haの林地を共有名義で所有しておりますが数名の相続が出来ず困っております。組合員も70数名おりましたが脱退希望者が多く現在は約15名、そのうち数名は相続できない人と本気で森林を守ろうとする人は一握りです。森林を守る法の整備やこれらの問題を解決する手続きたとえばNPO法人に移転等の指導助言をいただきたく思います。今後とも健全なる群馬の発展を望みます。よろしく願い申し上げます。
富岡市	女性	60代	町に住んでいる人に山、水源、森村を現地でゆっくり観察できるといいね。
桐生市	男性	60代	勝手に人のお金を搾手するな。
板倉町	女性	40代	ぐんま緑の県民税を知りませんでした。なので反対です。

## ぐんま緑の県民税に関するアンケート調査

### ～ご協力のお願～

皆様には、日頃から県政に対しまして御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

群馬県は、県の面積の3分の2を森林が占める森林県です。森林には、豊かな水を育み、また災害を防止するなど様々な役割があり、私たちの暮らしを支えています。

しかしながら、木材価格の低迷や山村地域の過疎化・高齢化などにより林業が衰退し、適切な管理が行われず放置された森林や荒廃した森林が増加しています。

このような状況の中、県民共有の財産である大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いで行くため、**平成26年度から「ぐんま緑の県民税」を導入し、納税者の方から年額700円(住民税に含まれています。)**を納めていただき、財源をぐんま緑の県民基金に積み立て、奥山の森林の整備や、地域住民やボランティア団体等が行う里山・竹林の整備等に活用させていただいています。

また令和6年度からは、国の森林環境税が施行されます。両税の目的・役割を踏まえ、協力しながら、双方の取組により、県内の森林整備がさらに進んでいくよう努めていきます。

ぐんま緑の県民税は令和元年度から第Ⅱ期となり、令和5年度に最終年度を迎えることから、これまでの事業の成果を踏まえ、現在、今後の方向性について検討を進めています。

このアンケート調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、今後の方向性を検討する上での参考資料とさせていただくものです。

お聞かせいただいた内容は、集計した上で公表する予定ですが、個人に関する内容を公表することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月  
群馬県

(裏面もご覧ください)

## 御記入にあたってのお願い

### 1 記入者

- ・原則として、宛名の御本人様が御記入ください。

### 2 記入方法

- ・アンケート調査に御回答いただく前に、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]を御参照ください。
- ・回答は、あなたのお考えに最も近い内容の記号に「☑」印を付ける方式です。それぞれの設問で指定された個数分「☑」印を付けてください。
- ・「その他」を選択した場合や「意見記載」欄には、御意見を具体的に御記載ください。

### 3 提出方法

- ・同封の調査票又は、QRコードの読み取りのどちらかにより回答をお願いします。

#### (1)調査票による回答方法

- ・記入いただいた調査票は、回答漏れのないことを御確認の上、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和4年〇月〇日(〇)までに郵便ポストへ投函ください。(名前や住所の記入は不要です。)

#### (2)QRコード読み取りによる回答方法

- ・スマートフォン等のカメラでQRコードを読み取り、識別コードを入力の上、令和4年〇月〇日(〇)までにアンケートに回答してください。

識別コード:〇〇〇〇

↓アンケート回答用 QRコード



### 4 問い合わせ先

- ・不明な点等につきましては、下記担当までお問い合わせください。

群馬県 環境森林部森林局 森林保全課 緑化推進係

電話:027-226-3278

FAX:027-223-0463

E-mail: gm-zei@pref.gunma.lg.jp

## 回答者についてお伺いします。

(これは個人を特定するものではありません)

**【問1】** あなたの性別をお答えください。該当する選択肢1つに「」印を付けてください。

男性                       女性

**【問2】** あなたの年齢をお答えください。該当する選択肢1つに「」印を付けてください。

10代                       20代                       30代                       40代  
 50代                       60代                       70代                       80代以上

**【問3】** あなたの職業をお答えください。該当する選択肢1つに「」印を付けてください。

自営業                       会社役員・団体役員  
 会社員・団体職員                       公務員  
 派遣社員                       パート、アルバイト・臨時職員  
 専業主婦・主夫                       学 生  
 無 職                       その他(                      )

**【問4】** あなたのお住まいの市町村名をお答えください。該当する選択肢1つに「」印を付けてください。

前橋市                       高崎市                       桐生市                       伊勢崎市                       太田市  
 沼田市                       館林市                       渋川市                       藤岡市                       富岡市  
 安中市                       みどり市                       榛東村                       吉岡町                       上野村  
 神流町                       下仁田町                       南牧村                       甘楽町                       中之条町  
 長野原町                       嬭恋村                       草津町                       高山村                       東吾妻町  
 片品村                       川場村                       昭和村                       みなかみ町                       玉村町  
 板倉町                       明和町                       千代田町                       大泉町                       邑楽町

**【問5】** あなた(家族を含む)は、森林を所有していますか。該当する選択肢1つに「」印を付けてください。

自ら森林を所有している  
 家族が森林を所有している  
 森林を所有していない  
 わからない

次のページへお進みください

## 「ぐんま緑の県民税」についてお伺いします。

### 〔問1〕 森林の働きについて

森林は水を育み二酸化炭素を吸収するなどの機能があり、私たちの安全で安心な暮らしを支えています。あなたは森林の働きに何を期待しますか。該当する選択肢すべてに「☑」印を付けてください。

- 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き
- 木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き
- 大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き
- 水を蓄え、浄化する働き
- 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
- 野生動植物の生息の場としての働き
- 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き

### 〔問2〕 「ぐんま緑の県民税」の認知度について

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、「ぐんま緑の県民税」を導入し、これまで、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]のとおり、奥山や里山・平地林の整備等に取り組んでいます。あなたは「ぐんま緑の県民税」を知っていますか。該当する選択肢1つに「☑」印を付けてください。

- 名称、税額を知っており、使い道も知っている
- 名称、税額を知っているが、使い道は知らない
- 名称は知っているが、税額や使い道は知らない
- 名称、税額、使い道ともに知らない

### 〔問3〕 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について

「ぐんま緑の県民税」は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」、「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に、次の取組を行っています。あなたが大切だと思う取組は何ですか。該当する選択肢すべてに「☑」印を付けてください。

- 奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 水道などの水源となっている森林の整備
- 松枯れでヤブになった所を森林に再生
- 身近な里山や竹林の刈払いなどの整備
- 絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動
- 子供たちを対象にした森林環境教育
- 水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取
- 森林整備を行うボランティアや地域団体の支援

次のページへお進みください

**【問4】 「ぐんま緑の県民税」の継続について**

「ぐんま緑の県民税」の第Ⅱ期は、令和元年度から令和5年度までの5年が実施期間です。事業の実績等は、有識者等で構成する「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」において評価をいただいているところですが、令和6年度以降も「ぐんま緑の県民税」を継続することについて、あなたはどのようにお考えですか。該当する選択肢1つに「☑」印を付けてください。

- 賛成
- どちらかといえば賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- どちらともいえない

**【問5】 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について**

あなたは、群馬県の大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、今後どのような取組に「ぐんま緑の県民税」を活用すべきと思いますか。該当する選択肢3つまで「☑」印を付けてください。

- 花粉発生源であるスギなどの森林の植替
- シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
- 道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
- 低コスト林業システム導入
- 森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
- 奥地にあるため経営が成り立たない不採算林を減らす取組
- 林業の自立に向けた取組
- 木材流通・加工体制の基盤強化に関する取組
- 公共施設などの木造化や木材利用
- 県産材需要喚起に関する取組
- 森林の新たな価値の創出(地域内における森林資源循環(ペレット等))
- 森林の新たな価値の創出(森林空間利用)
- クビアカツヤカミキリ被害対策など都市緑化に対する支援
- 公共施設などの緑化

その他(具体的に記載をお願いします)

-----

-----

-----

次のページへお進みください



ぐんま緑の県民税  
県民アンケート 報告書

○この実施報告書に関するお問い合わせ先

群馬県環境森林部森林局森林保全課緑化推進係

〒371-8570群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL:027-226-3278 Fax:027-223-0463

E-mail:gm-zei@pref.gunma.lg.jp

○ぐんま緑の県民税ホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/04/e3000101.html>